

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	16 目 町民の生活支援対策費	83

事業名				01766 生活支援(繰越明許) 低所得世帯支援事業(追加支援)				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		R5		～		R6	
事業の概要	事業の説明及び目的																		事業の内容
	新型コロナウイルス感染症の影響により、原油価格及び物価の急激な高騰が家庭経済に大きな影響を与えているため、暖房エネルギー等に要する経済的負担が極めて厳しい生活状況に置かれている住民税非課税世帯を対象に助成するもの。 ※住民税非課税世帯:7万円/世帯(追加支援)																		
	事業の対象			単位		数量	R5			R6			R7						
	非課税世帯			世帯															
	成果指標名			単位		目標実績達成率	R5			R6			R7						
	①	対象世帯への給付			世帯		2,026			-									
							1,956			-									
	②						96.5%			-									
							-			-									
	事業のコスト(千円)	項 目			R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算								
事業費							4,320		281										
財源内訳		国庫支出金							4,270		281								
		県支出金																	
		地方債																	
		その他																	
一般財源							50												
業務量			-		-		-		0.5 人										
	正職員			-		-		-		0.3 人									
	会計年度任用職員			-		-		-		0.2 人									
	成果の区分			成果の説明															
事業の成果	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)			対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。															

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	16 目 町民の生活支援対策費	83

事業名		01767 生活支援（繰越明許） 住民税均等割のみ課税世帯支援事業				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	R5	～	R6															
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○生活支援（繰越明許） 住民税均等割のみ課税世帯支援事業 決算内訳 単位：円 <table><tr><td>項目</td><td>内容</td><td>R6</td></tr><tr><td>①需用費</td><td>消耗品費</td><td>3,004</td></tr><tr><td>②役務費</td><td>通信運搬費、手数料</td><td>189,999</td></tr><tr><td>③負担金補助及び交付金</td><td>電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金</td><td>52,100,000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>52,293,003</td></tr></table>						項目	内容	R6	①需用費	消耗品費	3,004	②役務費	通信運搬費、手数料	189,999	③負担金補助及び交付金	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金	52,100,000	計		52,293,003
	項目	内容	R6																								
	①需用費	消耗品費	3,004																								
	②役務費	通信運搬費、手数料	189,999																								
	③負担金補助及び交付金	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金	52,100,000																								
	計		52,293,003																								
	事業の対象		単位	数量	R5								R6	R7													
	均等割のみ課税世帯		世帯																								
	成果指標名		単位	①	R5								R6	R7													
	対象世帯への給付		世帯		目標								545	－													
実績					522	－																					
達成率					95.8%	－																					
②			世帯	目標		－																					
				実績		－																					
項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																						
事業費			65,400	65,400	52,294																						
財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			65,400	65,400	52,294																						
業務量		－	－	－	0.5 人																						
正職員		－	－	－	0.3 人																						
会計年度任用職員		－	－	－	0.2 人																						
事業の成果	成果の区分		成果の説明																								
	★★★★ 概ね達成された （80%以上100%未満）		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。																								

○生活支援(繰越明許) 住民税均等割のみ課税世帯支援事業 決算内訳

単位:円

項目	内容	R6
①需用費	消耗品費	3,004
②役務費	通信運搬費、手数料	189,999
③負担金補助及び交付金	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金	52,100,000
計		52,293,003

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	16 目 町民の生活支援対策費	83

事業名		01768 生活支援（繰越明許） 低所得世帯等加算支援事業（こども加算）				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	R5	～	R6
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○生活支援（繰越明許） 低所得世帯等加算支援事業（こども加算） 決算内訳 単位：円				
	新型コロナウイルス感染症の影響により、原油価格及び物価の急激な高騰が家庭経済に大きな影響を与えているため、暖房エネルギー等に要する経済的負担が極めて厳しい生活状況に置かれている低所得世帯を対象に助成するもの。 ※①住民税非課税世帯、②均等割のみ課税世帯 の子ども1人あたり：5万円											
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7				
	非課税世帯 均等割のみ課税世帯		世帯									
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6		R7				
	① 対象世帯への給付		世帯		179 179 100.0%							
	②			目標 実績 達成率	- - -							
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費			21,556	21,556	16,180						
	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			21,556	21,556	16,180						
事業のコスト（千円）	業務量		-	-	-	0.5 人						
	正職員		-	-	-	0.3 人						
	会計年度任用職員		-	-	-	0.2 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★★ 達成された （100%以上）		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。									

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計				決算書
	02 款	01 項	17 目	新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置費	84

事業名		01778 物価高騰対応重点支援給付金給付事業 住民税非課税世帯				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R6	～
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○物価高騰対応重点支援給付金給付事業 住民税非課税世帯 決算内訳 単位:円				
	物価高騰に伴う低所得者支援として、令和6年度新たに住民税非課税となった世帯を対象に給付するもの。 ※令和6年度新たに住民税非課税となった世帯:100千円/世帯										
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	非課税世帯		世帯								
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7			
	①	対象世帯への給付	世帯		192		174	90.6%	－	－	－
	②			－	－		－	－	－	－	
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費				22,168	16,881					
	財源内訳	国庫支出金			22,168	16,881					
		県支出金									
		地方債									
		その他一般財源									
業務量		人	－	－	0.5	人					
正職員		人	－	－	0.3	人					
会計年度任用職員		人	－	－	0.2	人					
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★ 概ね達成された(80%以上100%未満)		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。								

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	17 目	
			新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置費	85

事業名		01779 物価高騰対応重点支援給付金給付事業 住民税均等割のみ課税世帯				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R6	～
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○物価高騰対応重点支援給付金給付事業 住民税均等割のみ課税世帯 決算内訳			
	物価高騰に伴う低所得者支援として、令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となった世帯を対象に給付するもの。 ※令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となった世帯:100千円/世帯							単位:円			
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7			
	均等割のみ課税世帯		世帯								
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6		R7			
	①	対象世帯への給付	世帯		206 195 94.7%	- - -					
	②			- -							
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		22,112				19,578				
	財源内訳	国庫支出金	22,112				19,578				
		県支出金									
		地方債									
		その他一般財源									
業務量		人	-	-	0.5	人					
	正職員		人	-	-	0.3	人				
	会計年度任用職員		人	-	-	0.2	人				
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。								

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計				決算書
	02 款	01 項	17 目	新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置費	85

事業名		01780 物価高騰対応重点支援給付金給付事業 低所得世帯子ども加算				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		R6 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○物価高騰対応重点支援給付金給付事業 低所得世帯子ども加算 決算内訳 単位:円					
	物価高騰に伴う低所得者支援として、令和6年度新たに住民税非課税および均等割のみ課税となった世帯の子どもを対象に給付するもの。 ※令和6年度新たに①住民税非課税、②住民税均等割のみ課税 となった世帯の子ども1人あたり:50千円												
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7					
	非課税世帯 均等割のみ課税世帯		世帯										
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6		R7					
	①	対象世帯への給付			世帯			34 34 100.0%	- - -				
	②			世帯				- -					
	項 目		R5決算		R6当初予算			R6最終予算		R6決算			
	事業費				4,265			3,104					
	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源							3,104					
事業のコスト(千円)	業務量		人	-	-	0.5	人						
	正職員		人	-	-	0.3	人						
	会計年度任用職員		人	-	-	0.2	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★★ 達成された (100%以上)		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。										

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	17 目	新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置費 85

事業名		01781 低所得世帯支援事業 給付金給付事務費				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R6	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○低所得世帯支援事業 給付金給付事務費 決算内訳						
	物価高騰に伴う低所得者支援として、低所得世帯を対象に給付するための事務費。						単位:円						
	事業の対象		単位		R5		R6	R7					
			数量										
	成果指標名		単位		R5		R6	R7					
	①			目標実績達成率	-								
	②			目標実績達成率	-								
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		2,387				2,335						
	財源内訳	国庫支出金	2,387				2,335						
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源											
業務量		人	-	-	-	人							
正職員		人	-	-	-	人							
会計年度任用職員		人	-	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	-												

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	18 目 重点支援地方交付金事業費	86

事業名		01806 生活支援 低所得世帯支援事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R6	～															
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○生活支援 低所得世帯支援事業 決算内訳 単位:円 <table><tr><td>項目</td><td>内容</td><td>R6</td></tr><tr><td>①需用費</td><td>消耗品費</td><td>29,463</td></tr><tr><td>②役務費</td><td>通信運搬費、手数料</td><td>410,402</td></tr><tr><td>③負担金補助及び交付金</td><td>物価高騰対応重点支援 給付金</td><td>52,440,000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>52,879,865</td></tr></table>					項目	内容	R6	①需用費	消耗品費	29,463	②役務費	通信運搬費、手数料	410,402	③負担金補助及び交付金	物価高騰対応重点支援 給付金	52,440,000	計		52,879,865
	項目	内容	R6																							
	①需用費	消耗品費	29,463																							
	②役務費	通信運搬費、手数料	410,402																							
	③負担金補助及び交付金	物価高騰対応重点支援 給付金	52,440,000																							
	計		52,879,865																							
	物価高騰に伴う低所得者支援として、令和6年度住民税非課税世帯を対象に給付するもの。 ※令和6年度住民税非課税世帯:30千円/世帯																									
	事業の対象		単位	R5								R6	R7													
	非課税世帯		世帯	数量																						
	成果指標名		単位	R5								R6	R7													
①	対象世帯への給付	世帯	目標実績達成率	1,748 1,748 100.0% -																						
②			目標実績達成率	- -																						
項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算	R6決算																			
事業費				60,917		52,880																				
財源内訳				60,917		52,880																				
業務量		人		-		-	0.5 人																			
正職員		人		-		-	0.3 人																			
会計年度任用職員		人		-		-	0.2 人																			
事業の成果	成果の区分		成果の説明																							
	★★★★★ 達成された (100%以上)		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。 ※70千円支給対象者へプッシュ型で支給。それ以外の対象者については、翌年度へ繰越事業。																							

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	18 目 重点支援地方交付金事業費	86

事業名		01807 生活支援 低所得世帯支援事業(こども加算)				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R6 ～													
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○生活支援 低所得世帯支援事業(こども加算) 決算内訳 単位:円 <table><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>R6</th></tr><tr><td>①役務費</td><td>手数料</td><td>10,780</td></tr><tr><td>②負担金補助及び交付金</td><td>物価高騰対応重点支援 給付金</td><td>3,340,000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>3,350,780</td></tr></table>					項目	内容	R6	①役務費	手数料	10,780	②負担金補助及び交付金	物価高騰対応重点支援 給付金	3,340,000	計		3,350,780
	項目	内容	R6																				
	①役務費	手数料	10,780																				
	②負担金補助及び交付金	物価高騰対応重点支援 給付金	3,340,000																				
	計		3,350,780																				
	物価高騰に伴う低所得者支援として、令和6年度住民税非課税世帯の子どもを対象に給付するもの。 ※令和6年度住民税非課税世帯の子ども1人あたり:20千円																						
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7										
	非課税世帯		世帯																				
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7										
	①	対象世帯への給付	世帯		98							98	－										
100.0%					－	－																	
②			目標 実績 達成率	－ － －																			
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																	
	事業費		4,043 3,351																				
	財 源 内 訳	国庫支出金	3,351																				
		県支出金																					
		地方債																					
		その他 一般財源																					
業務量		人	－	－	0.5 人																		
	正職員		人	－	－	0.3 人																	
	会計年度任用職員		人	－	－	0.2 人																	
事業の成果	成果の区分		成果の説明																				
	★★★★★ 達成された (100%以上)		対象世帯に助成することで家計負担の軽減を図り、生活の安定に寄与した。 対象者把握のため、税・住基情報と連携することにより業務の円滑化が図られ、事業を適正に執行した。 ※50千円支給対象者へプッシュ型で支給。それ以外の対象者については、翌年度へ繰越事業。																				

○生活支援 低所得世帯支援事業(こども加算) 決算内訳

単位:円

項目	内容	R6
①役務費	手数料	10,780
②負担金補助及び交付金	物価高騰対応重点支援 給付金	3,340,000
計		3,350,780

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目	社会福祉総務費
				99

事業名		00063 福祉会館管理事業 福祉会館管理事業				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	H15 ～ R9	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○福祉会館管理事業 決算内訳				
	保健福祉課および子育て支援室の執務室として施設を利用するための各種経費。						単位:円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	全町民、職員		人		町民:21,629 職員:46		町民:21,232 職員:48	町民:20,782 職員:50			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	開館日数	日数		243		243	242			
					243		243	-			
	②			100.0%	100.0%		-				
				目標 実績 達成率				-	-		
	事業のコスト（千円）	項 目			R5決算		R6当初予算	R6最終予算	R6決算		
事業費			4,531	5,692	9,136	8,482					
財源内訳		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他					1,100				
一般財源			4,531	5,692	9,136	7,382					
業務量			0.4 人	-	-	0.4 人					
事業の成果	正職員			0.4 人	-	-	0.4 人				
	会計年度任用職員			- 人	-	-	- 人				
	成果の区分		成								
★★★★★ 達成された (100%以上)		修繕費や必要経費などを最低限に抑え、効率的な管理運営につとめている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	2	医療体制の充実
	基本事業	(2)	公立加美病院の機能の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目 社会福祉総務費	100

事業名		00065 社会福祉諸費 加美郡保健医療福祉行政事務組合費				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15	～																
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○加美郡保健医療福祉行政事務組合費 負担金 負担割合については、加美町と色麻町の過去3年における利用者数の平均から算定される。2町以外の利用者分については、その割合の2%分は色麻町に加算し、2%を超えた分は1/2に相当する割合を2町にそれぞれに加算するもの。 負担割合 単位:% <table><tr><td></td><td>令和6 年度</td><td>令和 5 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>加美町</td><td>62.13</td><td>63.48</td><td>64.1</td></tr><tr><td>色麻町</td><td>37.87</td><td>36.52</td><td>35.9</td></tr><tr><td>合 計</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></table>						令和6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	加美町	62.13	63.48	64.1	色麻町	37.87	36.52	35.9	合 計	100.00	100.00	100.00
		令和6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度																							
	加美町	62.13	63.48	64.1																							
	色麻町	37.87	36.52	35.9																							
	合 計	100.00	100.00	100.00																							
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7														
成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6	R7																					
①				- -																							
②			目標実績達成率	- -																							
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																					
	事業費		328,419	330,141	323,120	323,120																					
	財源内訳	国庫支出金																									
		県支出金																									
		地方債																									
		その他																									
	一般財源	328,419	330,141	323,120	323,120																						
業務量		0.2 人	-	-	0.1 人																						
正職員		0.2 人	-	-	0.1 人																						
会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人																						
事業の成果	成果の区分		成果の説明																								
	-																										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目	社会福祉総務費
				100

事業名		00064 社会福祉諸費 民生委員社会福祉委員事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15	～																				
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○民生委員社会福祉委員事業 社会福祉の推進を図るため、民生委員法に定める民生委員を社会福祉委員として委嘱し、担当区域の援護、育成、更生等に関する調査指導を行った。また、民生委員の定例会や全員協議会等開催時に情報交換を行い、技術の向上を図った。 【 社会福祉委員報酬 】 委員長:101千円/年 委員:89千円/年 令和6年度委員数 任期:令和7年11月30日まで (単位:人) <table><tr><td></td><td>民生委員児童委員</td><td>主任児童委員</td><td>合 計</td></tr><tr><td>中新田地区</td><td>28</td><td>1</td><td>29</td></tr><tr><td>小野田地区</td><td>21</td><td>1</td><td>22</td></tr><tr><td>宮 崎 地 区</td><td>21</td><td>1</td><td>22</td></tr><tr><td>合 計</td><td>70</td><td>3</td><td>73</td></tr></table>						民生委員児童委員	主任児童委員	合 計	中新田地区	28	1	29	小野田地区	21	1	22	宮 崎 地 区	21	1	22	合 計	70	3	73
		民生委員児童委員	主任児童委員	合 計																											
	中新田地区	28	1	29																											
	小野田地区	21	1	22																											
	宮 崎 地 区	21	1	22																											
	合 計	70	3	73																											
社会福祉の推進を図るため、民生委員法に定める民生委員を社会福祉委員として委嘱し、担当区域の援護、育成、更生等に関する調査・指導を行う。																															
事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7																									
全町民		人		21,629	21,232	20,782																									
成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7																									
①	民生委員の配置数	人		75	75	75																									
				73	73	-																									
			97.3%	97.3%	-																										
②			目標 実績 達成率			-																									
						-																									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																									
	事業費		6,407	6,718	6,949	6,870																									
	財源内訳	国庫支出金	24	30	30																										
		県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
一般財源		6,383	6,688	6,919	6,870																										
業務量		0.8 人	-	-	0.8 人																										
正職員		0.8 人	-	-	0.8 人																										
会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人																										
事業の成果	成果の区分		成果の説明																												
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		民生委員(社会福祉委員)を配置し、困りごとの相談などが気軽にできる環境を町民に提供できた。 高齢者、障がい者、生活困窮者、児童虐待などの状況を把握し、関係機関へつなげることで課題解決に貢献した。																												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目 社会福祉総務費	100

事業名		00066 社会福祉諸費 社会福祉協議会補助事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○加美町社会福祉協議会 補助金内訳				
	加美町社会福祉協議会の運営の安定化を図り、地域社会における福祉の向上に寄与するため補助金を交付する。						単位:円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	加美町社会福祉協議会		団体		1		1	1			
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7			
	①	会員数の推移	世帯		-		-	-			
					6,915		6,834	-			
②			目標実績達成率			-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		46,947	59,161	59,161	57,198					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	46,947	59,161	59,161	57,198					
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人						
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	—		補助金によって社会福祉協議会が健全な運営をすることができた。各種事業や福祉サービスが問題なく町民に提供されることで地域福祉に貢献し、社会福祉協議会の活動に協力(賛同)する町民(世帯)がほぼ横ばいとなった。※社会福祉協議会において目標値を設定してない。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目	社会福祉総務費
				100

事業名		00068 社会福祉諸費 その他社会福祉費				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～																			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○社会福祉諸費_その他社会福祉費 決算内訳 単位:千円 <table><tr><td>項目</td><td>内容</td><td>決算額</td></tr><tr><td>①報酬・職員手当</td><td>会計年度任用職員人件費(月給) 3名分</td><td>2,357,200</td></tr><tr><td>②需要費</td><td>消耗品費</td><td>91,687</td></tr><tr><td>③負担金補助及び交付金</td><td>加美町ボランティア友の会補助金</td><td>180,000</td></tr><tr><td>④積立金</td><td>社会福祉基金積立金</td><td>960,000</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>3,588,887</td></tr></table>					項目	内容	決算額	①報酬・職員手当	会計年度任用職員人件費(月給) 3名分	2,357,200	②需要費	消耗品費	91,687	③負担金補助及び交付金	加美町ボランティア友の会補助金	180,000	④積立金	社会福祉基金積立金	960,000	合計		3,588,887
	項目	内容	決算額																										
	①報酬・職員手当	会計年度任用職員人件費(月給) 3名分	2,357,200																										
	②需要費	消耗品費	91,687																										
	③負担金補助及び交付金	加美町ボランティア友の会補助金	180,000																										
	④積立金	社会福祉基金積立金	960,000																										
	合計		3,588,887																										
	会計年度任用職員を雇用し、保健福祉課内の事務を滞りなく、適正に執行すること。																												
事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7																							
会計年度任用職員		人		3	3	3																							
成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7																							
①	会計年度任用職員数	人		3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 - -																							
②			目標 実績 達成率			- - -																							
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																							
	事業費		1,452	7,289	3,767	3,589																							
	財源内訳	国庫支出金																											
		県支出金																											
		地方債																											
		その他	571	707	1,041	961																							
一般財源	881	6,582	2,726	2,628																									
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																								
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																								
会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人																								
事業の成果	成果の区分		成果の説明																										
	★★★★★ 達成された (100%以上)		会計年度任用職員を雇用することで、保健福祉課の事務が滞りなく処理された。																										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(3)	高齢者の福祉・介護サービスの充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	102

事業名		00070 老人保護入所措置事業 老人保護入所措置事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)			事業期間	H15 ～																																											
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○令和6年度養護老人ホーム入所者の状況																																															
	65歳以上の高齢者で、身体上、精神上又は環境上の事情により在宅で生活することが困難な方に対して、養護老人ホームへの入所の措置を行った。						<table><tr><td>施設名</td><td>R5 年度末</td><td>入所</td><td>退所</td><td>R6 年度末</td><td>入所措置費</td><td>入所者 費用徴収額</td></tr><tr><td>ひばり園</td><td>4人</td><td></td><td>1人</td><td>3人</td><td>8,189,888円</td><td>1,451,960円</td></tr><tr><td>偕楽園</td><td>1人</td><td></td><td>1人</td><td></td><td>2,628,179円</td><td>860,100円</td></tr><tr><td>仙台長生園</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>松風荘</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>5人</td><td></td><td>2人</td><td>3人</td><td>10,818,067円</td><td>2,312,060円</td></tr></table>						施設名	R5 年度末	入所	退所	R6 年度末	入所措置費	入所者 費用徴収額	ひばり園	4人		1人	3人	8,189,888円	1,451,960円	偕楽園	1人		1人		2,628,179円	860,100円	仙台長生園							松風荘							計	5人		2人	3人	10,818,067円	2,312,060円
	施設名	R5 年度末	入所	退所	R6 年度末		入所措置費	入所者 費用徴収額																																														
	ひばり園	4人		1人	3人		8,189,888円	1,451,960円																																														
	偕楽園	1人		1人			2,628,179円	860,100円																																														
	仙台長生園																																																					
	松風荘																																																					
	計	5人		2人	3人		10,818,067円	2,312,060円																																														
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7																																														
	身体や環境上の事情等で在宅生活が困難な高齢者		人																																																			
成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7																																																
①	措置入所者数			人	7	5	-																																															
②						-																																																
			目標 実績 達成率			-																																																
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																																
	事業費		16,435	19,996	11,834	10,846																																																
	財源内訳	国庫支出金																																																				
		県支出金																																																				
		地方債																																																				
		その他	3,008	3,072	2,410	2,313																																																
	一般財源	13,427	16,924	9,424	8,533																																																	
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人																																																	
正職員		0.2 人	-	-	0.2 人																																																	
会計年度任用職員		人	-	-	人																																																	
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																																			
	-		施設への入所により、日常生活の場が確保され、健康で明るい生活を送ることができた。																																																			

○令和6年度養護老人ホーム入所者の状況

施設名	R5 年度末	入所	退所	R6 年度末	入所措置費	入所者 費用徴収額
ひばり園	4人		1人	3人	8,189,888円	1,451,960円
偕楽園	1人		1人		2,628,179円	860,100円
仙台長生園						
松風荘						
計	5人		2人	3人	10,818,067円	2,312,060円

○入所判定委員会の開催 1回

・保健所長、医師、老人福祉施設長等で構成する入所判定委員会を開催し、養護老人ホーム入所措置(継続)の要否を検討した。

・入所判定委員会委員謝礼 27,400円

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(2)	生きがいづくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	102

事業名		00071 敬老事業 敬老事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～																															
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○敬老祝金の支給 高齢者の長寿を祝い、敬老精神の高揚と福祉の増進を図ることを目的に令和7年4月1日までに90歳、95歳、99歳、101歳以上になられる方へ祝金を支給した。 (対象年齢及び支給者数) <table><tr><th>地 区</th><th>90歳</th><th>95歳</th><th>99歳</th><th>101歳以上</th><th>計</th></tr><tr><td>中新田地区</td><td>84名</td><td>35名</td><td>8名</td><td>10名</td><td>137名</td></tr><tr><td>小野田地区</td><td>37名</td><td>21名</td><td>11名</td><td>6名</td><td>75名</td></tr><tr><td>宮崎地区</td><td>46名</td><td>15名</td><td>5名</td><td>8名</td><td>74名</td></tr><tr><td>計</td><td>167名</td><td>71名</td><td>24名</td><td>24名</td><td>286名</td></tr></table> (支給総額)10,000円×286名＝2,860,000円					地 区	90歳	95歳	99歳	101歳以上	計	中新田地区	84名	35名	8名	10名	137名	小野田地区	37名	21名	11名	6名	75名	宮崎地区	46名	15名	5名	8名	74名	計	167名	71名	24名	24名	286名
	地 区	90歳	95歳	99歳	101歳以上		計																																		
	中新田地区	84名	35名	8名	10名		137名																																		
	小野田地区	37名	21名	11名	6名		75名																																		
	宮崎地区	46名	15名	5名	8名		74名																																		
計	167名	71名	24名	24名	286名																																				
高齢者の長寿を祝い、敬老精神の高揚と福祉の増進を図ることを目的に次の事業を実施した。 ①敬老祝金支給:90歳、95歳、99歳、101歳以上の方へ10,000円を支給した。 ②特別敬老祝金支給:100歳を迎える方に150,000円を支給した。 ③敬老者名簿作成:77歳以上の方を一覧とした名簿を作成し配布した。																																									
事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7																																			
敬老事業対象者数【77歳以上の住民:名簿基準日】		人		3,749	3,795																																				
成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6	R7																																			
①	敬老祝金支給人数	人		263	286	－																																			
②	特別敬老祝い金支給人数	人	目標実績達成率	15	20	－																																			
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																			
	事業費		5,481	19,340	17,471	16,435																																			
	財源内訳	国庫支出金	5,481	19,340	17,471	16,435																																			
		県支出金																																							
		地方債																																							
		その他																																							
一般財源																																									
業務量		0.2 人	－	－	0.2 人																																				
正職員		0.2 人	－	－	0.2 人																																				
会計年度任用職員		人	－	－	人																																				
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																						
	－		敬老祝金の支給等により、高齢者の長寿をお祝いし、敬老精神の高揚と福祉の増進を図ることができた。 また、敬老会を中止したことに伴い、地域商品券を敬老会対象高齢者に交付し、社会参加や外出の機会を創出して、健康維持の支援に努めた。																																						

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(4)	高齢者の住環境整備

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	102

事業名			00072 一人暮らし緊急通報システム事業 一人暮らし緊急通報システム事業			担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H20 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○利用料金等(町が負担) ・住宅設置型 月額1,980円 ・携帯型 月額1,870円 (その他、初期登録料6,600円、出動1件につき6,600円) ○導入台数内訳 住宅設置型 73台 携帯型 15台 ○月に一度、委託先の総合警備保障株式会社より報告書が提出され、緊急通報システムの作動状況などを把握。 ○令和3年度より携帯型緊急通報システムの導入申請受付を開始。				
	概ね65歳以上のひとりぐらし高齢者又はひとりぐらしの重度身体障害者が安心して在宅で生活ができるよう、緊急通報システム機器の設置及び既設置者の機器の保守点検を行い、緊急時に備えるとともに、機器を通じて利用者の安否確認を行った。対象者が昼夜を問わず、在宅で安心して生活できるようにすることを目的とする。											
	事業の対象		単位	数量	R5	R6						R7
	ひとり暮らし高齢者や身体障がい者のみの世帯等											
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6						R7
	①	設置世帯数	世帯		78	88						-
	②					-						
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
事業費		1,861	2,310	2,310	1,989							
事業のコスト(千円)	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他										
	一般財源	1,861	2,310	2,310	1,989							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人							
	正職員	0.1 人	-	-	0.1 人							
	会計年度任用職員	人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	一		当該システムの導入により、緊急事態への対応と日常生活上の安全安心を確保し、利用者の一人暮らし等による精神的な不安を解消することができた。また、携帯型システムの導入数増加により、住宅設置型システムが設置できない世帯へも導入が広がっている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(1)	介護予防の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	102

事業名		00073 自立者支援事業 自立者支援通所・家事支援事業				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	H15 ～
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	(自立者生活支援事業)			
	(自立者生活支援事業) 要介護・要支援認定を受けていない方であっても、直ちに通所介護、家事支援など必要な生活支援を行うこと。 (寝具洗濯・乾燥・消毒サービス事業) 寝具の衛生管理が困難な方を対象として、寝具の洗濯・乾燥・消毒サービスを実施することで、衛生的な生活を送ることが出来るよう支援する。						○介護保険非該当者で日常生活に不安を抱える高齢者に対して、デイサービスやヘルパーによる家事支援といった必要なサービスを提供するものである。令和6年度は実績なし。			
							(寝具洗濯・乾燥・消毒サービス事業)			
							○概ね65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、寝たきり等の高齢者がいる世帯で、寝具の衛生管理が困難な方が対象。			
							○寝具の回収と返却、及び洗濯・乾燥・消毒について専門業者へ委託し、10月下旬の年1回実施。			
							○実績 ・利用者数 87名 中新田 32名 小野田 31名 宮崎 24名 ・委託料 574,200円 (利用者負担額として一人当たり600円を徴収)			
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算				
	事業費		570	785	785	575				
	財 源 内 訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他	57	78	78	52				
一般財源		513	707	785	523					
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人					
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人					
会計年度任用職員		人	-	-	人					
事業の成果	成果の区分		成果の説明							
	一		(寝具洗濯・乾燥・消毒サービス事業について) 申請書の取りまとめ等を依頼している民生委員による対象者への積極的な呼びかけにより、多数の利用申請を受け付けた。 利用者が衛生的で快適な在宅生活を送れるよう、円滑なサービス提供に努めた。							

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(2)	生きがいづくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	102

事業名		00074 高齢者温泉入湯助成等事業 高齢者温泉入湯助成等事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H17 ～				
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○令和6年度対象施設及び利用実績等						
	町内に在住する65歳以上の高齢者が町内の温泉施設に登録すると半額で入湯できる入湯助成事業を実施した。							○令和6年度対象施設及び利用実績等						
								施設名		利用者数		新規登録者数		委託料
								薬師の湯		27,289人		85人		6,483,312円
								ゆ～らんど		21,882人		47人		4,252,446円
								ウォーターパーク		2,506人		7人		545,468円
	合 計		51,677人		139人			11,281,226円						
	事業の概要							○実績累計(上段:利用者数、下段:委託料)						
	施設名		R3		R4			R5						
	薬師の湯		23,699人		25,211人			27,779人						
5,478,957円			5,840,868円		6,586,602円									
ゆ～らんど		22,478人		21,254人		20,858人								
		4,350,104円		4,148,122円		4,120,754円								
ウォーターパーク				1,165人		2,072人								
				253,550円		466,466円								
合 計		46,177人		47,630人		50,709人								
		9,829,061円		10,242,540円		11,173,822円								
事業のコスト(千円)						※令和4年度よりウォーターパークでの利用を開始								
項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算						
事業費		11,174		10,900		12,300		11,282						
財源内訳														
国庫支出金														
県支出金														
地方債														
その他														
一般財源		11,174		10,900		12,300		11,282						
業務量		0.1 人		-		-		0.1 人						
正職員		0.1 人		-		-		0.1 人						
会計年度任用職員		人		-		-		人						
成果の区分		成果の説明												
★★★★★ 達成された (100%以上)		・高齢者等の心身の健康と保養を図ることができた。												

○令和6年度対象施設及び利用実績等

施 設 名	利用者数	新規登録者数	委託料
薬師の湯	27,289人	85人	6,483,312円
ゆ〜らんど	21,882人	47人	4,252,446円
ウォーターパーク	2,506人	7人	545,468円
合 計	51,677人	139人	11,281,226円

○実績累計(上段:利用者数、下段:委託料)

施 設 名	R3	R4	R5
薬師の湯	23,699人	25,211人	27,779人
	5,478,957円	5,840,868円	6,586,602円
ゆ〜らんど	22,478人	21,254人	20,858人
	4,350,104円	4,148,122円	4,120,754円
ウォーターパーク		1,165人	2,072人
		253,550円	466,466円
合 計	46,177人	47,630人	50,709人
	9,829,061円	10,242,540円	11,173,822円

※令和4年度よりウォーターパークでの利用を開始

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(3)	高齢者の福祉・介護サービスの充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	103

事業名		00075 老人福祉費諸費 紙おむつ代支給事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○支給要件 65歳以上の在宅高齢者で、寝たきり又は認知症の状態が3か月以上継続し、町民税の所得割が課税されていない世帯の者 ○支給実績 ・支給実人数 30名 ・延べ支給月数 226ヶ月 ・支給総額 1,130,000円						
	在宅で寝たきりまたは認知症高齢者のいる世帯の経済的負担軽減を目的に、紙おむつ代として一人につき1か月あたり5,000円を支給した。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	寝たきり・認知症高齢者		人										
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①	支給対象者数	人		35							30	-
	②											-	
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		1,365	2,100	2,100	1,130							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他											
	業務量		0.2 人	-	-	0.2 人							
正職員		0.2 人	-	-	0.2 人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	-		多くの新規申請があり、在宅の要介護者がいる世帯における紙おむつ代の負担軽減につながった。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(2)	生きがいづくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	103

事業名		00076 老人福祉費諸費 老人クラブ育成事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	～
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	高齢者の知識と経験を生かし、積極的に社会参加が図られるよう、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対して、活動助成金を交付した。			
	加美町老人クラブ連合会及び、単位老人クラブの活動を助長し、高齢者の生きがい活動を支援する。						・令和6年度老人クラブ連合会への助成			
事業の コスト (千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算				
	事業費		3,227	2,835	2,469	2,444				
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	1,754	1,890	1,600	1,600				
		地方債								
		その他								
	一般財源		1,473	945	869	844				
	業務量		0.2 人	－	－	0.2 人				
	正職員		0.2 人	－	－	0.2 人				
	会計年度任用職員		人	－	－	人				
事業の 成果	成果の区分		成果の説明							
			実施計画どおりの活動を行う事で地域のコミュニケーション及び社会参画が図られた。							

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(2)	生きがいづくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	103

事業名		00078 老人福祉費諸費 シルバー人材センター運営費補助金				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～					
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○老人福祉費諸費_シルバー人材センター運営費補助金 決算内訳								
	加美町シルバー人材センターの運営の安定化を図り、働く意欲のある高齢者の就業機会・社会参加・生きがいづくりの場を確保するため、運営に要する人件費等に対し補助金を交付する。						単位:円								
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	項目			内容	補助金額		
	働く意欲のあるおおむね60歳以上の高齢者(会員)		人		164		174	170	①負担金補助及び交付金		加美町シルバー人材センター補助金	10,640,000			
	成果指標名		単位	R5	R6		R7			宮城県シルバー人材センター連合会負担金	20,000				
	①	就業のべ人数		人	目標		10,140	10,140	10,140	補助金額			単位:円		
				実績	9,821		10,436	-	令和 6 年度					令和 5 年度	令和 4 年度
				達成率	96.9%		102.9%	-							
	②				目標				-	加美町シルバー人材センター		10,640,000	11,339,000	11,339,000	
					実績				-						
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算									
	事業費		11,359	10,660	10,660	10,660									
	財源内訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他													
	一般財源		11,359	10,660	10,660	10,660									
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人										
事業の成果	正職員		0.1 人	-	-	0.1 人									
	会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人									
	成果の区分		成果の説明												
★★★★★ 達成された (100%以上)		除草・清掃作業・植木剪定・大工作業など受注件数の増加に伴い、契約金額も前年度比で約4,000千円増となった。													

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(3)	高齢者の福祉・介護サービスの充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	103

事業名		00079 老人福祉費諸費 社会福祉法人等利用者負担軽減補助事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H17 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○令和6年度軽減実施状況 ・軽減対象者数:93名 ・社会福祉法人への助成:6法人(10施設) ・補助金交付額:1,454,173円								
	介護保険制度における利用者負担緩和の観点から、利用者負担軽減制度を実施した社会福祉法人に対して助成を行い、継続的な利用の促進を図った。														
	事業の対象		単位	数量	R5									R6	R7
	低所得で生計困難な方で、介護を必要とする方		人												
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5									R6	R7
	①	介護サービスの利用者負担額の軽減を受けた人の数	人		63									93	-
②					-	-									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算						
	事業費		2,000		2,464		2,674		1,664						
	財源内訳	国庫支出金	1,710		1,848		1,848		1,120						
		県支出金													
		地方債													
		その他													
	一般財源	290		616		826		544							
業務量		0.1 人	-		-		0.1 人								
正職員		0.1 人	-		-		0.1 人								
会計年度任用職員		人	-		-		人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	一		所得が低く特に生計が困難である方について、利用者負担の軽減が図られ、介護サービスの継続的な利用を促進することができた。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業		

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	104

事業名		00082 老人福祉費諸費 その他老人福祉費				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○高齢者保健福祉計画審議会 15名 ○会議開催 1回 ○委員報酬 48千円						
	高齢者保健福祉計画審議会は、町長の諮問に応じ、高齢者福祉計画に関する事項を審議するために設置されたもので、令和6年度は令和6年度を始期とする第9期高齢者保健福祉計画の進捗状況と令和9年度を始期とする第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けたスケジュールの審議等を行った。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	高齢者保健福祉計画審議会		団体		1							1	
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①				-							-	
②			目標実績達成率	-	-								
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		136	144	144	48							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源	136	144	144	48							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人								
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	—		令和6年度を始期とする第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況と令和9年度始期とする第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたスケジュールの審議等を行い、計画の進捗を確認してもらうことができた。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業		

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	03 目 老人福祉費	104

事業名		00770 老人福祉費諸費(繰越明許) その他老人福祉費				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	R7	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	令和6年度(令和5年度からの繰越分)地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 対象事業所：グループホームにこトピア加美 事業計画名：グループホームにこトピア加美防災改修等支援事業計画 事業内容：非常用自家発電設備整備により停電を伴う災害時等において、一定期間高齢者および職員の生命の維持、安全の確保を図るための電力を確保を図る。 「照明の確保」、「医療機器の使用(痰吸引器、酸素濃縮装置)」、「情報機器の稼働」、「冷暖房設備の稼働」、「給水給湯設備の稼働」等の電源確保 補助額：4,730千円 補助率：定額補助						
	介護施設等における防災・減災対策を推進するための改修や整備等に対して補助を行うもので、非常用自家発電設備整備事業を行った施設に対し補助金を交付した。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①												
	②			目標実績達成率									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費			4,730	4,730	4,730							
	財源内訳	国庫支出金		4,730	4,730	4,730							
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源											
	業務量		-	-	-	0.2 人							
正職員		-	-	-	0.2 人								
会計年度任用職員		-	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★★ 達成された(100%以上)		施設整備を行った事により、災害発生に備えた生命の維持及び安全の確保を図るための電力の確保が出来た。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	104

事業名				01293 自立支援給付事業 障害者自立支援介護等給付事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的										事業の内容	○ 障害者総合支援法に基づき、各障害福祉サービスに係る給付を行う。 ＜サービス別の年間利用状況＞				
												単位：人		単位：日		単位：円
	サービス名		実利用者数※		延べ利用日数		給付費									
	居宅介護		32		3,456		32,282,676									
	重度訪問介護		4		554		15,971,810									
	同行援護		3		26		382,602									
	療養介護		9		3,105		27,680,960									
	生活介護		64		13,445		141,608,855									
	短期入所		49		1,630		17,442,285									
	施設入所支援		27		9,251		43,761,280									
共同生活援助		45		14,390		86,758,478										
宿泊型自立訓練		1		269		1,093,647										
自立訓練(生活訓練)		1		185		1,568,883										
就労移行支援		6		655		5,058,280										
就労継続支援(A型)		3		498		3,452,310										
就労継続支援(B型)		87		17,508		133,812,080										
就労定着支援		2		16		233,679										
計画相談支援		185		445		7,622,144										
特定障害者特別給付費(食費)						2,063,948										
特定障害者特別給付費(家賃)						4,935,830										
特例介護給付				430		3,370,100										
合計						529,099,847										
※R7.3.31時点(重複有)																
○ 各障害福祉サービスを提供した事業所に係る請求・支払を委託している宮城県国民健康保険団体連合会への審査委託料。																
単位：円																
介護給付等支払事務委託料 485,660																
成果の説明																
成果の区分																
事業の成果																
一 障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の福祉の増進を図ることを目的に、障害福祉サービス等に係る給付事業を実施した。これにより、日中活動の場である生活介護や就労継続支援は利用者の社会参加を促すとともに、特に共同生活援助(グループホーム)の利用に繋ぐことで、親元からの自立や地域生活への移行を支え、そのご家族の介護負担の軽減に大きく寄与することができた。																

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	104

事業名		01294 自立支援給付事業 障害児通所施設給付事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H24 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○ 児童福祉法に基づき、各障害福祉サービスに係る給付を行う。 ＜サービス別の年間利用状況＞					
	障がい児が施設との利用契約により通所系のサービスを利用し、給付費を町が負担することで、障がい児の発達を支援するとともに家族の身体的・精神的・経済的な負担の軽減を図る。							単位：人 単位：日 単位：円					
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	サービス名	実利用者数※	延べ利用日数	給付費	
	障がい児		人		未把握	未把握		未把握	児童発達支援	14	2,055	22,261,200	
	成果指標名		単位	R5	R6	R7		放課後等デイサービス	46	8,761	101,260,660		
	①	サービスの利用 延べ利用者数		人	目標 実績 達成率	889		915	-	保育所等訪問支援	7	75	880,760
					目標 実績 達成率				-	障害児相談支援	59	125	2,577,740
	②				目標 実績 達成率				-	合計		126,980,360	
					目標 実績 達成率				-	※R7.3.31時点(重複有)			
	事業のコスト (千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算		R6決算	○ 各障害福祉サービスを提供した事業所に係る請求・支払を委託している宮城県国民健康保険団体連合会への審査委託料。				
事業費		111,887	109,013	131,165	127,105	介護給付等支払事務委託料							
財 源 内 訳		国庫支出金	54,524	54,444	64,761	64,760	単位：円						
		県支出金	27,262	27,222	32,381	32,380	123,760						
		地方債											
		その他											
一般財源		30,101	27,347	34,023	29,965								
業務量		2.0 人	-	-	2.0 人								
正職員		2.0 人	-	-	2.0 人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	—		特別な配慮を要する児童への個別的な支援を評価する加算等が各事業所において適切に算定された。これにより、個々の児童に対する支援内容の充実が図られ、質の高い療育を提供する体制が強化された。結果として、保護者が安心して児童を預けられる環境が整い、日々の育児等に伴う家族の負担軽減に寄与した。										

サービス名				実利用者数※	延べ利用日数	給付費
児童発達支援				14	2,055	22,261,200
放課後等デイサービス				46	8,761	101,260,660
保育所等訪問支援				7	75	880,760
障害児相談支援				59	125	2,577,740
合計						126,980,360

※R7.3.31時点(重複有)

○ 各障害福祉サービスを提供した事業所に係る請求・支払を委託している宮城県国民健康保険団体連合会への審査委託料。

介護給付等支払事務委託料 単位：円
123,760

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	105

事業名		01295 自立支援給付事業 高額障害福祉サービス等給付事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H18	～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 高額障害福祉サービス等給付費の支給 同一世帯における障害福祉サービスや介護保険サービス等の利用者負担額の合計が、基準額(原則37, 200円)を超えた場合に、その超過分を支給する。 高額障害福祉サービス等給付費 35,704 円					
	一人の人が複数の障害福祉サービスを利用したり、一つの世帯に利用者が複数いたりする場合に、世帯で合算した利用者負担が過重になることを防ぐ。障害福祉サービスや補装具、介護保険サービス等の利用者負担額をすべて合算し、世帯の所得に応じて定められた上限額を超えて支払った金額を払い戻すことで、利用者の経済的な負担を軽減する。											
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7				
	障害福祉サービス実利用者数		人		267		264	270				
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7				
	①	延べ受給者数			人		40	-	-			
事業のコスト(千円)	②			目標実績達成率		-	-					
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費			222	222	85						
	財源内訳	国庫支出金	111	110	110	111						
		県支出金		54	54	55						
		地方債										
		その他										
	一般財源		-111	58	58	-81						
業務量		人	-	-	0.1 人							
正職員		人	-	-	0.1 人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	一		上限額を超過した利用者に対して、高額障害福祉サービス等が給付されたことにより、経済的な負担が軽減された。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	105

事業名		01296 自立支援給付事業 療養介護医療給付事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H18 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 審査支払事務委託料の支払 各医療機関から各自治体へそれぞれ請求をしていたのでは各々の負担が大きいことから、審査支払機関へ請求及び支払を委託しており、当該業務に対しての手数料を支払う。 介護給付等支払事務委託料 4,577 円				
	事業の対象		単位				R5	R6	R7		
	療養介護医療実利用人数		人	数量	8		9	9			
	成果指標名		単位		R5		R6	R7			
	①	利用延べ件数	件	目標実績達成率	96		103	-	-		
	②			目標実績達成率				-	-		
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		7,608	7,757	7,757	7,726					
	財源内訳	国庫支出金	3,474	3,876	3,876	3,876					
		県支出金	1,900	1,938	1,938	1,938					
		地方債									
		その他一般財源	2,234	1,943	1,943	1,912					
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人						
	正職員		0.2 人	-	-	0.2 人					
	会計年度任用職員		人	-	-	人					
	成果の区分		成果の説明								
事業の成果	-		適切に療養介護における医療部分に対して給付を行えている。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	105

事業名					01297 自立支援給付事業 補装具費給付事業					担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的										事業の内容	対象者からの申請に基づき、県リハビリテーション支援センターの判定または意見により、補装具の購入又は修理等が必要と認められたとき、その費用を補装具費として支給する。 【対象者】 身体障害者手帳、難病の者は医師診断書または特定疾患医療受給者証の所持者（所得制限等により対象とならない場合あり） 【補装具の種目】 義肢、装具、姿勢保持装置、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、人工内耳(人工内耳用音声信号処理装置の修理のみ)、車椅子、電動車椅子、歩行器、歩行補助つえ(T字状・棒状のものを除く)、重度障害者用意思伝達装置 [身体障がい児のみ] 座位保持椅子 起立保持具 頭部保持具 排便補助具 【利用者負担(負担上限額)】 利用者負担は、世帯の所得に応じた負担 (一月あたりの負担上限額あるいは、補装具の一割に相当する額のいずれか低い方) 生活保護受給世帯・市町村民税非課税世帯 負担上限額 0円 市町村民税課税世帯 負担上限額 37,200円 【令和6年度内訳】					
	事業の対象		単位	R5		R6		R7									
	障がい者(児)、難病患者等で補装具が必要と認められた者		件	数量	48	57											
	成果指標名		単位	R5		R6		R7									
	①	補装具費給付件数	件	目標実績達成率	48	57	-	-									
	②			目標実績達成率			-	-									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算								
	事業費		5,870		5,280		7,280		7,124								
	財源内訳	国庫支出金	2,700		2,640		2,640		2,640								
		県支出金	1,350		1,320		1,320		1,320								
		地方債															
		その他															
	一般財源	1,820		1,320		3,320		3,164									
	業務量		0.2 人		-		-		0.3 人								
正職員		0.2 人		-		-		0.3 人									
会計年度任用職員		人		-		-		人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明														
	—		補装具の装着により、身体的・精神的な負担が軽減されており、また安定した日常生活ならびに自立した社会生活に大きく寄与している。高額な補装具も多く、経済的な負担も軽減されている。														

補装具種目	購入件数	修理件数	金額
義肢	1	0	127,306
装具	5	10	509,956
姿勢保持装置	4	0	1,470,619
視覚障害者安全つえ	2	0	13,570
眼鏡	3	0	88,490
補聴器、人工内耳	6	5	541,250
車いす	6	5	2,981,244
電動車いす	1	5	1,160,370
歩行補助つえ	1	0	6,890
座位保持いす(障がい児)	3	0	223,448
合計	32	25	7,123,143

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(1)	障がい者(児)に対する理解の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	
				105

事業名				01299 地域生活支援事業 障害者相談支援事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的								社会福祉法人等で設置している相談支援事業所へ委託し実施している。 受託(委託)した相談支援事業所は専門的知識と対応に長けた専門員(相談支援員)を配置するとともに、電話・ファクシミリやEメールにも対応する相談窓口を開設し、障がいの“ある”・“なし”に関わらず、広く住民の障がいに関する相談を受け、内容によってはその後の支援についても行っている。 ◎令和6年度 ・社会福祉法人大崎誠心会分(事業所:さてら、らいと) 利用者数 100人 相談件数 3,438件 委託料 6,861,800円 ・社会福祉法人加美町社会福祉協議会分(事業所:カミング) 利用者数 47人 相談件数 698件 委託料 5,478,000円							
	“障がい”に関する多種多様な相談事について、専門的知識・対応力を備えた者を置き、障がい当事者らが安心・快適に住まうことができる町にすることを目的としている。															
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7									
	障害者及びその介助者、ほか地域住民で相談を行った者		人		200	1,300	1,300									
	成果指標名		単位	目標実績	R5	R6	R7									
	①	障害者相談件数	件		1,300 3,415 262.7%	2,400 4,136 172.3%	2,600 - -									
	②			目標実績			- -									
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算										
	事業費		13,966	12,340	12,340	12,334										
	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		13,966	12,340	12,340	12,334										
業務量		人	-	-	0.1 人											
正職員		人	-	-	0.1 人											
会計年度任用職員		人	-	-	人											
事業の成果	成果の区分		成果の説明													
	★★★★★ 達成された (100%以上)		障がい当事者やその家族から寄せられる「悩み」や利用している福祉サービスの内容に対しての「要望」などについて、専門の相談員が相談に応じながら、悩みの解消や要望に対する提案などを実施している。 令和4年度から社会福祉法人加美町社会福祉協議会「カミング」が相談支援事業所に加わったことにより、相談件数が大幅に増加しており、令和6年度も増加傾向が続いていることから、本事業の必要性が認められる。													

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(1)	障がい者(児)に対する理解の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名			01300 地域生活支援事業 意思疎通支援事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○手話通訳者・要約筆記者の派遣 障害者総合支援法では、市町村等が実施する地域生活支援事業として聴覚、言語機能、音声その他障がいのため意思疎通を図ることに支障がある者に対して支援を行う規定があり、効果的な実施手段として、社団法人宮城県聴覚障害者福祉協会(以下、「福祉会」と略)より手話通訳者・要約筆記者を都度、派遣してもらい実施している。						
	専門的な研修を受け手話通訳者と認められた者が間に入ることで、正確かつきめ細かな意思疎通を図り、障がいの地域生活に役立てる。													
	事業の対象		単位	数量	R5	R6								R7
	聴覚等障がいのため意思疎通を図ることに支障がある者		人		2	1								2
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6								R7
	①	利用件数	回		38 33 86.8%	38 47 123.7%								38 － －
	②			目標実績達成率										－ －
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
	事業費		218	255	451	345								
	財源内訳	国庫支出金	58	127	126	126								
		県支出金	30	63	63	63								
		地方債												
		その他												
	一般財源		130	65	262	156								
業務量		0.1 人	－	－	0.1 人									
	正職員		0.1 人	－	－	0.1 人								
	会計年度任用職員		人	－	－	人								
	成果の区分		成果の説明											
事業の成果	★★★★★ 達成された (100%以上)		近年は実利用者数とその利用回数は横ばいの状況である。一方で、この事業の利用者は障がい者福祉計画で見通しを立てているが、隔たりが生じているため、一層の普及を図る必要があると思われる。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(1)	障がい者(児)に対する理解の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				106

事業名		01301 地域生活支援事業 理解促進研修・啓発事業				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	H26	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	令和3年度から、教育委員会と連携し、児童への障害理解促進を目的に、町内の小学校8校へパンフレットを配布し、総合学習の中で活用されている。						
	地域住民に対して障がい者等に対する理解を深めるための研修・啓発事業を市町村が実施主体となって実施する。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	地域住民(町民人口)		人		21,624							21,232	
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7
	①	啓発普及回数	回		1							1	- -
②			目標 実績 達成率			- -							
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		56	56	56	52							
	財 源 内 訳	国庫支出金	14	28	28	16							
		県支出金	7	14	14	8							
		地方債											
		その他											
	一般財源	35	14	14	28								
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人								
	正職員		0.1 人	-	-	0.1 人							
	会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	－		障害理解啓発は学ぶ機会を何度も繰り返し作っていくことが大切である。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名		01302 地域生活支援事業 障害者移動支援事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H22 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	障がい者の社会生活上必要な活動または余暇活動として原則1日で完結する外出に際し、介助者を同行させ移動を補助する事業。障害者総合支援法に規定される地域生活支援事業のうち、市町村が実施すべき必須事業となっている。			
	屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図ることを目的とする。							実施については、町の委託契約を交わした指定事業者が、さらに障がい者(利用者)からの個別の依頼を受けてサービスを提供し、町はその利用料(委託料)を支払うもの。利用には、利用者が町に対し事前に申請のうえ登録する必要がある、承認された場合、一人当たりの利用時間は上限20時間/月となっている。			
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	○町から事業者への利用料(委託料) (1)身体介護を伴う場合 ・利用時間が30分未満の場合:2,300円 ・利用時間が30分以上1時間未満の場合:4,000円 ・利用時間が1時間以上1.5時間未満の場合:5,800円 以後30分ごとの加算額:820円 (2)身体介護を伴わない場合 ・利用時間が30分未満の場合:800円 ・利用時間が30分以上1時間未満の場合:1,500円 ・利用時間が1時間以上1.5時間未満の場合:2,250円 以後30分ごとの加算額:750円 ○利用者から事業者への利用料(自己負担額(月額上限額)) 生活保護(生活保護受給世帯):0円 低所得1(町民税非課税世帯で障がい者または障がいの児の扶養義務者の収入が80万円以下の方):0円 低所得2(町民税非課税)世帯で低所得1以外の方):0円 一般1(町民税課税世帯で市町村民税所得割28万円未満の障がいの児世帯の方):4,600円 一般1(町民税課税世帯で市町村民税所得割16万円未満の障がい者世帯の方):9,300円 一般2(町民税課税世帯で一般1以外の方):37,200円		
	サービス利用人数(実利用者数)		人		4	4		4			
	成果指標名		単位	R5	R6	R7					
	①	サービス利用者時間	時間	目標実績	150 345	150 250		150 -			
達成率				230.0%	166.7%	-					
②			目標実績			-					
			達成率			-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		815	800	800	561					
	財源内訳	国庫支出金	203	400	223	223					
		県支出金	101	200	111	111					
		地方債									
		その他									
	一般財源	511	200	466	227						
業務量		人	-	-	0.1 人						
	正職員		人	-	-	0.1 人					
	会計年度任用職員		人	-	-	人					
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		サービスの実利用人数に増減はなかったが、利用時間の減少が見られた。 事業としては、障がいを持つ方が安心・安全な外出機会が得られることによって、障がい福祉の増進や社会参画の促進が図られている。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名		01303 地域生活支援事業 障害者訪問入浴事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H22 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	在宅の障がい者で、かつその環境では入浴が困難な者に対し、専用の設備・器具を有する業者が訪問し入浴を支援(提供)する事業。障害者総合支援法に規定される地域生活支援事業の一つ。				
	家庭において入浴することが困難な身体障がい者に対して、訪問により居宅で入浴サービスを提供し、身体の清潔保持と心身機能の維持及び福祉の向上を図ることを目的とする。						事業内容から対象者は身体障害(主に肢体・体幹機能障害)を有する者に限られる。実施については町の委託契約を交わした指定事業者が、さらに障がい者(利用者)からの個別の依頼を受けてサービスを提供し、町はその利用料を支払うもの。 利用には、利用者が町に対し事前に申請し、登録する必要があり、承認された場合、1人当たりの利用時間は上限10回/月となっている。 なお、利用者は利用料の1割を負担するが、所得区分ごとに月額において上限を設けている。				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	サービス利用人数(実利用者数)		人		9		8	8			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	サービス利用者回数	回		840 806 96.0%		840 752 89.5%	- -			
②			目標実績 達成率			- -					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		10,105	11,038	10,000	9,532					
	財源内訳	国庫支出金	2,618	5,519	2,785	2,785					
		県支出金	1,309	2,759	1,393	1,393					
		地方債									
		その他一般財源	6,178	2,760	5,822	5,354					
	業務量		人	-	-	0.1 人					
正職員		人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		前年度に比べ、利用者数が1名減って8名(うち年間を通して利用された方は7名、年度途中で利用しなくなった方が1名)となったため、サービスの利用回数は減少している。しかしながら、利用者8名の利用回数は平均月8.4回で、前年度の月7.5回と同様に4日に1回程度のペースで継続的に利用されている。このため、今後も利用者が健康的な地域生活を送る上で、身体の衛生を保つとともに、精神面でもリフレッシュできるなどの効果が見られることから、引き続き本事業によるサービスの提供が必要とでであると考える。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名		01304 地域生活支援事業 障害者日中一時支援事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H22 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	通所型のサービスで、障がい者を日中一時的に預かることで支援にあたる介助者(主に家族)の負担軽減を図る事業。障害者総合支援法に規定される地域生活支援事業の一つ。				
	障がい者等の日中における一時預かり事業を実施することにより、家族の負担軽減のほか、障がい者等の見守りや社会に適応するための日常的な訓練など多様な福祉サービスの提供を行うことにより、障がい者やその家族の生活を支援することを目的とする。						実施については町の委託契約を交わした指定事業者が、さらに障がい者(利用者)からの個別の依頼を受けてサービスを提供し、町はその利用料を支払うもの。 利用には、利用者が町に対し事前に申請し、登録する必要があり、承認された場合、1人当たりの利用時間は上限20回(日)/月となっている。 なお、利用者は利用料の1割を負担するが、所得区分ごとに月額において上限を設けている。 生活保護(生活保護受給世帯):0円 低所得1(町民税非課税世帯で障がい者または障がい児の扶養義務者の収入が80万円以下の方):0円 低所得2(町民税非課税」世帯で低所得1以外の方):0円 一般1(町民税課税世帯で市町村民税所得割28万円未満の障がい児世帯の方):4,600円 一般1(町民税課税世帯で市町村民税所得割16万円未満の障がい者世帯の方):9,300円 一般2(町民税課税世帯で一般1以外の方):37,200円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	サービス利用人数(実利用者数)		人		11		7	7			
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7			
	①	サービス利用回数	回(日)		393		106	-			
②			目標実績達成率			-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		1,343	1,496	496	290					
	財源内訳	国庫支出金	355	748	138	138					
		県支出金	177	374	69	69					
		地方債									
		その他一般財源	811	374	289	83					
業務量		人	-	-	0.1 人						
正職員		人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	一		日中一時支援事業は、利用者の状況に応じて柔軟な形態で事業を実施できる地域生活支援事業に分類されており、ここ数年は利用実績は増加傾向にあったものの、令和6年度は障がいをお持ちの方が就労支援事業所を利用などの理由により、ご家族などの介助者の日中の負担が軽減されたことから、利用機会の減少したと推測される。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名				01306 地域生活支援事業 障がい者交通対策事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～					
事業の概要	事業の説明及び目的								【自動車運転免許取得事業】 障がい者(障害事由は問わない)の自動車等運転免許取得に際し、掛かった費用の2/3の額(または上限100,000円のいずれか低い額)を補助金として交付する事業。 【自動車運転免許取得・改造助成事業】 身体障害を有する者の自家用車に対する補助構造物取付等の改造に掛かる費用の2/3の額(または上限100,000円のいずれか低い額)を補助金として交付する事業 の2つからなる事業。 ◎令和6年度 自動車運転免許取得事業 1件(補助金交付額:100,000円)										
	障がいがあっても隔たりなく社会に参画してもらうため、自動車運転免許取得や障がい特性に対応する(させる)自動車の改造に掛かる費用を軽減し、促進を図ることを目的としている。																		
	事業の対象		単位	数量	R5		R6										R7		
	障がい者		人		4		3										3		
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6										R7		
	①	補助金交付件数			件	4 3 75.0%		3 1 33.3%									3 － －		
		②			目標 実績 達成率		－ － －												
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算										R6決算		
	事業費		300		300		300										100		
事業のコスト(千円)	財源内訳	国庫支出金																	
		県支出金																	
		地方債																	
		その他一般財源																	
業務量		人		－		－		0.1 人											
正職員		人		－		－		0.1 人											
会計年度任用職員		人		－		－		人											
事業の成果	成果の区分		成果の説明																
	★★ 達成度が低い (30%以上60%未満)		運転免許取得補助については、自動車学校での教習、試験等免許取得に要する時間があるため、交付認定の請求から実際の交付までに半年、もしくはそれ以上の期間が掛かる。そのため、年度を跨いで交付があった場合に前後の年度で成果(実績)は偏りが生じてしまい、年度別で達成度を判断する場合、適切でないことがある。																

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	106

事業名		01307 地域生活支援事業 日常生活用具給付事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H22	～
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 日常生活用具等の給付 対象者に対して、日常生活を送るために必要とする用具等を給付する				
	障がい者等に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り、障害者等の福祉の増進に資する。										
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	町内に住所を有する町長が支給決定を行った施設入所者等		人		60		65	65			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	給付件数	件		596		624	-			
事業のコスト(千円)	②			目標実績 達成率			-	-			
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		6,548	6,732	6,732	6,426					
	財源内訳	国庫支出金	1,606	3,366	1,875	1,875					
		県支出金	803	1,683	937	937					
		地方債									
その他一般財源		4,139	1,683	3,920	3,614						
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人						
正職員		0.2 人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人	-	-	0.1 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	一		障がい者(児)が日常生活を営むうえで、常時使用する用具や物品を給付することにより、障がい者(児)の便宜を図り、また、費用負担を軽減することができた。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				106

事業名				01308 地域生活支援事業 成年後見制度利用支援事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H22 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	障がいがあることで判断能力が十分でない者、かつ、親族等扶養義務を有する者からの支援(後見)が望めない場合、町長が申立者となって後見開始までの審判請求を行う事業。審判請求に要した費用は本人負担となるものを除き、町が負担する。 また、被後見人である障害当事者の資力が不足し、選任された後見人等への報酬支払いが難しくなった場合はその報酬について助成を行う事業。 ◎令和6年度 役務費(診断書作成手数料) 1件： 6,600円 扶助費(成年後見制度利用支援) 2件： 528,000円							
	障がい有することにより判断能力が十分でない者、かつ、親族等扶養義務を有する者からの支援が望めない者のため、町長が申立者となって後見開始の審判請求や特定状況下での後見人報酬の助成を行う事業。 それらの支援によって、障がい者の権利が守られ、安心・安全な地域生活が送れるようにすることが目的。																
	事業の対象		単位	数量	R5		R6									R7	
	知的・精神障がい者で判断能力が十分でない者、かつ、その支援を行う者がいない者		人		3		3									3	
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6									R7	
	①	申立件数	件		3		3									-	
	②			目標実績 達成率												-	
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算									R6決算	
	事業費		528		1,022		679									535	
財源内訳	国庫支出金	142		511		189		189									
	県支出金	71		255		95		95									
業務量	地方債																
	その他一般財源	315		256		395		251									
正職員	人		-		-		0.1 人										
	会計年度任用職員	人		-		-		0.1 人									
事業の成果	成果の区分								成果の説明								
	—								本事業が必要となるケースは判断能力が不足しており、かつ、親族等の支援が望めない者である。成果判断に用いた目標は総合計画の分野別計画である障がい福祉計画より引用しているが、そもそも「対象となる方がいない」ことが望ましいものである。町長申立ての実績は0件であったが、後見人等への報酬支払いや医療機関に対して今後町長申立てが必要と見込まれる方の診断書作成依頼といった必要な支援(後見等)を実施しており、事業の目的は十分に果たされているものと考えられる。								

事業名		01309 地域生活支援事業 地域活動支援センター運営事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H25 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	現在3か所の地域活動支援センターを設置している。 中新田地域活動支援センターあおぞら 小野田地域活動支援センターわかば 宮崎地域活動支援センターさくら 小野田地域活動支援センターわかば、宮崎地域活動センターさくらは町直営、中新田地域活動支援センターあおぞらは加美町社会福祉協議会に運営を委託している。 【対象者】 (1) 自立支援法第4条第1項に規定する障害者及び同条第2項に規定する障害児で、町内に居住する満15歳以上の通所可能な者 (2) 前号に掲げる者のほか、主治医の診断等により障害があると認められる者 【令和6年度の活動】 地域活動支援センターあおぞら(中新田地区) 活動内容：自主製品(牛乳パック再利用作品・飾り作品)の作成・販売、洗車等 通所者 5名、開所日数 240日、延人数 808名 地域活動支援センターわかば(小野田地区) 活動内容：自主製品(ヘチマ水、廃油石鹸、手工芸品等)の作成・販売、農作業等 通所者 6名、開所日数 200日、延人数 788名 地域活動支援センターさくら(宮崎地区) 活動内容 自主製品(手工芸品、牛乳パック再利用作品等)の作成・販売、環境整備等 通所者 6名、開所日数 239日、延人数 873名						
	地域活動支援センターにおいて、障がい者等に対して創作的活動の機会を提供することにより、障がい者の地域生活への移行を推進するとともに、地域における自立生活の促進を図ることを目的とする。(障害者総合支援法に基づき各市町村が実施する地域生活支援事業の必須事業の一つ。)												
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7					
	障がい者(児)(定員各地活10名、合わせて30名)(詳細は事業の内容の【対象者】のとおり)		人		30		30	30					
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7					
	①	利用率(実人数)	%		30 18 60.0%		30 17 56.7%	30 － －					
	②	利用者(延人数)	人	目標 実績 達成率	2,564		2,469	－ － －					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		12,547	15,108	16,308	15,999							
	財 源 内 訳	国庫支出金	4	4	4	4							
		県支出金											
		地方債											
		その他											
	一般財源		12,543	15,104	16,304	15,995							
業務量		4.3 人	－	－	4.3 人								
正職員		0.3 人	－	－	0.3 人								
会計年度任用職員		4.0 人	－	－	4.0 人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★ 達成度が低い (30%以上60%未満)		在宅障がい者が社会参加・訓練できる場所として定着し、障がい者の病状の安定や基本的な生活技術の習得の場となっており、地域生活の維持につながっている。また自主製品の販売等により、地域の人々が障がい者の作業や活動について評価や理解をしてくれるようになり、微力ではあるが町民と共存する生活の推進に結びついている。 令和6年度も昨年度に引き続き、統合に向けて各地域活動支援センター利用者、支援員が他の地域活動支援センターに行き、作業を体験したり交流を図った。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				107

事業名		01310 地域生活支援事業 自発的活動支援事業				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	H25 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	障がいのある方等が、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障がい者等、その家族、地域の住民等による地域における自発的な取り組みを支援することにより、共生社会の実現を図ることを目的とする。（障害者総合支援法に基づき各市町村が実施する地域生活支援事業の必須事業の一つ。） 宮城県精神福祉協会は県全体へ精神保健福祉に関する正しい知識の普及啓蒙、地域社会の理解と協力を得て障害者と家族が安心して生活できる環境づくりを図っており、負担金5千円を支出している。					
	事業の対象		単位	数量	R5						R6	R7
	全住民		人		21,876						21,232	
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5						R6	R7
	①	自発的な取り組み数			実施 負担金のみ						実施 負担金のみ	実施 -
	②			達成率	-						-	
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		5	5	5	5						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他 一般財源	5	5	5	5						
業務量		人	-	-	人							
正職員		人	-	-	人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
			会員の高齢化等で活動が困難となったり、また新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、自発的な取り組みが困難な状況が続いている。このことから現在事業の実施には至っておらず、宮城県精神保健福祉協会の負担金のみとなっている。負担金により微力ではあるが、県全体へ精神保健福祉に関する正しい知識の普及啓蒙、地域社会の理解と協力を得て障がい者と家族が安心して生活できる環境づくりに結びついている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(3)	障がい者(児)に対する生活環境の整備

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名			01311 地域生活支援事業 手話奉仕員養成研修事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H24 ～
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	聴覚障がい者等との交流の場の促進、町の広報活動などの支援者として期待される日常会話程度の手話表現技術を習得した手話奉仕員の養成講座を行っている。(障害者総合支援法第七十七条第1項第七号)			
	聴覚障がい者及び音声・言語機能障がい者が地域との交流をより円滑に行えるよう、手話で日常会話を行うのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成することを目的とする事業。							○手話奉仕員養成講座の開催 対象者:18歳以上の方(大崎市・色麻町・美里町・加美町在住の方) 契約先:一般社団法人宮城県聴覚障害者協会 手話奉仕員養成研修事業は指導者等の確保が難しいため、大崎市、色麻町、美里町と当町の連名による委託契約によって実施している。契約先とは最も人口規模の大きい大崎市が代表者となってカリキュラムの編成、全体の委託料等の交渉を行っている。委託料についてはその年度の参加者総数に対する各市町の参加者数の比率で公平に按分される。			
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7			
	聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意を有する方				1	1		1			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5	R6		R7			
	①	手話奉仕員養成講座受講生数 人			1 1 100.0%	2 1 50.0%		1 - -			
②			目標実績 達成率			- -					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		16	45	23	23					
	財源内訳	国庫支出金	4	22	6	6					
		県支出金	2	11	3	3					
		地方債									
		その他 一般財源	10	12	14	14					
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人						
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★ 達成度が低い (30%以上60%未満)		養成研修は入門編と基礎編と1年ずつ替えてカリキュラムが組まれ、入門編を修了していない者は翌年度の基礎編を受講することができないという仕組みや、受講定員の減少(30人→20人)もあって新規受講者が増え難くなっている。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名				01689 地域生活支援事業 知的障害者職親委託事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		～				
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容 職親への委託を希望する知的障がい者について、職親になることを希望する者(知的障がい者の更生援護に熱意を有する事業経営者等)への委託のもと、生活指導及び技術習得訓練等を行うことにより、一般雇用関係への切り換えまたは新たに就職できるよう努める事業である。 委託した職親に対し、町長は職親が知的障がい者に対して行う生活指導及び技能習得訓練等の内容を勘案して委託料を支払うものであり、令和6年度は農業の技術習得訓練を実施した職親に対し、30,000円/月の委託料を支払っている。									
	知的障がい者の自立更生を図るため、知的障がい者を一定期間、知的障がい者の更生援護に熱意を有する事業経営者等の私人(以下「職親」という。)に預け、生活指導及び技術習得訓練等を行うことにより、就職に必要な素地を与えとともに雇用の促進と職場における定着を高め、知的障がい者の福祉の向上を図るもの。																	
	事業の対象		単位	数量	R5		R6										R7	
	町内に居住地を有する知的障がい者またはその保護者で、職親への委託を希望する者		人		1		1										1	
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6										R7	
	①	委託申請件数	件		1		1										1	
					1		1										-	
				100.0%		100.0%		-										
	②			目標実績達成率														
					-		-											
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算									
	事業費		360		360		360		360									
	財源内訳	国庫支出金	90		180		100		100									
		県支出金	45		90		50		50									
		地方債																
		その他																
	一般財源		225		90		210		210									
業務量		0.1 人		-		-		0.1 人										
	正職員		0.1 人		-		-		0.1 人									
	会計年度任用職員		人		-		-		人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明															
	★★★★★ 達成された (100%以上)		令和6年度委託期間満了時点において、職親委託事業を利用した知的障がいをお持ちの方が一般雇用関係に切り替わることは至らなかったものの、今後もあらゆる雇用関係を見据えながら、令和7年度以降もこの知的障がい者と継続的に農業を行っていく考えであることから、知的障がいをお持ちの方の就労支援という目的は達成できたと考える。															

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名		00086 医療費助成事業 心身障害者医療費助成事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H16 ～				
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○医療費の助成 医療費については障がいの原因となる疾患等に限らず、医療保険が適用となるもの全てが対象。 重度の障がいを抱えている方が、医療機関等で支払った医療費の内、最終的な自己負担分を助成する。 (各種医療保険における高額療養費及び公費負担分、健康保険組合や共済組合等で定められている附加給付制度により給付となる部分については控除したうえで助成する。) 重度の障がいの対象 ・身体障害者手帳が1級、2級及び3級の方。ただし、3級は内部障害(心臓や腎臓など)の方に限る。 ・療育手帳の判定がA及び職親に委託されているBの方。 ・精神障害者保健福祉手帳1級の方。 ・特別児童扶養手当1級を支給されている児童。 各医療機関毎(入院と外来はそれぞれ)に月に1枚、申請書を提出することにより、3～4か月後を目途に助成を行う。 なお、本人、配偶者及び扶養義務者等に対して毎年所得審査が行われ、所得上限を超過した場合には、1年間助成を受けることが出来ない。							
	事業の対象		単位									R5	R6	R7
	年度末対象者数		人	数量								690	677	655
	成果指標名		単位									R5	R6	R7
	①	助成実人数	人	目標実績達成率								547	523	－ －
	②	助成件数	件	目標実績達成率								11,721	11,288	－ －
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		51,452		53,980	48,480	48,163							
	財源内訳	国庫支出金												
		県支出金	25,506		26,922	23,713	23,879							
		地方債												
		その他	762		300	300	529							
一般財源		25,184		26,758	24,467	23,755								
	業務量		0.7 人	－	－	0.7 人								
	正職員		0.7 人	－	－	0.7 人								
	会計年度任用職員		人	－	－	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明											
	－		受給資格を認定されてから、一度も制度を利用したことが無い受給者も少なくは無い。手帳交付時に制度についての説明はしているものの、毎月申請書を提出する手間や、制度を複雑に感じて利用しない方もいると思われる。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				108

事業名		01312 障害者福祉諸費 身体・知的障害者相談員事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	一般住民の中から障がいに精通し熱意をもってその支援にあたることができる者から、身体障害者相談員(5名)及び知的障害者相談員(1名)を選任し委嘱を行っている。 委嘱された相談支援員は、保健福祉課や小野田福祉センター、宮崎福祉センターに定期的に会場を設けて「障がい者福祉相談」を開催したり、行政区長や民生委員、地域住民からの情報提供をもとに障がい者宅等を訪問したりするなどして相談にあたっている				
	身体に障がいのある者や知的障害者への更生援護の相談に応じ、助言・指導を行うとともに地域活動の推進のため関係団体との協働に際し協力や連携など調整を行う。 知的障害者相談員は知的障害者援護思想の普及活動を促進する役割も担っている。											
	事業の対象		単位	数量	R5	R6						R7
	障がい者及び障がいに関係する地域住民		人		21,876	21,189						20,750
	成果指標名		単位	R5	R6	R7						
	①	相談件数	件	目標	30	30						30
				実績	48	44						-
達成率				160.0%	146.7%	-						
②			目標									
			実績			-						
			達成率			-						
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		171	172	172	147						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他										
一般財源		171	172	172	147							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人							
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★★ 達成された (100%以上)		保健福祉課や小野田・宮崎両福祉センターで会場を設けて受付ける「障がい者福祉相談」と障害者や地域からの要請に応じ対応した相談件数を指標としている。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から休止していた「障がい者福祉相談」を、令和6年度より再開した。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名		01313 障害者福祉諸費 在宅酸素療法酸素濃縮器利用助成事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H15 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	身体障害者手帳(呼吸器機能障害かつその等級が3級以上)を取得した者で在宅で酸素濃縮器を利用する場合、その利用時間や消費電力(W)に応じた助成金を給付している。 財源には一般財源のほか、市町村振興総合補助金(助成対象者実人数×7,000円)が充てられている。						
	在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障害者に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成することにより、当該呼吸器機能障害者の健康の維持とその福祉の向上を図ることを目的とする。													
	事業の対象		単位	数量	R5	R6								R7
	在宅で生活する身体障害者(呼吸器機能に障がい有する者のうち3級以上の者)		人		24	16								15
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6								R7
	①	助成対象者数	人		24 14 58.3%	16 10 62.5%								15 － －
	②			目標実績達成率										－ －
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
	事業費		206	316	181	169								
	財源内訳	国庫支出金	105	112	112	70								
		県支出金												
		地方債												
		その他												
	一般財源	101	204	69	99									
業務量		0.2 人	－	－	0.2 人									
事業の成果	正職員		0.2 人	－	－	人								
	会計年度任用職員		人	－	－	人								
	成果の区分		成果の説明											
★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		助成対象者数は年度ごとに身体障害者手帳の新規取得や居住地変更、死亡等の理由によって増減が生じる。成果指標としては「助成対象者数」を掲げているが、事業の趣旨としては、在宅酸素療法を必要とする者が漏れなく助成の対象となることであり、おおむね実施できていると考えられる。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(1)	障がい者(児)に対する理解の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名		01314 障害者福祉諸費 障害者福祉計画事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○「第4期障がい者計画」、「第7期障がい福祉計画」、「第3期障がい児福祉計画」の進捗評価 ・計画の期間: 令和6年度から令和8年度までの3か年間 ・障害福祉計画審議会: 委員12名(委嘱期間: R5.9.1～R8.3.31) ・内容: 会議開催: 1回　9名出席 令和6年3月に策定した計画の1年目として、前計画の振り返りと今期計画の進捗状況を報告し、委員各位よりそれぞれの立場からの意見を頂戴し、今計画の達成に向け、課題の整理と施策の方向性の検討を行った。					
	「第4期障がい者計画」、「第7期障がい福祉計画」、「第3期障がい児福祉計画」の進捗評価を目的に、各委員より意見をいただきながら障がい者福祉施策の推進を図る。											
	事業の対象		単位	数量	R5						R6	R7
	障害福祉計画審議会		団体		1						1	
	成果指標名		単位	R5	R6						R7	
	①	会議開催	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%						1 1 100.0%	 - -
②			目標 実績 達成率			 - -						
事業のコスト(千円)	項　目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		3,301	31	31	21						
	財 源 内 訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他 一般財源	3,301	31	31	21						
業務量		0.3　人	-	-	0.3　人							
正職員		0.3　人	-	-	0.3　人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	一		「第4期障がい者計画」、「第7期障がい福祉計画」、「第3期障がい児福祉計画」の進捗状況を確認し、未達成の部分について明らかにすることができた。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	108

事業名		01315 障害者福祉諸費 難聴児補聴器購入助成事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H25 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	身体障害者手帳(聴覚機能障害)の交付対象とならない下記対象者が、補聴器の購入等を行う際に助成を行う。 参考見積または実施要綱に定める基準価格等を基に2／3の額を助成。本人負担を概ね1／3とする。 【対象者】 次の要件をすべて満たす18歳未満の児童。 (1) 両耳の平均聴力レベルが30dB以上で、身体障害者手帳の交付対象とならないこと。 (2) 補聴器の装用により、脳の発達や言語の早期習得等に一定の効果が期待できると医師が判断していること。 ◎令和6年度 扶助費(難聴児補聴器購入給付費) 1件:175,470円						
	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児の補聴器購入費用の一部を助成することにより、難聴児を養育する世帯の負担軽減とともに、難聴児の脳の発達や言語の早期習得を促進し、もって難聴児の福祉の増進に資することを目的とする。												
	事業の対象		単位		R5							R6	R7
	難聴児(詳細は事業内容【対象者】のとおり)		人	数量	0							1	
	成果指標名		単位		R5							R6	R7
	①	補聴器支給数	人	目標実績達成率	0							1	- -
②			目標実績達成率			- -							
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		0	91	176	176							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金	45	45	87								
		地方債											
		その他一般財源	46	131	89								
業務量		人	-	-	0.1 人								
正職員		人	-	-	0.1 人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	—		補聴器を支給することにより、日常生活、学校生活において聞き取りが改善され、学習内容の習得や生活の質の向上した。また補聴器購入費用の助成をすることにより、難聴児を養育する世帯の経済的負担が軽減された。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				109

事業名		01316 障害者福祉諸費 理学療法士指導事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H21	～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	事業内容					
	在宅の障がい者(児)に対し、訪問し必要なリハビリテーションを行うことにより、身体機能の維持・回復を図る、または状態の悪化を予防し、日常生活の自立を助けることを目的とする。						理学療法士が訪問により以下の内容を行う。 (1)家庭訪問等により、身体機能の維持・向上のための運動、生活指導 (2)住宅改修・福祉用具に関する相談 (3)機能訓練等に関する、諸制度等の活用についての相談 (4)家族への介護方法の助言 (5)その他必要と認められること					
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	令和5年度 利用者数 延9回 実1人			
	訪問リハビリテーションを必要としている在宅の障がい者(児)		人		未把握		未把握		指導内容 身体機能の維持・悪化予防のための機能訓			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7	令和6年度 利用者数 延9回 実1人			
	①	実施回数			回		12 9 75.0%	10 9 90.0%	- - -	指導内容 身体機能の維持・悪化予防のための機能訓練		
		②	利用実人数		人		2 1 50.0%	2 1 50.0%	- - -			
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算	R6決算				
	事業費		153		170		170	153				
	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		153		170		170	153				
業務量		0.1 人		-	-	0.1 人						
正職員		0.1 人		-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人		-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		理学療法士の訪問で必要な指導、助言を行うことにより、身体機能が維持されている。しかし利用者が固定化しており、利用実績が横ばいとなっている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(1)	障がい者(児)に対する理解の推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	109

事業名		01320 障害者福祉諸費 大崎地域広域行政事務組合負担金(民生費)				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	大崎圏域1市4町(大崎市、美里町、涌谷町、色麻町、加美町)に住む者で、主に発達障害のある児童らに療育を施す場として「大崎広域ほなみ園」を設置し共同処理事務として管理・運営を任せている。 平成30年度からは医療的ケア児の受け入れが始まり数少ない受け皿として機能しているほか、令和2年度には保育所等訪問事業も開始し、障がい児の受け入れを行っている保育所等へ指導・助言を行う等指導的役割も果たしている。			
	大崎圏域1市4町で委託している共同処理事務の内、大崎広域「ほなみ園」の管理運営のため行っている事業										
	事業の対象		単位	数量	R5	R6					R7
	町内及び圏域内の障がい児 (対象者数は把握できず)		人		5	6					2
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6					R7
	①	通園者数	人		5 5	6 6					2 －
	②				100.0%	100.0%					－
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	事業の内容				
	事業費		7,099	9,465	9,465	9,465					
	財源内訳	国庫支出金	7,099	9,465	9,465	9,465					
		県支出金									
		地方債									
		その他									
	業務量		0.1 人	－	－	0.1 人					
正職員		0.1 人	－	－	0.1 人						
会計年度任用職員		人	－	－	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		障がい児福祉計画で目標とする人数を成果指標としているが、「ほなみ園」の役割は発達障害のある子どもの受け入れのほか、保育所等への訪問相談支援や子どもに発達の悩みや養育上の心配がある家庭を対象とした「みんなの広場」の開催など幅広く事業を実施している。また、加美町単独ではなく大崎圏域による共同処理事務であることから、事業評価を行うことは適当ではないと考えられるため、左記のとおり成果とする。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目	障害者福祉費
				109

事業名		01321 障害者福祉諸費 その他障害者福祉事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 消耗品費及び封筒の購入 各事業に使用する消耗品や参考図書を購入した 消耗品費 70,164 円 ○ 加美町障害者自立支援センター修繕工事 町が開設者となっている「加美町障害者自立支援センター」の建物について、経年劣化に伴う照明交換・天窓修繕・給油配管撤去・保温断熱修繕の各工事を行った。 障害者自立支援センター修繕工事 2,036,100 円						
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①												
	②												
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		1,111	104	2,504	2,107							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源	1,111	104	554	157	1,950	1,950					
業務量		人	-	-	人								
正職員		人	-	-	人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	一		加美町障害者自立支援センターについて、修繕工事の実施により、事業者(指定管理者)及び利用者の利用環境が改善された。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	109

事業名			00687 更生医療給付事業 更生医療給付事業				担当課		保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間		H18 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○ 審査支払事務委託料の支払 各医療機関から各自治体へそれぞれ請求をしていたのでは各々の負担が大きいことから、審査支払機関へ請求及び支払を委託しており、当該業務に対しての手数料を支払う。 更生医療審査支払事務委託料 16,748 円						
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	○ 自立支援医療費（更生医療）の給付 指定自立支援医療機関における自己負担額が1割となり、また、所得に応じて設けられる自己負担上限額を超過した自己負担額（月額）については、公費負担となる。 更生医療給付費 20,463,669 円					
	更生医療実利用人数		人		26	22		20						
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6		R7	○ 前年度負担金返還金 前年度に交付を受けた国庫負担金・県負担金が超過交付となり返還を行った。 前年度更生医療給付費負担金返還金 683,607 円					
	①	受診件数	件		386	375		－						
	②			－	－									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
	事業費		27,125	27,761	22,445	21,165								
	財源内訳	国庫支出金	13,932	13,872	13,872	13,872								
		県支出金	6,966	6,936	5,500	5,500								
		地方債												
		その他												
	一般財源		6,227	6,953	3,073	1,793								
業務量		0.2 人	－	－	0.2 人									
	正職員		0.2 人	－	－	0.2 人								
	会計年度任用職員		人	－	－	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明											
	－		人工透析をはじめとした継続的な治療が必要な対象者へ対して、自己負担分を負担することにより、経済的負担の軽減に努めた。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	04 目 障害者福祉費	109

事業名		01322 更生医療給付事業 育成医療給付事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H18 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 審査支払事務委託料の支払 各医療機関から各自治体へそれぞれ請求をしていたのでは各々の負担が大きいことから、審査支払機関へ請求及び支払を委託しており、当該業務に対しての手数料を支払う。 育成医療審査支払事務委託料 109 円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	育成医療実利用人数		人		1						
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7			
	①	受診件数	件		3 -						
	②			- -							
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	○ 意見書の医学的総合判定委託料の支払 自立支援医療（育成医療）給付に係る公費負担の適正化及び良質な医療の確保に資するため、支給認定時に提出される医師の意見書について、その必要性及び治療内容の妥当性を専門的な見地から審査・判定を医療機関へ委託しており、当該業務についての委託料を支払う。 育成医療医学的総合判定委託料 3,300 円 ○ 自立支援医療費（育成医療）の給付 指定自立支援医療機関における自己負担額が1割となり、また、所得に応じて設けられる自己負担上限額を超過した自己負担額（月額）については、公費負担となる。 育成医療給付費 73,995 円 ○ 前年度負担金返還金 前年度に交付を受けた国庫負担金・県負担金が超過交付となり返還を行った。 前年度育成医療給付費負担金返還金 10,000 円				
	事業費			52	62	88					
	財源内訳	国庫支出金	20	20	20	20					
		県支出金	10	10	10	10					
		地方債									
		その他									
	一般財源		-30	22	32	58					
	業務量		人	-	-	0.1 人					
正職員		人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	－		育成医療が必要な対象者へ対して、自己負担分を負担することにより、経済的負担の軽減に努めた。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業	(2)	障がい者(児)の生活支援

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	05 目 障害支援区分認定審査会費	
				110

事業名		00088 障害支援区分認定審査会費 障害支援区分認定審査会事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H26 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	障害支援区分認定審査会運営費内訳(及びその他事業費)				
	障害者総合支援法第21条第1項により、介護給付費等の支給を希望した障がい者に対し町が支給決定するうえで必要な「障害支援区分」を認定するために、その判定等を中立・公正な立場で専門的な観点から行うための障害支援区分認定審査会を色麻町と共同で設置している。										
	事業の対象		単位		R5		R6	R7			
	介護給付費等を受けようとする障がい者		人	数量	64		96				
	成果指標名		単位		R5		R6	R7			
	①	当該月における審査対象者に対する審査件数の割合	%	目標実績達成率	100100100.0%		100100100.0%	-			
	②			目標実績達成率				-			
	項 目			R5決算	R6当初予算		R6最終予算	R6決算			
	事業費			1,206	2,840		2,928	2,645			
	事業のコスト(千円)	財源内訳	国庫支出金								
県支出金				675	675	492					
地方債											
その他			284	659	659	634					
一般財源			922	1,506	1,594	1,519					
業務量		0.5 人	-	-	人						
正職員		0.5 人	-	-	人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された(100%以上)		障害支援区分認定審査会は、障害福祉サービスを利用しようとする方に適正な審査が遅延なく行われるよう必要書類をまとめ、適切な審査会運営を心がけている。								

障害支援区分認定審査会運営費内訳(及びその他事業費)

区 分	均等割 (運営費の20%)	福祉サービス 利用者数割 (運営費の30%)	審 査 件数割 (運営費の50%)	負担金額 (運営費)	単独経費	合計額
加美町	230,125	513,355	922,896	1,666,376	343,021	2,009,397
色麻町	230,125	177,019	227,728	634,872	-	634,872
計	460,250	690,374	1,150,624	2,301,248		2,644,269

障害支援区分認定審査会運営費の2,301,248円については、加美町分と色麻町分の負担金を算出するため、均等割20%、福祉サービス利用者数割30%、審査実績件数割50%に按分し、さらに均等割分は2町で1/2ずつ、福祉サービス利用者割分と審査件数割分については、それぞれ2町の利用者数と審査件数で按分し算出する。

なお、単独経費の343,021円は、審査会で使用する「主治医意見書」作成・発送に要した役務費である。

コロナ禍以降書面による審査会を実施してきたが、審査の効率化を図るためにオンラインシステムを導入し、2月よりオンラインを利用した対面による審査会を開始している。

審査件数及び1回あたりの審査件数の推移

年度		R2	R3	R4	R5	R6
審査件数		63	89	63	64	96
内訳	加美町	50	72	51	48	77
	色麻町	13	17	12	16	19
1回あたりの審査件数		5.25	7.42	5.25	5.33	8.00

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(3)	高齢者の福祉・介護サービスの充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	06 目	社会福祉施設費
				113

事業名		01344 小野田西部デイサービスセンター管理事業 小野田西部デイサービスセンター管理事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～							
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○小野田西部デイサービスセンター管理事業 決算内訳 単位:円 <table><tr><td>項目</td><td>内容</td><td>金額</td></tr><tr><td>①委託料</td><td>指定管理委託料</td><td>2,000,000</td></tr></table>					項目	内容	金額	①委託料	指定管理委託料	2,000,000
	項目	内容	金額														
	①委託料	指定管理委託料	2,000,000														
	在宅の高齢者に対して、通所の方法により各種サービスを提供し、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的精神的な負担を軽減するための施設管理業務。																
	事業の対象		単位		R5		R6	R7									
	通所の在宅高齢者(のべ人数)		人	数量	4,399		3,777	3,777									
	成果指標名		単位		R5		R6	R7									
①	開館日数	日数	目標 実績 達成率	310 310 100.0%	310 310 100.0%	259 - -											
②			目標 実績 達成率			- - -											
事業のコスト(千円)	項 目			R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算										
	事業費			1,849	2,000	2,000	2,000										
	財源内訳	国庫支出金															
		県支出金															
		地方債															
		その他		1,000													
一般財源			849	2,000	2,000	2,000											
業務量			0.1 人	-	-	0.1 人											
正職員			0.1 人	-	-	0.1 人											
会計年度任用職員			- 人	-	-	- 人											
事業の成果	成果の区分		成果の説明														
	★★★★★ 達成された (100%以上)		安全安心な施設管理により、利用者へ快適な環境を提供できている。														

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	4	障がい者(児)福祉の充実
	基本事業		

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	06 目 社会福祉施設費	113

事業名		01406 クローバーハウス管理事業 クローバーハウス管理事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○クローバーハウス管理事業_決算内訳				
	在宅の障がい者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するための施設管理業務。						単位:円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	通所してくる在宅の障がい者(のべ人数)		人		4,167		3,909	3,909			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	開館日数	日数		243 243 100.0%		243 243 100.0%	242 － －			
	②			目標 実績 達成率				－ －			
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算		
	事業費		152		4,651		4,651		4,651		
	財源内訳										
国庫支出金											
県支出金											
地方債											
その他		3,651		3,650		3,650					
一般財源		152		1,000		1,001		1,001			
業務量		0.1 人	－	－	0.1 人						
正職員		0.1 人	－	－	0.1 人						
会計年度任用職員		－ 人	－	－	－ 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		安全安心な施設管理により、利用者へ快適な環境を提供できている。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	03 項	01 目	災害救助費
				126

事業名		00790 被災者支援事業 災害見舞金等支給事業費				担当課	保健福祉課（高齢障がい福祉課）		事業期間	～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○災害見舞金の支給状況				
	火災その他の災害により被害を受けた町民又は遺族に対し応急的援護を行うため、災害見舞金等を支給し、被災者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。						見舞金の種類	被害の区分	世帯数	支給金額	支給額計
							損害見舞金	全焼	1	50,000	50,000
	事業の対象		単位		R5		R6	R7			
	被災世帯		世帯	数量	-		-	-			
	成果指標名		単位		R5		R6	R7			
	①			目標実績達成率	2		1	-			
②			目標実績達成率			-					
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		100	160	160	50					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他一般財源	100	160	160	50					
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人						
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人						
会計年度任用職員		- 人	-	-	- 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	-										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	130

事業名		00130 献血推進事業 献血推進事業				担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○献血の実施状況 (1)実施日数(全血)：10日 (2)実施場所:のべ17ヶ所 (3)人数				
	献血は病気の治療や手術などで輸血や血漿分画製剤を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアである。安全な輸血用血液を確保するため、地域住民および献血協力事業所等に対し、献血思想の普及啓発を行うとともに、献血協力事業所等を訪問し、積極的に献血への協力を要請した。										
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	献血可能な基準を満たす町民※200mL:16歳から		人数		19,323		19,051	18,688			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	献血協力者	人		647 406 62.8%		452 381 84.3%	461 － －			
	②			目標 実績 達成率				－ －			
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		112	111	111	112					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金	37	37	37	37					
		地方債									
		その他一般財源	75	74	74	75					
	業務量		0.3 人	－	－	0.3 人					
正職員		0.3 人	－	－	0.3 人						
会計年度任用職員		－ 人	－	－	－ 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★ 概ね達成された(80%以上100%未満)		商業施設における休日の実施や町内事業所に協力依頼するなど毎年一定の献血者数を確保している。								

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	1	消防防災・防犯対策の充実
	基本事業	(3)	消防・防災組織の支援及び意識の啓発

予算科目	一般会計			決算書
	09 款	01 項	04 目	災害対策費
				201

事業名		00852 避難行動要支援者登録事業 避難行動要支援者登録事業					担当課	保健福祉課(高齢障がい福祉課)		事業期間	H24 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的							事業の内容	○6月から順次、令和6年度版台帳を関係機関(危機管理室、地域包括支援センター、小野田福祉センター、宮崎福祉センター、行政区長、民生委員)へ共有した。 ○年度内に受け付けた登録事項変更届や取下届については随時台帳に反映し、死亡による削除者等と合わせ、およそ2か月に1度の頻度で台帳の更新を実施した。 ○令和7年3月31日現在登録者数 716名 (中新田377名、小野田178名、宮崎161名)			
	災害発生時に自力での避難が困難な方(要支援者)を台帳に登録し、その情報を行政区長や民生委員等と共有することで、災害時における迅速な安否確認・避難支援に役立てることを目的とする。											
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7					
	高齢者世帯や障害者手帳の交付を受けた方等		人		2,905	2,863						
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6	R7					
	①	台帳登録者数	人		772	716	- -					
	②	台帳登録率	%	27	25	- -						
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		123	148	148	146						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他一般財源	123	148	148	146						
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人							
	正職員		0.2 人	-	-	0.2 人						
	会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	—		行政区長や民生委員の協力を得て高齢者世帯等の登録勧奨を行ったほか、令和6年内に要介護3以上の認定を受けた方に向けて登録勧奨通知を送付する等、対象となり得る方に向けて台帳への登録を促した。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	3	高齢者福祉の充実
	基本事業	(3)	高齢者の福祉・介護サービスの充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	06 目 社会福祉施設費	110

事業名		00089 中新田福祉センター管理事業 中新田福祉センター管理事業				担当課	地域包括支援センター		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	町民にとって親しみやすく、安心して利用できる健康増進・健康教育・健康教室・レクリエーション及び交流の場を提供するため、適切な施設管理を行った。 決算額 13, 294, 632円				
	中新田福祉センターは主に中新田地区の町民の福祉の拠点である。社会福祉協議会および中新田デイサービスセンターが併設されており、主にご高齢の方々にとって身近な施設でとなっている。また災害時等には中新田地区の福祉避難所として開設利用される。引き続き安心した環境の中で福祉サービスの提供ができるよう、持続的に運営していく。						施設利用状況				
	事業の対象		単位		R5		R6	R7	室名		
	全町民		人	数量	21,876		21,232	20,782	利用日数		
	成果指標名		単位		R5		R6	R7	利用回数		
	①	利用者利用人数 (延べ人数)	人	目標 実績 達成率	6,000 7,077 118.0%		6,000 6,992 116.5%	6,000 － －	利用人数		
②			目標 実績 達成率			－ － －					
事業のコスト（千円）	項 目			R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	施設の主な維持修繕工事			
	事業費			11,378	12,240	13,595	13,295	内訳） 掃除機修理 12, 232円 ボイラーバーナーノズル修繕 38, 500円 機械室有圧換気扇修繕 291, 500円			
	財 源 内 訳	国庫支出金						施設管理等の保守点検及び清掃業務委託 3, 156, 206円			
		県支出金						機械警備(分室含む)・消防設備・電気設備・ボイラー及びろ過機保守・自動ドア保守 エアコンフィルター清掃・地下タンク清掃・貯水槽清掃・施設清掃・窓ガラス清掃 カーペット清掃・造園管理			
		地方債									
		その他	3,498	4,630		4,630					
	一般財源	7,880	7,610		8,665	工事請負費 616, 000円 (1) 中新田福祉センター機械室オイルギヤポンプ修繕工事 契約額:616,000円 期 間: 令和6年8月2日～令和6年9月10日 概 要: 中新田デイサービスセンター浴室給湯用ボイラーの燃料(A重油)供給用 オイルギヤポンプ1台の経年劣化・故障に伴う修繕工事。既設品の撤去、 新設品取付、試運転 等					
業務量		0.2 人	－	－	0.4 人						
正職員		0.2 人	－	－	0.4 人						
会計年度任用職員		人	－	－	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		利用者数の推移はコロナ過中の落ち込みから一転、以前の水準まで回復してきている。対前年比ではわずかに減少となった。新たな事業や団体等の利用も検討されており、今後も各種事業が開催されることで利用者数の増加が期待できることから、施設の維持管理のための各種保守点検および清掃のほか必要な修繕工事を実施し、引き続き安心して利用してもらえる施設の維持に努めていく。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策		地域福祉の充実
	基本事業		地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計	決算書
	03 款 01 項 06 目 社会福祉施設費	111

事業名		00090 小野田福祉センター管理事業 小野田福祉センター管理事業				担当課	小野田福祉センター		事業期間	H15	～																											
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○施設の利用状況																															
	町民の多様な保健福祉ニーズに応じて、各種の福祉事業と保健活動事業等を総合的に行うことによって、町民の健康づくりの推進、高齢者や障害者の健康保持、教養の向上及び福祉の増進を図る。						<table><tr><td>室名</td><td>利用回数</td><td>延利用人数</td></tr><tr><td>多目的ホール</td><td>106</td><td>4,356</td></tr><tr><td>調理実習室</td><td>11</td><td>210</td></tr><tr><td>保健指導室</td><td>52</td><td>484</td></tr><tr><td>相談室</td><td>49</td><td>99</td></tr><tr><td>和会議室</td><td>25</td><td>462</td></tr><tr><td>創作室</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>ボランティア室</td><td>58</td><td>446</td></tr><tr><td>合計</td><td>301</td><td>6,057</td></tr></table>					室名	利用回数	延利用人数	多目的ホール	106	4,356	調理実習室	11	210	保健指導室	52	484	相談室	49	99	和会議室	25	462	創作室	0	0	ボランティア室	58	446	合計	301	6,057
	室名	利用回数	延利用人数																																			
	多目的ホール	106	4,356																																			
	調理実習室	11	210																																			
	保健指導室	52	484																																			
	相談室	49	99																																			
和会議室	25	462																																				
創作室	0	0																																				
ボランティア室	58	446																																				
合計	301	6,057																																				
事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7	上記に含まれない来所相談・各種申請等取り扱い件数																															
全町民		人		21,629	21,232	20,732	約1,000件																															
成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7	○主な施設の維持修繕工事																															
①	施設利用人数 (延べ人数)	人		10,000	6,000	6,000	高圧電気設備更新工事																															
				5,964	6,057	-	3,740,000 円																															
②			59.6%	101.0%	-																																	
			目標 実績 達成率			-	-																															
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																
	事業費		21,588	16,948	18,321	17,768																																
	財源内訳	国庫支出金																																				
		県支出金																																				
		地方債																																				
		その他	8,960	4,232	4,232	4,230																																
	一般財源		12,628	12,716	14,089	13,538																																
業務量		3.0 人	3.0	3.0	3.0 人																																	
	正職員		2.0 人	2.0	2.0	2.0 人																																
	会計年度任用職員		1.0 人	1.0	1.0	1.0 人																																
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																			
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		昨年よりも保健・医療・福祉関連団体の利用回数と延利用人数は増えたが、利用料の見込める一般団体の利用はなし。																																			

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(3)	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目	児童福祉総務費
				123

事業名		00121 小野田児童館事業 小野田児童館放課後児童健全育成事業				担当課		小野田福祉センター		事業期間		H15 ～																							
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○小野田児童館放課後児童健全育成事業																												
	小学校児童で保護者の労働等の理由により、放課後、家庭において適切な保護を受けることができない児童に対して、公共施設を利用し適切な遊びと生活の場を与えるなどの指導を行い、児童の健全育成を図る。						(1)開館状況																												
							<table><tr><td></td><td>開館日数</td><td>1日平均利用人数</td></tr><tr><td>東小野田児童クラブ</td><td>289日</td><td>25.8人</td></tr><tr><td>西小野田児童クラブ</td><td>241日</td><td>24.8人</td></tr></table>								開館日数	1日平均利用人数	東小野田児童クラブ	289日	25.8人	西小野田児童クラブ	241日	24.8人													
		開館日数	1日平均利用人数																																
	東小野田児童クラブ	289日	25.8人																																
西小野田児童クラブ	241日	24.8人																																	
					(2)登録児童数 (R7.3.31現在) (単位:人)																														
					<table><tr><td></td><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>4年生</td><td>5年生</td><td>6年生</td><td>合計</td></tr><tr><td>東小野田児童クラブ</td><td>7</td><td>8</td><td>16</td><td>6</td><td>3</td><td>5</td><td>45</td></tr><tr><td>西小野田児童クラブ</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td><td>3</td><td>5</td><td>37</td></tr></table>								1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	東小野田児童クラブ	7	8	16	6	3	5	45	西小野田児童クラブ	6	8	8	7	3	5	37
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計																												
東小野田児童クラブ	7	8	16	6	3	5	45																												
西小野田児童クラブ	6	8	8	7	3	5	37																												
					(3)年間学年別延べ利用状況 (R6.3.31現在) (単位:人)																														
					<table><tr><td></td><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>4年生</td><td>5年生</td><td>6年生</td><td>合計</td></tr><tr><td>東小野田児童クラブ</td><td>1,394</td><td>1,548</td><td>2,639</td><td>910</td><td>306</td><td>657</td><td>7,454</td></tr><tr><td>西小野田児童クラブ</td><td>1,225</td><td>1,632</td><td>1,426</td><td>1,150</td><td>320</td><td>225</td><td>5,978</td></tr></table>								1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	東小野田児童クラブ	1,394	1,548	2,639	910	306	657	7,454	西小野田児童クラブ	1,225	1,632	1,426	1,150	320	225	5,978
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計																												
東小野田児童クラブ	1,394	1,548	2,639	910	306	657	7,454																												
西小野田児童クラブ	1,225	1,632	1,426	1,150	320	225	5,978																												
事業の コスト (千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	(4)主な事業内容 (単位:人)																												
	事業費		12,148	15,468	16,698	16,278	<table><tr><td></td><td>事業内容</td><td>参加人数</td></tr><tr><td rowspan="4">東小野田児童クラブ</td><td>絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)10回</td><td>81(参加は1・2生中心)</td></tr><tr><td>鳴峰中学校生徒との交流</td><td>32</td></tr><tr><td>避難訓練等 3回</td><td>32</td></tr><tr><td>プラネタリウム鑑賞</td><td>32</td></tr><tr><td rowspan="4">西小野田児童クラブ</td><td>絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)3回</td><td>33(参加は1・2年生中心)</td></tr><tr><td>避難訓練等 3回</td><td>68</td></tr><tr><td>プラネタリウム鑑賞</td><td>25</td></tr><tr><td>ドローンサッカー体験</td><td>25</td></tr></table>							事業内容	参加人数	東小野田児童クラブ	絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)10回	81(参加は1・2生中心)	鳴峰中学校生徒との交流	32	避難訓練等 3回	32	プラネタリウム鑑賞	32	西小野田児童クラブ	絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)3回	33(参加は1・2年生中心)	避難訓練等 3回	68	プラネタリウム鑑賞	25	ドローンサッカー体験	25		
		事業内容	参加人数																																
	東小野田児童クラブ	絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)10回	81(参加は1・2生中心)																																
		鳴峰中学校生徒との交流	32																																
避難訓練等 3回		32																																	
プラネタリウム鑑賞		32																																	
西小野田児童クラブ	絵本の読み聞かせ(協力:おひさまの会)3回	33(参加は1・2年生中心)																																	
	避難訓練等 3回	68																																	
	プラネタリウム鑑賞	25																																	
	ドローンサッカー体験	25																																	
財源内訳		3,764	3,461	3,461	4,096																														
国庫支出金		3,764	3,461	3,461	4,096																														
県支出金																																			
地方債																																			
その他		2,273	2,294	2,294	2,106																														
一般財源		2,347	6,252	7,482	5,980																														
業務量		7.5 人	-	-	7.5 人																														
正職員		0.5 人	-	-	0.5 人																														
会計年度任用職員		7.0 人	-	-	7.0 人																														
事業の 成果	成果の区分		成果の説明																																
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		土曜日の毎週開設や延長保育により保護者が安心して就労できる地域づくりに貢献できた。																																

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	05 目	保健衛生施設費
				136

事業名		00139 保健衛生施設管理事業 保健衛生施設管理事業				担当課	小野田福祉センター		事業期間	H15 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○ 保健衛生施設管理事業 放課後児童健全育成事業（西小野田放課後児童クラブ）の施設利用 (1)開所日数 241日 (2)延べ利用者数 5,978人 就労継続支援B型事業所（やくらいアットハウス）の施設利用 (1)開所日数 243日 (2)延べ利用者数 2,024人 ○ 他、選挙会場や住民説明会等に約1,400人利用						
	町民の健康づくり及び公衆衛生に関する事業を行う。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	常時施設利用団体		団体		2							2	2
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7
	①	常時施設利用団体の利用者数			人							8,000 8,595 107.4%	8,000 8,002 100.0%
	②				目標 実績 達成率								
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		1,805	2,033	2,188	1,886							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他	1	1	1								
	一般財源		1,804	2,032	2,187	1,886							
業務量		0.3 人	0.3	0.3	0.3 人								
事業の成果	正職員		0.3 人	0.3	0.3	0.3 人							
	会計年度任用職員		人	－	－	人							
	成果の区分		成果の説明										
★★★★★ 達成された (100%以上)		子育て支援と福祉サービスの拠点として施設維持管理を行い安心安全と地域福祉の充実が図られた。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	6	地域福祉の充実
	基本事業	(1)	地域福祉の体制の強化

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	06 目 社会福祉施設費	112

事業名		00092 宮崎福祉センター管理事業 宮崎福祉センター管理事業				担当課		宮崎福祉センター		事業期間		H15		～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○施設の利用状況									
	加美町宮崎地区の保健福祉行政及び放課後児童クラブ事業を運営している。また、有事の際の福祉避難所に指定されており、地域の福祉拠点として町の福祉行政の一翼を担っている。さらに、施設内に社会福祉協議会(宮崎福祉サービスセンター、デイサービスセンター)が併設されている。						室名		利用回数		利用人数					
							コミュニティホール		266回		7,700人					
	栄養指導室		32回		353人											
	教養娯楽室		48回		877人											
	研修室		277回		7,044人											
	診察室		16回		34人											
	地域活動支援センター		239回		873人											
	相談室(1)		172回		280人											
	相談室(2)		45回		108人											
デイサービス		310回		6,174人												
合		1,405回		23,443人												
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○修繕料									
	加美町宮崎地区の保健福祉行政及び放課後児童クラブ事業を運営している。また、有事の際の福祉避難所に指定されており、地域の福祉拠点として町の福祉行政の一翼を担っている。さらに、施設内に社会福祉協議会(宮崎福祉サービスセンター、デイサービスセンター)が併設されている。						内		容		支		払		額	
							冷暖房機器(空気調和機、ポンプ)				1,218,800円					
	外構(玄関ポーチ、外灯、インバート柵)				404,800円											
	消防設備(煙感知器)				203,500円											
	トイレ(パッキン、鍵、吊り戸)				52,030円											
	小破修繕(手すり、吸音壁、車検整備等)				202,642円											
	合				2,081,772円											
	事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○工事請負費								
		加美町宮崎地区の保健福祉行政及び放課後児童クラブ事業を運営している。また、有事の際の福祉避難所に指定されており、地域の福祉拠点として町の福祉行政の一翼を担っている。さらに、施設内に社会福祉協議会(宮崎福祉サービスセンター、デイサービスセンター)が併設されている。						内		容		支		払		額
舞台吊物設備ロール緞帳撤去工事										3,960,000円						
合				3,960,000円												
成果の説明					成果の説明											
★★★★★達成された(100%以上)					健(検)診会場になっており、延べ2万人以上の町民が当施設を利用した。外部団体への貸館が増加したことから、達成率は微増となった。住民の健康増進、福祉サービスの向上を図り、健康で安心して暮らせる地域づくりに寄与した。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(3)	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目 児童福祉総務費	124

事業名				00122 宮崎児童館事業 宮崎児童館放課後児童健全育成事業				担当課				宮崎福祉センター				事業期間				H15 ～				
事業の概要	事業の説明及び目的												事業の内容											
	保護者が労働等により昼間家庭にいないため、適切な保護を受けることができない小学校に就学している児童に対し、放課後及び学校休業日に適切な遊びや生活の場を与えるなどの指導を行い、保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため。																							
	事業の対象		単位	数量	R5		R6		R7															
	宮崎放課後児童クラブ利用者(利用定員数)		人		100		100		100															
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6		R7															
	①	児童クラブ登録者数	人		100 81		90 75		90 -															
					81.0%		83.3%		-															
	②			目標実績 達成率				-		-														
	事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算														
事業費		10,157		14,804		13,914		13,563																
財源内訳		国庫支出金	3,053	3,375	3,375	3,413																		
		県支出金	3,053	3,375	3,375	3,413																		
		地方債																						
		その他	1,898	2,342	2,342	2,106																		
		一般財源	2,153	5,712	4,822	4,631																		
業務量		7.0 人	-	-	6.7 人																			
正職員		0.5 人	-	-	0.7 人																			
会計年度任用職員		6.5 人	-	-	6.0 人																			
事業の成果	成果の区分		成果の説明																					
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		放課後児童クラブの利用について、利用者の希望通り実施することができた。 児童の健全育成に必要な学び・遊びの場を提供し、保護者が安心して働ける就労支援に寄与した。																					

○宮崎児童館放課後児童健全育成事業

(1)開館状況

	開館日数(土曜含)	平日一日平均利用人数
宮崎放課後児童クラブ	291	22.5
賀美石放課後児童クラブ	242	25.5

(2)登録児童数(R7.3.31現在)

(単位:人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
宮崎放課後児童クラブ	5	8	11	6	3	2	35
賀美石放課後児童クラブ	5	9	6	9	10	1	40

(3)年間学年別延べ利用状況

(単位:人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
宮崎放課後児童クラブ	914	1,609	1,572	878	430	70	5,473
賀美石放課後児童クラブ	868	1,601	962	1,410	1,326	9	6,176

(4)主な事業内容

	事業内容	人数	事業内容	人数
宮崎	4月・5月 ドローン体験	31・16	9月 交通安全教室・グリオ出前講座	25・16
	7月 お話&お楽しみ会:宮公	27	11月 ダンス教室・不審者対応訓練	22・19
	8月 プラネタリウム鑑賞	26	3月 オーエンス教室・ヤクルト出前講座	22・19
	むし歯予防・食育教室	19・21	絵本の読み聞かせ(毎月ボランティア)	延141
賀美石	4月・5月 ドローンサッカー体験	11・15	10月 歯の教室・スポーツ教室	14・12
	7月 影絵鑑賞・食育教室	27・24	～11月 不審者対応訓練・収穫体験4回	24・111
	8月 プラネタリウム鑑賞	31	3月 運動教室:オーエンス	18
	交通安全・グリオ出前講座	18・24	絵本の読み聞かせ(毎月ボランティア)	延269

総合計画	政 策	
	施 策	
	基本事業	

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	01 項	01 目 社会福祉総務費	101

事業名		00554 後期高齢者医療広域連合負担金 後期高齢者医療広域連合負担金				担当課		保健福祉課(保険健康課)		事業期間		H20 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○後期高齢者医療給付事業を円滑に運営するため、一般会計から後期高齢者医療広域連合への負担金の納付及び後期高齢者医療特別会計への繰り出しを行った。						
	後期高齢者医療給付業務のため。												
	事業の対象		単位	R5									R6
	後期高齢者(被保険者)		人	数量	4,234		4,325						
	成果指標名		単位	R5			R6	R7					
	①			目標実績達成率			-	-					
	②			目標実績達成率			-	-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算				
	事業費		344,913		348,418		344,056		336,229				
	財源内訳	国庫支出金	55,962		63,381		63,381		60,260				
		県支出金											
		地方債											
		その他											
		一般財源	288,951		285,037		280,675		275,969				
業務量		0.5 人		-		-		0.5 人					
正職員		0.5 人		-		-		0.5 人					
会計年度任用職員		人		-		-		人					
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
			後期高齢者医療給付事業を円滑に運営するため、一般会計より、適切に繰り出し等を行った。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				129

事業名				01330 健康推進事業 健康づくり推進協議会事業				担当課		保健福祉課(保険健康課)		事業期間		H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	○目的 健康づくりに関する計画や事業を円滑かつ効果的に推進するため、町長の諮問に応じ必要な提言や助言を行う。					
	町長の諮問に応じ町民の健康づくりに関する調査、審議及び企画を行う。									○委員の構成及び人数 行政機関関係者、保健医療関係者、保健衛生団体関係者、学校、事業所、社会教育団体関係者等。17名。					
	事業の対象		単位	数量	R5		R6			R7		○任期 3年間(R4年8月1日～R7年3月31日)			
	健康づくり推進協議会委員		人		17		17			16					
	成果指標名		単位	目 標 実 績 達成率	R5		R6			R7		○実施状況 ・会議回数1回(3月) ・内容 出席委員:13名 説明 「町の健康に関する状況について」 「令和6年度保健事業の実施状況及び令和7年度保健事業計画について」			
	①	開催回数			回	2 2 100.0%		2 1 50.0%		1 - -					
②				目 標 実 績 達成率				- - -		※ 委員からは、町の現状を踏まえ様々な意見が出され、今後の保健事業に反映させることができた。					
項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算							
事業のコスト(千円)	事業費		56		104		104		32						
	財 源 内 訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他													
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人										
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人										
会計年度任用職員		人	-	-	人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	★★★★★ 達成された (100%以上)		様々な健康課題を共有しながら、保健事業計画及び健康増進計画の推進に向けて、それぞれの立場から多くの意見を聞くことができた。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	129

事業名		01331 健康推進事業 健康増進計画評価検討委員会事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H18	～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○健康増進計画評価検討委員会 ・委員:12人(委嘱期間:R5.9.1～R7.3.31) ・内容 第1回:9名 意見交換「加美町の健康づくりのために私(たち)ができる普及活動」 ～かみフェス2024への参加について～ 第2回:5名 意見交換「かみフェスに参加して」 「私たちができる健康づくり」 普及活動:8名 「加美フェス2024 #リバーサイドで楽しもう #」における健康相談実施 健康相談、啓発普及チラシの配布等 ※任期2年目ということで、加美町の健康課題解決のための取組案などの活発な意見が出され、啓発普及活動の取組を実施することができた。							
	事業の対象		単位									R5	R6	R7
	委員の数		人	数量	12							12	16	
	成果指標名		単位		R5							R6	R7	
	①	開催回数	回	目標実績 達成率	2 2 100.0%							2 2 100.0%	2 - -	
	②			目標実績 達成率									- -	
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
	事業費		6,084	142	142	105								
	財源内訳	国庫支出金												
		県支出金												
		地方債												
		その他 一般財源	6,084	142	142	105								
業務量		0.4 人	-	-	0.3 人									
正職員		0.4 人	-	-	0.3 人									
会計年度任用職員		人	-	-	人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明											
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		健康課題解決のための具体策を協議し、委員自ら取り組むことができる取組みについて、関係機関と連携し実践することができた。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	129

事業名		01332 健康推進事業 保健推進員育成事業				担当課	保健福祉課（保険健康課）		事業期間	H15	～
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	区長からの推薦を受けて町長が委嘱。R6年度は任期2年目。 中新田地区:50人(6地区7名欠員)、小野田地区:50人、宮崎地区:37人				
	町民の健康増進を図り、心身ともに健康で明るい町づくりを目指すため、自ら健康行動を実践することができ、また、普及啓発等の健康づくり活動を主体的に地域の中で実践する担い手として育成し、保健事業を積極的に推進する。						●研修会の開催 任期2年目であり前年度の普及活動を踏まえ、自分自身の健康づくりのみならず、地域や身近な方への啓発普及を実践するための講話や実技による研修。 ・開催回数:9回(うち3地区合同3回) ・参加者数:延446人(平均参加率65%) ・内容 がん予防のための望ましい生活習慣 脳卒中予防のための講話と減塩対策の調理実習 健康運動の実施と調理実習 心の健康づくりについて学ぶ など				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	保健推進員(各行政区の保健推進員として2年間委嘱を受けた者)		人		137		137	137			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	研修会開催数	%		13 13 100.0%		9 9 100.0%	11 - -			
②	研修会参加率	%	目標 実績 達成率	70 69 98.9%	70 65 92.9%	70 - -					
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		1,650	1,602	1,602	1,462					
	財 源 内 訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他 一般財源	1,650	1,602	1,602	1,462					
業務量		0.3 人	-	-	人						
事業の成果	正職員		0.3 人	-	-	人					
	会計年度任用職員		0.3 人	-	-	人					
	成果の区分										
★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		任期2年目であり前年度の普及活動をふまえて地域での普及活動拡大を目的とした内容とした。講話、グループワーク、調理実習の研修会とし、保健推進員が健康づくりについての学びを深めた。保健推進員の活動として、健康教室の開催や身近な人に対しての普及・啓発、保健推進員便りの発行が行われた。保健推進員が中心となり家族や地域の健康づくりに普及につながっている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

預算科目	一般會計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生總務費	129

事業名		01336 健康推進事業 受動喫煙防止対策事業				担当課		保健福祉課(保険健康課)		事業期間		H28		～		
事業の概要	事業の説明及び目的						①行政区集会所禁煙分煙状況調査及び調査結果報告 79行政区へ調査を実施。結果は区長会、ホームページで報告。 地区集会所の禁煙・分煙を実施している集会所 88.2% ②健診結果説明会参加者への禁煙支援(個別相談) 参加者のうち喫煙習慣ありの者 49名/206名 23.8% ③母子手帳交付時の禁煙の啓発 母子手帳交付時面接用の禁煙指導パンフレットの更新、配布。 母子手帳交付者数 77名 ④禁煙分煙啓発ポスターの掲示 役場本庁舎、保健福祉課、福祉センター、公民館、体育館等 計7か所 ⑤成人式での禁煙分煙啓発(ポケットティッシュ配付) ⑥町ホームページでの啓発									
	事業の対象		単位	R5		R6										R7
	町民		人	数量	21,618	21,232										20,782
	成果指標名		単位	R5		R6										R7
	①	非喫煙者率 (法定報告)	%	目標 実績 達成率	84 81.5 97.0%	84										84 - -
	②	母子手帳交付時父親 の非喫煙率	%	目標 実績 達成率	70 54 77.4%	70 62 89.1%										- - -
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算		事業の内容					
	事業費		14		23		23		20							
	財 源 内 訳	国庫支出金														
		県支出金														
		地方債														
		その他														
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人											
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人											
会計年度任用職員		人	-	-	人											
事業の成果	成果の区分		成果の説明													
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		成果指標①については、毎年度末に前年度分が公表されるので、R5年度分までの記載となっている。 住民が広く利用する行政区集会所の禁煙・分煙状況調査を行い、前回調査の平成28年に比べ取り組みが進んできていることが確認できた。啓発のための掲示物の配布希望等があったため、次年度の取り組みに生かしていく。また、住民全体への啓発としてポスター掲示やホームページへの記事の掲載で呼びかけを行った。													

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(1)	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				129

事業名		01337 健康推進事業 その他の健康づくり事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	(1)その他健康づくり事業 医薬材料代(救護物品等) (2)法令外負担金負担金 ①宮城県ハンセン病負担金 3,200円 ②宮城県栄養士設置市町村連絡協議会負担金 9,000円						
	その他健康づくり事業の諸経費及び法令外負担金に係る費用。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	町民		人		21,618							21,232	20,782
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①				-							-	
	②			-	-								
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		24	28	28	27							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源	24	28	28	27							
	業務量		人	-	-	人							
正職員		人	-	-	人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		法令外負担金の支払いを行った。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(5)	こころの健康づくり対策の推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	130

事業名		01338 精神保健事業 こころの健康相談事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15	～												
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○年4回、精神科医師による相談会を開催する。 町の自殺対策計画の実施事業にも位置付けられている事業である。																
	ストレス等が誘因となるこころの病気や不調について、適切な対応等についての相談を身近な所で実施し、早期発見早期治療を推進する。						<table><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>相談回数</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>相談人数</td><td>1</td><td>4</td><td>3</td></tr></table>						令和4年度	令和5年度	令和6年度	相談回数	1	3	3	相談人数	1	4	3
		令和4年度	令和5年度	令和6年度																			
	相談回数	1	3	3																			
	相談人数	1	4	3																			
	事業の対象		単位		R5		R6	R7															
町民		人	数量	21,618	21,232	20,782																	
成果指標名		単位		R5	R6	R7																	
①	こころの健康相談利用者数(延べ)	人	目標実績 達成率	5 4 80.0%	5 3 60.0%	4 - -																	
②			目標実績 達成率			- -																	
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																	
	事業費		75	100	100	75																	
	財源内訳	国庫支出金																					
		県支出金	37	50	50	37																	
		地方債																					
		その他一般財源	38	50	50	38																	
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																		
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																		
会計年度任用職員		人	-	-	人																		
事業の成果	成果の区分		成果の説明																				
	★★★★ 概ね達成された(80%以上100%未満)		今年度は4回のうち3回実施され、3名の相談があった。随時相談にも対応しており、タイムリーに支援につないでいる。																				

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(5)	こころの健康づくり対策の推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	130

事業名		01339 精神保健事業 こころの健康普及啓発事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15 ～																																			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	1)こころの健康づくり啓発普及事業 ○若年者の自殺予防啓発 若年者の自殺予防対策として、成人式でこころの不調や傾聴、相談機関等に関する啓発教材を配布した。また中学3年生への卒業応援グッズとして町内2か所の中学校へ心の健康づくりに関するパンフレットを配布した。 <table><tr><td></td><td>新成人</td><td>中学3年生</td></tr><tr><td>配布数</td><td>165</td><td>187</td></tr></table> ○メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」の開設 町のホームページにシステムを導入し24時間いつでも手軽にストレス度をチェックできる体制を整えた。 年間アクセス数 2,668件 2) 支援する環境整備 ○自殺予防に関する講演会の開催 地域の人達が自殺予防に関する正しい知識を持ち、身近な人の変化、自殺のサインに気づき自殺予防のための適切な対応ができるようにするため、保健推進員・こころの健康づくりボランティアを対象にゲートキーパー養成講演会を開催した。参加人数:105名(1回) ○こころの健康づくりボランティア育成 地域の身近な相談相手になれるように、傾聴ボランティアを育成した。傾聴ボランティアのスキルを高めるために、定例会を年6回開催した。活動の詳細は下記図参照。 地域包括支援センターと連携もしている。 <table><tr><td>内容</td><td>回数</td><td>会員参加数(延)</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>定例会</td><td>6</td><td>49</td><td></td></tr><tr><td>勉強会</td><td>2</td><td>17</td><td></td></tr><tr><td>いっぷくサロン輪和話</td><td>12</td><td>20</td><td>23</td></tr><tr><td>オレンジサロン輪和話</td><td>3</td><td>12</td><td>41</td></tr><tr><td>出前健康教室</td><td>1</td><td>4</td><td>9</td></tr><tr><td>講演会</td><td>1</td><td>5</td><td></td></tr></table>						新成人	中学3年生	配布数	165	187	内容	回数	会員参加数(延)	参加者数	定例会	6	49		勉強会	2	17		いっぷくサロン輪和話	12	20	23	オレンジサロン輪和話	3	12	41	出前健康教室	1	4	9	講演会	1	5	
		新成人	中学3年生																																										
	配布数	165	187																																										
	内容	回数	会員参加数(延)	参加者数																																									
	定例会	6	49																																										
	勉強会	2	17																																										
いっぷくサロン輪和話	12	20	23																																										
オレンジサロン輪和話	3	12	41																																										
出前健康教室	1	4	9																																										
講演会	1	5																																											
事業の対象		単位		R5	R6	R7																																							
町民		人	数量	21,618	21,232	20,782																																							
成果指標名		単位		R5	R6	R7																																							
①	講話や講演会の参加者数	人	目標	70	60	60																																							
			実績	43	-	-																																							
			達成率	61.4%	-	-																																							
②	はあと輪和輪登録者数	人	目標	15	14	15																																							
			実績	11	13	-																																							
			達成率	73.3%	92.9%	-																																							
項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																								
事業費		145	215	215	146																																								
財源内訳	国庫支出金																																												
	県支出金	43	131	131	84																																								
	地方債																																												
	その他																																												
一般財源		102	84	84	62																																								
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																																								
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																																								
会計年度任用職員		人	-	-	人																																								
成果の区分		成果の説明																																											
★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		こころの健康づくりボランティア活動では、定例会で活動の振り返りのほか傾聴技法に関する専門的な内容について勉強会を行った。また昨年度よりも多く活動することができ、会員同士のスキルアップにもつながった。 講演会では、保健推進員・こころの健康づくりボランティア対象に行い、ゲートキーパーとしての役割について学んだ。																																											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(5)	こころの健康づくり対策の推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	130

事業名		01577 精神保健事業 自殺対策連絡協議会事業					担当課		保健福祉課(保険健康課)		事業期間		R5		～	
事業の概要	事業の説明及び目的							事業の内容	「加美町自殺対策計画」により、令和5年度に協議会を立ち上げ、実施した。							
	町と関係機関が連携し、生きることの支援や自殺対策を総合的に推進する体制づくりを検討する。								○委嘱期間 2年間(R6年2月1日からR7年3月31日)							
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7		○委員数 14名 加美郡医師会、精神科医師、民生委員、社会福祉協議会、自立相談支援センター、警察署、生命保険会社、保健所、学校長、養護教諭、行政関係者等							
	委員の数		人		14	14	14		○連絡協議会の開催(1月)							
	成果指標名		単位	R5	R6	R7	・参加数:11名参加(うち2名は代理出席)									
	①	開催回数	回	目標実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 - -		・委嘱状交付(前任の異動に伴う変更により)							
②			目標実績 達成率			- -	・協議:①加美町の自殺の状況及び第2期加美町自殺対策計画について ②質疑及び意見交換									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算							
	事業費		14		39		39		14							
	財源内訳	国庫支出金														
		県支出金	6		19		19		6							
		地方債														
		その他一般財源	8		20		20		8							
業務量		0.1 人	-		-		0.1 人									
正職員		0.1 人	-		-		0.1 人									
会計年度任用職員		人	-		-		人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明													
	★★★★★ 達成された(100%以上)		町の現状や自殺対策について学びを深めたうえで、それぞれの立場から幅広く意見を聞くことができた。													

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	2	医療体制の充実
	基本事業	(1)	地域医療の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				130

事業名		01340 医療機関対策事業 在宅当番医制事業				担当課	保健福祉課（保険健康課）		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	①休日昼間における時間外診療（加美郡医師会） 加美郡医師会の協力で、休在宅当番医制による休日の9時から17時までの診療を実施している。 加美郡医師会と委託契約している。 【加美・玉造地区在宅当番医制事業(昼間分)実績】				
	事業の対象		単位		R5		R6	R7	年度実施回数管内管外合計		
	町民		人	数量	21,618		21,232	20,782			
	成果指標名		単位		R5		R6	R7			
	①	利用者数 (昼間・夜間の合計、 加美町分)	人	目標 実績 達成率	1,044 1,222 117.0%		1,222 1,181 96.6%	1,181 － －			
②			目標 実績 達成率			－ －					
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		7,556	7,525	7,525	7,456					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他									
	一般財源	7,556	7,525	7,525	7,456						
業務量		人	－	－	人						
事業の成果	正職員		人	－	－	人					
	会計年度任用職員		人	－	－	人					
	成果の区分		成果の説明								
★★★★★ 達成された (100%以上)		利用者実績をみると令和元年までは2,000人を超える状況が続いていたが、コロナ禍により受診控えがみられ令和4年からは1,000人強で推移している。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	2	医療体制の充実
	基本事業	(1)	地域医療の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	131

事業名		01341 医療機関対策事業 救急医療センター運営事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	◎救命救急センターにおける診療 指定医療機関である大崎市民病院による外来及び入院患者の受け入れ。 加美町分					
	急病やケガなどの際に、早期に高次救急医療を受けることができるための体制整備を図る。 【三次医療】											
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	加美町分			
	町民		人		21,618		21,232	20,782				
	成果指標名		単位	R5	R6		R7	全数分				
	①	入院・外来延患者数	人	目標実績	1,000 947		947 1,122				1,122 -	
				達成率	94.7%		118.5%				-	
	②			目標実績				-				
				達成率				-				
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	成果の説明					
	事業費		58,490	32,631	31,478	32,631						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他										
	一般財源		58,490	32,631	31,478	32,631						
業務量		人	-	-	人							
正職員		人	-	-	人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★★ 達成された (100%以上)		前年度の運営費を各市町村の利用者人数割合いで負担金を算出している。コロナ禍で一時利用患者数が減少したが、回復しつつある。									

◎救命救急センターにおける診療
指定医療機関である大崎市民病院による外来及び入院患者の受け入れ。

加美町分

	R6	伸び率	R5	伸び率	R4	伸び率
外来延患者数	628 人	105%	599 人	95.1%	630 人	117.5%
入院延患者数	494 人	142%	348 人	87.4%	398 人	115.4%
入院・外来延患者数	1,122 人	118%	947 人	92.1%	1,028 人	116.7%

全数分

	R6	伸び率	R5	伸び率	R4	伸び率
外来延患者数	4,383 人	99%	4,424 人	96.2%	4,601 人	95.8%
入院延患者数	6,313 人	106%	5,949 人	90.5%	6,573 人	115.3%
入院・外来延患者数	10,696 人	103%	10,373 人	92.8%	11,174 人	106.4%

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	2	医療体制の充実
	基本事業	(1)	地域医療の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				131

事業名		01342 医療機関対策事業 夜間急患センター運営事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15	～																				
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	◎平日夜間の時間外診療 大崎市夜間急患センターによる平日夜間の診療。 月曜日から金曜日： 午後7時15分から午後10時 土曜日： 午後3時から午後10時 ◎大崎市夜間急患センターの状況 <table><tr><th>年度</th><th>加美町の利用者数</th><th>利用実績割合</th><th>1日あたり利用者数(全体)</th><th>診療日数</th></tr><tr><td>R6</td><td>370 人</td><td>8.83 %</td><td>14.3 人</td><td>293 日</td></tr><tr><td>R5</td><td>374 人</td><td>8.18 %</td><td>15.6 人</td><td>293 日</td></tr><tr><td>R4</td><td>243 人</td><td>8.15 %</td><td>10.2 人</td><td>293 日</td></tr></table>					年度	加美町の利用者数	利用実績割合	1日あたり利用者数(全体)	診療日数	R6	370 人	8.83 %	14.3 人	293 日	R5	374 人	8.18 %	15.6 人	293 日	R4	243 人	8.15 %	10.2 人	293 日
	年度	加美町の利用者数	利用実績割合	1日あたり利用者数(全体)	診療日数																										
	R6	370 人	8.83 %	14.3 人	293 日																										
	R5	374 人	8.18 %	15.6 人	293 日																										
	R4	243 人	8.15 %	10.2 人	293 日																										
	診療時間外の夜間に急患診療を受けることができるための体制整備。【一次医療】																														
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7																		
	町民		人		21,618							21,232	20,782																		
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7																		
	①	利用実績割合	%		8.00							8.00	9.00																		
加美町利用者/全利用者		8.18			8.83	－																									
②			達成率	100.0%	110.4%	－																									
			目標 実績 達成率	－ － －																											
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																									
	事業費		8,575	8,193	8,193	8,193																									
	財源内訳	国庫支出金																													
		県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
	一般財源		8,575	8,193	9,193	8,193																									
業務量		人	－	－	人																										
	正職員		人	－	－	人																									
	会計年度任用職員		人	－	－	人																									
事業の成果	成果の区分		成果の説明																												
	★★★★★ 達成された (100%以上)		加美町の診療実績は、令和5年度374人、令和6年度370人とはほぼ変わらない状況。																												

◎平日夜間の時間外診療
大崎市夜間急患センターによる平日夜間の診療。
月曜日から金曜日： 午後7時15分から午後10時
土曜日： 午後3時から午後10時

◎大崎市夜間急患センターの状況

年度	加美町の 利用者数	利用実績 割合	1日あたり 利用者数 (全体)	診療日数
R6	370 人	8.83 %	14.3 人	293 日
R5	374 人	8.18 %	15.6 人	293 日
R4	243 人	8.15 %	10.2 人	293 日

事業名				01343 医療機関対策事業 地域医療対策事業				担当課		保健福祉課(保険健康課)			事業期間		H15 ～ 0	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	◎休日昼・夜間における時間外診療(大崎地区病院群輪番制負担金) 古川地区の指定医療機関における診療 4,396千円 ・古川地区以外病院…9時から翌7時30分 (公立加美病院、市民病院鳴子分院、岩出山分院、鹿島台分院、美里町立南郷病院、涌谷町国民健康保険病院、野崎病院) ・古川地区病院…9時から22時 (大崎市民病院、古川星稜病院、三浦病院、佐藤病院、永仁会病院、片倉病院、徳永整形外科) *実績(診療科別) 単位:人						
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7									
	町民		人		21,618	21,232	20,782									
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7									
	①	大崎地区病院群輪番制負担金	千円		4,395 4,454 101.3%	4,399 4,846 110.2%	4,618 - -									
②	0	0	目標 実績 達成率	0 0 0.0%	- - -											
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算										
	事業費		4,907	4,849	4,849	4,846										
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0											
		県支出金	0	0	0											
		地方債	0	0	0											
		その他	0	0	0											
		一般財源	4,907	4,849	4,849	4,846										
	業務量		0.0 人	-	-	0.0 人										
	正職員		0.0 人	-	-	人										
会計年度任用職員		0.0 人	-	-	人											
事業の成果	成果の区分		成果の説明													
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		前年度負担額から、大きな増加は見られない。													

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(2)	食育の推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	
			保健衛生総務費	131

事業名		00510 食育推進事業 食育推進事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	「加美町第3期食育推進計画」(R3年3月～R11年3月)の目標達成に向けて取り組む。				
	子どものころからの望ましい食習慣の確立と、地域住民全体の健康増進を図る。						(1) 食育教室等の開催 ・食育教室等:12回 延374(子ども287人・保護者等59人)				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	(2) 普及啓発 ・加美町広報紙、ホームページ、母子モ等を活用した定期的な啓発 おいしい給食探検隊、家族団らんメニュー等の周知及び啓発 (テーマ:朝食の重要性、簡単メニューの紹介等)		
	町民	人	21,618		21,232		20,782	(3) 関係会議の開催 食育計画を推進するにあたり、協働による事業展開が図られるよう定期的に会議を開催し、進捗管理及び取組について協議する。			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7	①後期計画策定会議 食育推進検討会議委員及び計画策定会議委員との合同会議を開催し、助言者(仙台白百合女子大学教授 佐々木裕子氏)を交え、後期計画を策定した。		
	① 食育教室参加者数	人	216 302 139.7%		213 374 175.6%		300 - -	・食育推進検討会議委員 任期:R6.7.1～R7.3.31、委員:14名 ・食育計画策定会議委員 任期:R6.7.1～R7.3.31、委員:14名 ・会議 第1回(23名)「第3期計画の中間評価についての意見交換」 第2回(24名) グループワーク「課題解決のための具体策の検討」 第3回(21名)「後期計画(案)のについての意見交換」 ・パブリックコメントの実施			
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	②学校行政栄養士連携会議:1回(15名) ・参集範囲:保育所、町立子ども園、小中学校、教育委員会 ・食の課題の共有、取組方針の確認、協力事業等について意見交換を図った。				
	事業費		397	649	649	504	(4) 加美町食生活改善推進員の育成支援 会員数:31人、育成研修会:5回、運営支援:5回、普及啓発事業:24回(738人)				
	財源内訳	国庫支出金	1	397	648	649	504				
		県支出金									
		地方債									
		その他									
業務量		0.4 人	-	-	人						
正職員		0.4 人	-	-	人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		「第3期加美町食育推進計画(後期計画)」を策定することができた。 また、食育事業に関しては、体験型やSNSを活用し啓発普及を図ることができた。 また、食生活改善推進員会育成支援についても、自主的な活動が増えたと共に、啓発普及活動を増加することができた。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(6)	感染症予防体制の整備

預算科目	一般會計			決算書
	04 款	01 項	02 目 予防費	132

事業名			00134 感染症対策事業 予防接種事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	新たに、定期新型コロナウイルスワクチン接種、50歳以上の任意帯状疱疹ワクチン接種の助成を行い、感染拡大防止及び重症化予防を図った。				
	伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、国民の健康の保持に寄与すること。							1) 予防接種の実施				
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	①A類疾病			
	加美町民		件		21,618	21,232		20,782	・ロタウイルス(1価・5価)(151件) ・ヒブワクチン(103件) ・小児用肺炎球菌(296件) ・ポリオ(0件) ・B型肝炎(213件) ・五種混合(196件) ・四種混合(108件) ・三種混合(0件) ・二種混合(129件) ・BCG(70件) ・麻しん風しん混合(1期)(77件) ・麻しん風しん混合(2期)(100件) ・麻しん(1期・2期)(0件) ・風しん(1期・2期)(0件) ・任意風しん5期(0件) ・水痘(160件) ・日本脳炎(1期・2期)(440件) ・子宮頸がん予防(333件)			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6		R7	○風しんの追加的対策(風しん5期)			
	①	接種率(MRⅡ期)	%		100 98 98.0%	100 90 89.5%		100 - -	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性を対象に、無料で風しん抗体検査、抗体値の低い方へ風しん定期予防接種(5期)を実施した。 ・抗体検査数 57件 ・予防接種 8件			
事業のコスト(千円)	項 目			R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	○子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種(A類疾病) 積極的勧奨を差し控えていた時期のH9.4.2～H20.4.1生まれの女性への接種。				
	事業費			47,264	79,312	85,728	81,776	②B類疾病				
	財 源 内 訳	国庫支出金		765	656	421	421	・高齢者肺炎球菌(16件) ・高齢者インフルエンザ(5,485件) ・高齢者コロナウイルス(1,473件)				
		県支出金						③任意接種				
		地方債						・流行性耳下腺炎(82件) ・任意インフルエンザ(103件) ・帯状疱疹:330件(生ワク40件、不活化290件)				
		その他	230					2) 定期予防接種の償還払い				
業務量			0.9 人	-	-	0.9 人	里帰り出産や長期療養などの理由で指定医療機関で接種できない方に対し予防接種費用を助成した。 ・A類疾病:14件、B類疾病:35件					
事業の成果	成果の区分			0.5 人	-	-	0.5 人	3) 接種の勧奨				
	会計年度任用職員			0.4 人	-	-	0.4 人	・個別通知の送付(MR2期、二種混合、日本脳炎2期、子宮頸がん)				
								・広報紙やホームページ等での周知				
★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		加美郡医師会に協力を得、臨時接種から定期接種に位置付けられた新型コロナワクチン接種、50歳以上を対象とした任意帯状疱疹ワクチン接種の助成を実施することができた。また、定期的な勧奨(6月、12月にハガキにて通知)及びHPにて情報掲載を行った。しかし、麻しん・風しん接種は、年度末のワクチンの偏在により接種率が例年に比べ落ちている。国の通達により、この期間の接種できなかった方に対し定期接種の期間を伸ばしたことから、令和7年度も引き続き接種率を伸ばせるよう通知していく必要がある。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(4)	がん予防対策の推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	02 目 予防費	133

事業名		00135 住民検診事業 住民検診事業				担当課		保健福祉課(保険健康課)		事業期間		H15 ～																																																																																															
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	1) 各種健診(検診)の実施																																																																																																				
	疾病を早期に発見し治療につなげることで、生活の質の維持と医療費の増大を抑制する。中でも、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らす。						<table><tr><td></td><td colspan="3">R5</td><td colspan="3">R6</td><td rowspan="2">対象者</td></tr><tr><td>受診数</td><td>対象者</td><td>受診率</td><td>受診数</td><td>対象者</td><td>受診率</td></tr><tr><td>健康診査</td><td>114</td><td>187</td><td>61.0</td><td>104</td><td>187</td><td>55.6</td><td>30～39歳</td></tr><tr><td>胃がん検診</td><td>1,635</td><td>7,324</td><td>22.3</td><td>1,584</td><td>6,994</td><td>22.6</td><td>35歳以上</td></tr><tr><td>結核肺がん検診</td><td>3,434</td><td>7,708</td><td>44.6</td><td>3,389</td><td>8,145</td><td>41.6</td><td>40歳以上</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>2,851</td><td>7,929</td><td>36.0</td><td>2,812</td><td>3,690</td><td>76.2</td><td>40歳以上</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>1,250</td><td>4,844</td><td>25.8</td><td>1,120</td><td>4,144</td><td>27.0</td><td>20～40歳、41歳～前年度未検者</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>1,288</td><td>4,440</td><td>29.0</td><td>1,278</td><td>4,171</td><td>30.6</td><td>30～39歳超音波、41歳～</td></tr><tr><td>前立腺がん検診</td><td>806</td><td>4,440</td><td>18.2</td><td>749</td><td>2,178</td><td>34.4</td><td>50～74歳男性</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検査</td><td>150</td><td>4,440</td><td>3.4</td><td>132</td><td>1,089</td><td>12.1</td><td>40～70歳5歳ごと</td></tr><tr><td>骨粗鬆症検診</td><td>160</td><td>4,440</td><td>3.6</td><td>173</td><td>507</td><td>34.1</td><td>40～70歳5歳ごと女性</td></tr><tr><td>成人歯科検診</td><td>76</td><td>674</td><td>11.3</td><td>76</td><td>604</td><td>12.6</td><td>30.40.50.60.70歳</td></tr></table>								R5			R6			対象者	受診数	対象者	受診率	受診数	対象者	受診率	健康診査	114	187	61.0	104	187	55.6	30～39歳	胃がん検診	1,635	7,324	22.3	1,584	6,994	22.6	35歳以上	結核肺がん検診	3,434	7,708	44.6	3,389	8,145	41.6	40歳以上	大腸がん検診	2,851	7,929	36.0	2,812	3,690	76.2	40歳以上	子宮がん検診	1,250	4,844	25.8	1,120	4,144	27.0	20～40歳、41歳～前年度未検者	乳がん検診	1,288	4,440	29.0	1,278	4,171	30.6	30～39歳超音波、41歳～	前立腺がん検診	806	4,440	18.2	749	2,178	34.4	50～74歳男性	肝炎ウイルス検査	150	4,440	3.4	132	1,089	12.1	40～70歳5歳ごと	骨粗鬆症検診	160	4,440	3.6	173	507	34.1	40～70歳5歳ごと女性	成人歯科検診	76	674	11.3	76	604	12.6	30.40.50.60.70歳
		R5			R6			対象者																																																																																																			
	受診数	対象者	受診率	受診数	対象者		受診率																																																																																																				
	健康診査	114	187	61.0	104		187	55.6	30～39歳																																																																																																		
	胃がん検診	1,635	7,324	22.3	1,584		6,994	22.6	35歳以上																																																																																																		
	結核肺がん検診	3,434	7,708	44.6	3,389		8,145	41.6	40歳以上																																																																																																		
大腸がん検診	2,851	7,929	36.0	2,812	3,690	76.2	40歳以上																																																																																																				
子宮がん検診	1,250	4,844	25.8	1,120	4,144	27.0	20～40歳、41歳～前年度未検者																																																																																																				
乳がん検診	1,288	4,440	29.0	1,278	4,171	30.6	30～39歳超音波、41歳～																																																																																																				
前立腺がん検診	806	4,440	18.2	749	2,178	34.4	50～74歳男性																																																																																																				
肝炎ウイルス検査	150	4,440	3.4	132	1,089	12.1	40～70歳5歳ごと																																																																																																				
骨粗鬆症検診	160	4,440	3.6	173	507	34.1	40～70歳5歳ごと女性																																																																																																				
成人歯科検診	76	674	11.3	76	604	12.6	30.40.50.60.70歳																																																																																																				
事業の対象		単位		R5	R6	R7																																																																																																					
20歳以上の住民(検診ごとに対象となる年齢・性別あり)		人	数量	18,583	18,315	19,893																																																																																																					
成果指標名		単位		R5	R6	R7																																																																																																					
①	検診受診率 (胃がん検診)	%	目標	30	30	30																																																																																																					
			実績	22	23	-																																																																																																					
			達成率	74.3%	75.3%	-																																																																																																					
②			目標			-																																																																																																					
			実績			-																																																																																																					
項 目			R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																																																																																					
事業費			47,607	54,841	48,841	47,020																																																																																																					
財源内訳	国庫支出金																																																																																																										
	県支出金	703	1,009		776																																																																																																						
	地方債																																																																																																										
	その他																																																																																																										
一般財源			46,904	53,832		46,244																																																																																																					
業務量			0.6 人	-	-	0.6 人																																																																																																					
正職員			0.6 人	-	-	0.6 人																																																																																																					
会計年度任用職員			人	-	-	人																																																																																																					
成果の区分		成果の説明																																																																																																									
★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		曜日や時間帯を考慮し受診しやすい環境を整えた。また、がん検診ガイドの作成、無料券の配布や未健(検)者検診を実施して受診率の向上に努めた。しかし、受診率向上はしたものの健診受診者の高齢化が見られるようになった。精密検査該当者へ関係機関と連携して精密検査を実施、受診勧奨を行い早期発見につなげた。住民自ら健康管理ができるよう健康手帳を配布し活用を促した。また、がん患者のウィッグ購入費用の助成は、医療機関の協力を得て周知を図った。																																																																																																									

休日及び夜間にも実施し受診しやすい環境を整え、また、8月に未検者健診を実施し受診向上を図った。

- ・健診項目及び対象が一目でわかるよう「検診ガイド」を作成し周知を図った。
- ・町独自の検診の実施:健康診査30～39歳、胃がん35～39歳、乳がん30～39歳
- ・無料検診の実施…肝炎ウイルス:対象年齢 クーポン配布:21歳女性(子宮がん)、41歳女性(乳がん)、50歳男女(胃がん、大腸がん)、50歳男性(前立腺がん)

2) 各検診の精密検査の支援
精密検査に該当した方については、検診団体や医療機関と連携し精密検査を実施。未受診の方には電話等で受診の勧奨を行った。(胃がん精検受診率98.9%)

3) 健康手帳の配布(40歳:246名、50歳:281名、60歳:281名 合計:808名)
健康増進法に基づき、40、50、60歳の住民に健康手帳を配布し、啓発を行った。

4) がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業(市町村総合補助金)
がん治療に伴う医療用ウィッグ及び新たに乳房補正用具の購入に係る費用の助成金を交付した。 R6:9件、R5:7件、R4:8件

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	2	医療体制の充実
	基本事業	(1)	地域医療の充実

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	02 目 予防費	
				133

事業名		00598 住民検診事業 健康教室事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	依頼を受け、行政区や団体等に対し、希望する内容で開催した。 専門的な内容の場合には、外部講師(歯科衛生士、健康運動指導士、県薬物乱用防止専門講師)に依頼した。				
	健康づくりの啓発と普及を目的に町内の様々な団体からの要望に応じて健康教室を実施する。健康づくりについて学ぶ機会をもち、自分の健康管理ができる住民を増やす。						1) 地区健康教室の開催 保健推進員に行政区長と調整し、希望する地区で実施した。開催通知は、毎戸配布または回覧で周知を図った。 実施数:25行政区、参加者数:439人				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	2) 事業所や団体からの依頼による開催 実施数:39回(事業所:3、教育機関:11)、参加者数:1,115人		
	町民		人		21,618		21,232	20,782			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7	○参加の状況		
	①	参加者数	人		300 900 300.0%		700 1,554 222.0%	500 - -			
②		人	目標実績 達成率			- -	○開催テーマ 生活習慣病予防「生活リズムについて」 8回 運動「気軽にできる運動」 12回 栄養「健康に過ごすための食事」 7回 休養「心の健康について」 2回 歯について「歯磨き教室」 9回 その他「薬物乱用防止」 1回				
事業のコスト(千円)		項 目	R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算				成果の説明	
事業費			447	612	612	422					
財源内訳	国庫支出金		280	382	382						
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源	167	229	229	422						
業務量		0.3 人	-	-	人						
正職員		0.3 人	-	-	人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		地区での健康教室の開催、企業や教育団体に対して健康教室を開催することができた。若い世代から高齢者の幅広い年代に健康づくりについて健康教育を実施することができた。								

○参加の状況

年代	20歳未満	20～64歳	65歳以上	66歳以上	合計
参加人数	305人	162人	543人	544人	1,554人
参加率	19.6%	10.4%	34.9%	35.1%	100.0%

○開催テーマ

生活習慣病予防「生活リズムについて」 8回
運動「気軽にできる運動」 12回
栄養「健康に過ごすための食事」 7回
休養「心の健康について」 2回
歯について「歯磨き教室」 9回
その他「薬物乱用防止」 1回

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	1	消防防災・防犯対策の充実
	基本事業	(1)	危機管理体制の整備促進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	02 目 予防費	134

事業名		00684 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業				担当課	保健福祉課（保険健康課）		事業期間	H15 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○感染症予防対策に関する取組 (1)住民への情報提供及び啓発普及 町広報紙、ホームページ、各種事業により、感染予防の手法、適正受診、看護等について、周知及び啓発を行った。 (2)体制整備、連携 一般的な感染症のみならず、新型インフルエンザ等対策特別措置法にける関係機関との情報共有、調整など行った。						
	町民の感染拡大防止とそれに係る体制整備。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	町民		人		21,618							21,232	20,782
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5							R6	R7
	①				-							-	
②			-	-									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		39	50	50	30							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他一般財源	39	50	50	30							
業務量		人	-	-	人								
正職員		人	-	-	人								
会計年度任用職員		人	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		感染及び拡大防止のため、啓発等に取り組み、広報紙やホームページ、秋まつり等で周知を呼びかけた。 成果指標や成果の説明は、困難である。 感染症対策事業予防接種事業との統合に再編していく。										

総合計画	政 策	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	健康づくりの推進
	基本事業	生活習慣病予防対策の充実

予算科目	一般会計	決算書
	04 款 01 項 02 目 予防費	134

事業名		01762 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業				担当課	保険健康課		事業期間	R6	～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容					
	介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業を一体的に実施することにより、高齢者の心身の多様な課題に対応し、できる限り自立した日常生活を送ることができる高齢者を増やし、本町の健康寿命の延伸を図る(宮城県後期高齢者医療広域連合からの業務委託契約)。											
	事業の対象		単位	R5		R6						R7
	65歳以上の高齢者		数量			8,337						8,274
	成果指標名		単位	R5		R6						R7
①	訪問対象者へ介入できた人数		人	目標実績	47		39	27				
				達成率	83.0%		-					
②	集いの場で状態把握できた行政区		行政区	目標実績	50		30	25				
				達成率	60.0%		-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		6,479		6,479	5,946						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他一般財源	6,479	6,479	5,946							
業務量		人	-	-	1.0 人							
正職員		人	-	-	0.8 人							
会計年度任用職員		人	-	-	0.2 人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★ 達成度がやや低い (60%以上80%未満)		本年度より事業開始。ハイリスクアプローチでは電話や訪問で状況確認し、受診や介護サービス等必要性を判断し支援を行った。関わってほしくないという方が一定数おり、次年度も不明者として挙がる可能性もあり再度介入の必要性について判断が求められる。ポピュレーションアプローチでは、行政区毎のフレイル状態の把握に努めたが、結果説明の返答率は26.6%とアプローチ方法として課題が残る形となっている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(6)	感染症予防体制の整備

予算科目	一般会計				決算書
	04	款	01	項	08 目 新型コロナウイルス感染症対策費

事業名		01508 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（繰越明許）				担当課	保健福祉課（保険健康課）		事業期間	R2	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	◎保健情報システムの令和6年度ワクチン接種にかかる標準レイアウト改版分 206,250円 ◎医療用廃棄物等の廃棄処理手数料 27,593円						
	新型コロナウイルスワクチン接種に備え、接種体制を整備することを目的とする。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	町民		人		21,618							21,232	20,782
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7
	①	接種体制の確保			-							-	
	②			-	-								
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		618		618	234							
	財 源 内 訳	国庫支出金	618		618	234							
		県支出金											
		地方債											
		その他											
	一般財源												
業務量		-	-	-	0.3 人								
正職員		-	-	-	0.3 人								
会計年度任用職員		-	-	-	人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★ 概ね達成された （80%以上100%未満）		令和6年度までの特例接種の経費のうちの繰り越した分である。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	1	健康づくりの推進
	基本事業	(6)	感染症予防体制の整備

予算科目	一般会計				決算書
	04 款	01 項	08 目	新型コロナウイルス感染症対策費	138

事業名	01769 新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルスワクチン接種事業				担当課	保健福祉課(保険健康課)		事業期間	R3	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	◎新型コロナウイルスワクチン接種の実施(令和5年秋開始接種分) 郡外の医療機関で令和6年3月に実施した分の宮城県国保連への支払い 接種件数: 24件 54,648円 審査事務費: 24件 7,200円 ◎令和6年度からは、特例接種からB類疾病の定期接種となっている。 (実績は予防接種事業に掲載)					
	新型コロナウイルス感染症の発症予防・まん延予防のためワクチン接種を実施する。											
	事業の対象		単位	数量	R5						R6	R7
	ワクチン接種対象者(生後6か月以上の住民)		人		21,540						21,158	20,710
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5						R6	R7
	①	65歳以上の追加接種率(R3は3回目接種率R4はオミクロン株接種率)	%		90 84 93.3%						- -	
	②	12歳以上の3回目接種率	%	85 84 98.6%	- -							
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算		R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		120,887		39,848	228	62					
	財源内訳	国庫支出金	120,887		39,848	228	62					
		県支出金										
		地方債										
		その他一般財源										
	業務量		2.0	人	-	-	人					
正職員		2.0	人	-	-	人						
会計年度任用職員			人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★ 概ね達成された(80%以上100%未満)		令和6年度までの特例接種の経費のうちの繰り越した分である。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目	児童福祉総務費 114

事業名		00094 児童福祉施設運営事業 保育所・こども園・放課後児童クラブ運営事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H15 ～																			
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○私立保育所・町立こども園・児童クラブに在籍する児童の口座振替に関する事務を行った。																							
	保育所等の運営を円滑に行うための事務手続きを行う。							<table><tr><td>金融機関</td><td>件数</td><td>手数料</td></tr><tr><td>七十七銀行</td><td>3,296件</td><td>36,256円</td></tr><tr><td>仙台銀行</td><td>118件</td><td>1,298円</td></tr><tr><td>古川信用組合</td><td>15件</td><td>165円</td></tr><tr><td>加美よつば農協</td><td>1,120件</td><td>12,320円</td></tr><tr><td>ゆうちょ銀行</td><td>752件</td><td>7,520円</td></tr></table>						金融機関	件数	手数料	七十七銀行	3,296件	36,256円	仙台銀行	118件	1,298円	古川信用組合	15件	165円	加美よつば農協	1,120件	12,320円	ゆうちょ銀行	752件	7,520円
	金融機関	件数	手数料																												
	七十七銀行	3,296件	36,256円																												
	仙台銀行	118件	1,298円																												
	古川信用組合	15件	165円																												
加美よつば農協	1,120件	12,320円																													
ゆうちょ銀行	752件	7,520円																													
事業の対象		単位		R5	R6	R7																									
公立施設に在籍する児童		人	数量	291	128	124																									
成果指標名		単位		R5	R6	R7																									
①	加入率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 99 99.0%	100 - -																									
②			目標 実績 達成率			- -																									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																									
	事業費		244	302	302	240																									
	財源内訳	国庫支出金																													
		県支出金																													
		地方債																													
		その他	60	25	25	27																									
一般財源	184	277	277	213																											
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																										
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																										
会計年度任用職員		人	-	-	人																										
事業の成果	成果の区分		成果の説明																												
	★★★★★ 達成された (100%以上)		在籍する児童を保険へ加入させたことにより、保育中に負傷した児童への保険給付を適切に行うことができた。 また、保育料等の徴収を口座振替にすることにより、事務手続きを円滑に行うことができた。																												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	115

事業名		01166 児童福祉事業 子育て応援出産祝い金支給事業				担当課	こども家庭課		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○支給対象者 出生した乳幼児を養育する父または母で、出産日の1年前から町内に在住している方				
	加美町において誕生した出生児を祝い、子育てに要する経費の経済的支援を図り、出産を奨励すると共に児童福祉の増進に資することを目的としている。 出産した乳児を養育する父または母のいずれかが、出産の日の1年前から加美町に住所を有する方を対象に祝い金の支給を行う。						○支給額、支給方法				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	年度 支給額 支給方法		
	出生した乳幼児の保護者で出産日の1年前から町内に在住している方		人		64		65	第1子・第2子 20,000 円 全額商品券支給			
	成果指標名		単位	R5	R6		R7	第3子以降 100,000 円 現金と商品券で5万円ずつ支給			
①	出産祝金額	円	目標実績達成率	2,560,000	2,500,000	※商品券は3地区(中新田・小野田・宮崎)共通で使用可能					
②			目標実績達成率			○支給件数					
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度				
	事業費		2,560	2,740	2,880	2,500	第1子 29 件 27 件 23 件				
	財源内訳	国庫支出金					第2子 32 件 21 件 27 件				
		県支出金					第3子以降 15 件 16 件 15 件				
		地方債					合計 76 件 64 件 65 件				
その他一般財源		2,560	2,740	2,880	2,500	○支給額実績					
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人	年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度					
正職員		0.2 人	-	-	0.2 人	支給額 2,720,000 円 2,560,000 円 2,500,000 円					
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		子育てに要する経費の経済的支援により、子育て家庭の負担軽減を図り、子育てしやすい環境づくりに努めた。 ※なお、この事業における目標は出産祝い金該当者に漏れなく祝金給付を行う事のため、実績値のみを記入している。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(4)	子育てにやさしい環境づくり

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	
				115

事業名		01167 児童福祉事業 児童厚生施設安全管理事業				担当課	こども家庭課		事業期間	H20 ～																																	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○加美町児童遊園等遊具点検業務委託 196, 900円(税込) 児童厚生施設6ヶ所の遊具の安全点検を実施した。点検結果を基に管理部署が修繕等を行うこととしている。 <table><tr><td>No.</td><td>児童厚生施設名称</td><td>点検遊具数</td><td>結果</td></tr><tr><td>①</td><td>中新田児童館</td><td>3</td><td>全て合格</td></tr><tr><td>②</td><td>みなみ児童館(勤労者福祉研修センター)</td><td>2</td><td>全て合格</td></tr><tr><td>③</td><td>御仮屋児童遊園</td><td>2</td><td>2か所C判定</td></tr><tr><td>④</td><td>広原地区児童遊具(広原神社)</td><td>4</td><td>全て合格</td></tr><tr><td>⑤</td><td>小野田中央児童遊園</td><td>4</td><td>2か所C判定</td></tr><tr><td>⑥</td><td>宮崎福祉センター</td><td>4</td><td>全て合格</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>19</td><td>合格 15 要修繕 4</td></tr></table>					No.	児童厚生施設名称	点検遊具数	結果	①	中新田児童館	3	全て合格	②	みなみ児童館(勤労者福祉研修センター)	2	全て合格	③	御仮屋児童遊園	2	2か所C判定	④	広原地区児童遊具(広原神社)	4	全て合格	⑤	小野田中央児童遊園	4	2か所C判定	⑥	宮崎福祉センター	4	全て合格	合計		19	合格 15 要修繕 4
	No.	児童厚生施設名称	点検遊具数	結果																																							
	①	中新田児童館	3	全て合格																																							
	②	みなみ児童館(勤労者福祉研修センター)	2	全て合格																																							
	③	御仮屋児童遊園	2	2か所C判定																																							
	④	広原地区児童遊具(広原神社)	4	全て合格																																							
⑤	小野田中央児童遊園	4	2か所C判定																																								
⑥	宮崎福祉センター	4	全て合格																																								
合計		19	合格 15 要修繕 4																																								
児童厚生施設に設置している遊具の安全推進と環境保全を図る。																																											
事業の対象		単位	R5		R6	R7																																					
児童遊園2、児童館2、福祉センター1、広原神社1 計6箇所(R6は保育所除く)		箇所	数量	7	6	6																																					
成果指標名		単位	R5		R6	R7																																					
①	安全に使える遊具の割合	件	目標実績 達成率	38 34 89.5%	19 17 89.5%	19 - -																																					
②			目標実績 達成率			- -																																					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																					
	事業費		253	967	901	901																																					
	財源内訳	国庫支出金																																									
		県支出金																																									
		地方債																																									
		その他	700	700	700																																						
一般財源	253	267	201	201																																							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																																						
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																																						
会計年度任用職員		人	-	-	人																																						
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																								
	★★★★★ 達成された(100%以上)		児童遊具の安全点検は毎年、継続的に実施する必要がある。点検結果により子どもが安全に遊具で遊ぶことができる環境づくりを進めることができた。																																								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	115

事業名				01168 児童福祉事業 その他児童福祉事業				担当課		こども家庭課		事業期間		～	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	○その他児童福祉事業 支援が必要な家庭への訪問や関係機関との連絡調整のため公用車をリースした。 (R9.6.30までのリース契約) また、会計年度任用職員(事務補助員)1名を配置し、住民対応の充実を図った。 公用車リース料 240,000円(20,000円/月) 会計年度任用職員報酬 2,750,618円 ○中新田保育所の民間移管に係る三者協議会 2回開催 委員報酬 17,000円 ○旧中新田保育所共同アンテナ撤去工事 936,100円 ○令和5年度新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金額確定に伴う返還金 408,000円 ○こども子育て応援基金積立金 50,528,000円(組み替えによるもの)					
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7								
	町内在住の18歳までの数		人		2,748	2,621	2,479								
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6	R7								
	①				-	-									
	②			-	-										
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算									
事業のコスト(千円)	事業費		116,027	5,108	55,620	54,894									
	財源内訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他	7,000	1,758	2,284	2,085									
	一般財源	109,027	3,350	53,336	52,809										
業務量		1.1 人	-	-	1.1 人										
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人										
会計年度任用職員		1.0 人	-	-	1.0 人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	—		支援が必要な家庭への対応のため、公用車はほぼ毎日使用している状況である。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	
				116

事業名			00900 子育て支援事業 子育て支援事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H27 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	○子育て支援広場事業 入園前の児童がいる子育て世帯を対象に、子育ての情報交換や育児の悩みを解決できる場として、子育て支援センター・広場を開設し、子育てしやすい環境づくりを推進した。						
	子育て支援事業として、子育て情報の周知、相談事業、子育て家庭支援事業の講座開催など、地域で子育て支援体制づくりを進めた。							○子育て世帯情報発信事業 396,000円 令和4年度からの継続事業「子育てアプリ かみ～モ」を通じて、健診のご案内や子育て支援センター・ひろばのお知らせなどの情報発信の強化した。（登録者数345）						
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	○公認心理師 発達等に課題を抱えているお子さんの相談及び発達検査を行い、お子さんの成長に合わせた環境調整を行った。					
	町内在住の18歳までの数		人		2,748	2,621		2,479						
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6		R7	○こども・子育て支援事業計画策定委託料 令和2年度に定めた「第2期加美町こども・子育て支援計画」が令和6年度で終了することから引き続き、令和7年度を初年度とする「加美町第3期子ども子育て支援事業計画」の策定を行った。					
	①	支援人数	人		3,500	3,500		3,500						
事業のコスト（千円）	②			目標実績達成率				○子ども・子育て会議 委員数14名 即効性・実現性のある必要な子育て支援施策及び第3期加美町子ども・子育て支援事業計画について会議を開催した。 1回目 令和6年5月27日開催 10名出席 2回目 令和6年6月24日開催 9名出席 3回目 令和6年7月29日開催 9名出席 4回目 令和6年8月26日開催 10名出席 5回目 令和6年9月30日開催 9名出席 令和6年9月30日 答申（1回目） 6回目 令和7年12月13日 書面決議 7回目 令和7年3月10日開催 7名出席 令和7年3月27日 答申（2回目）「第3期加美町子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～令和11年度）の策定について」						
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算					
	事業費		3,988		9,197		8,655		8,473					
	財源内訳	国庫支出金												
		県支出金			750		750		833					
		地方債												
その他	1,500													
一般財源	2,488		8,447		7,905		7,640							
業務量		0.2 人		－		－		0.2 人						
正職員		0.2 人		－		－		0.2 人						
会計年度任用職員		人		－		－		人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明											
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		子育て支援広場の登録者数は5年度末で265であったが、乳幼児健診や子育て支援広場等で周知し6年度末の登録者数は552に増えた。 また、6年度より開催日を週3日から月～金曜日までの5日間に増やし、さらに利用時間も午前のみから午前・午後としたことで利用者の増加につながった。 公認心理士による発達検査は、課題のある児童への早期発見・対応ができた。 令和7年度を初年度とする「加美町第3期子ども子育て支援事業計画」の策定を行った。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	117

事業名		00095 その他児童福祉費				担当課		こども家庭課		事業期間		R6 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	令和4年度に加美町公共施設LED化業務において旧中新田保育所を含む加美町内公共施設17施設の照明がLED化されました。(リース契約) 中新田保育所は令和6年3月31日をもって町営保育所としては閉所し、4月1日より株式会社NOVAが運営を行う「NOVAバイリンガル加美中新田保育園」となりました。 これに伴い、設置されたリース物件(LED照明)の使用貸借及びリース料の支払いについて、賃借人は加美町のままとし支払いを継続する事となりました。 また、NOVAバイリンガル加美中新田保育園がリース物件相当額を町に支払うこととしています。 加美町が支払ったリース料金 657, 360円 (令和6年4月～令和7年3月) NOVAバイリンガル加美中新田保育園が加美町へ支払ったリース物件相当額 657, 360円								
	旧中新田保育所内のLED照明借り上げ料														
	事業の対象		単位	数量	R5									R6	R7
	LED照明借上料		円		657,360										
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5									R6	R7
	①	LED照明リース料収入			657,360 657,360 100.0%									657,360 － －	
	②			目標実績達成率	－ －										
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算									
	事業費		658 658 658												
	財源内訳	国庫支出金	657 657 657 1 1 1												
		県支出金													
		地方債													
		その他													
一般財源															
業務量		0.1 人	－	－	0.1 人										
	正職員		0.1 人	－	－	0.1 人									
	会計年度任用職員		人	－	－	人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	－														

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	117

事業名		00096 児童手当給付事業 児童手当給付事業				担当課	こども家庭課		事業期間	S47 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	※下記は、法定受託事務事業である。				
	児童手当法に基づき「児童手当」を支給する事により中学3年生までの児童を養育しているものに対し、生活の安定や時代の社会を担う児童の健やかな成長に役立ててもらうことを目的としている。 なお、令和6年10月(12月支給分)から支給対象の拡大及び所得制限の撤廃、支給回数の増加により児童手当制度の拡充が図られた。						○支給対象者 ・令和6年4月から9月までは、0歳から中学3年生(15歳)までの児童を養育している者。 ・令和6年10月以降は、0歳から18歳到達後の最初の年度末までの児童を養育している者。				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	0歳から18歳到達後最初の年度末までの児童を養育している者		人		1,141		1,353				
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7			
	①	児童手当金額	円		249,675,000		285,540,000				
	②			目標実績達成率							
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		249,735	313,055	313,468	296,117					
	財源内訳	国庫支出金	171,761	217,655	224,187	224,486					
		県支出金	39,047	47,643	36,979	37,265					
		地方債									
		その他									
	一般財源	38,927	47,757	52,302	34,366						
業務量		0.4 人	-	-	0.4 人						
	正職員		0.4 人	-	-	0.4 人					
	会計年度任用職員		人	-	-	人					
	成果の区分		成果の説明								
事業の成果	—		支給対象児童を養育している家庭の経済的負担の軽減が図られた。 ※なお、この事業における目標は児童手当該当者に漏れなく給付を行う事のため、実績値のみ記入している。								

6月支給	2月～5月分手当支給	12月支給	10月～11月分手当支給
10月支給	6月～9月分手当支給	2月支給	12月～1月分手当支給
各月随時払	転出等による受給資格消滅者分の手当		

○支給額、支給人数(制度改正前:令和6年4月～9月支給分)

	区分			手当月額	延児童数	支給額
一般受給者	3歳未満	被用者		15,000 円	1,501 人	22,515,000 円
		非被用者			241 人	3,615,000 円
	3歳 ～ 小学生	被用者	第1～2子	10,000 円	6,415 人	64,150,000 円
			第3子以降	15,000 円	1,101 人	16,515,000 円
		非被用者	第1～2子	10,000 円	1,104 人	11,040,000 円
			第3子以降	15,000 円	318 人	4,770,000 円
	中学生	被用者		10,000 円	3,103 人	31,030,000 円
		非被用者			660 人	6,600,000 円
	特例給付	被用者		5,000 円	98 人	490,000 円
		非被用者			8 人	40,000 円
合計					14,549 人	160,765,000 円

事業の内容(別紙)

事業名

00096 児童手当給付事業 児童手当給付事業

事業の内容

○支給額、支給人数(制度改正後:令和6年10月～令和7年3月支給分)

区分			手当月額	延児童数	支給額
3歳未満	被用者	第1～2子	15,000 円	602 人	9,030,000 円
		第3子以降	30,000 円	164 人	4,920,000 円
	非被用者	第1～2子	15,000 円	73 人	1,095,000 円
		第3子以降	30,000 円	32 人	960,000 円
3歳～小学生	被用者	第1～2子	10,000 円	3,134 人	31,340,000 円
		第3子以降	30,000 円	683 人	20,490,000 円
	非被用者	第1～2子	10,000 円	542 人	5,420,000 円
		第3子以降	30,000 円	178 人	5,340,000 円
中高生	被用者	第1～2子	10,000 円	2,997 人	29,970,000 円
		第3子以降	30,000 円	272 人	8,160,000 円
	非被用者	第1～2子	10,000 円	589 人	5,890,000 円
		第3子以降	30,000 円	72 人	2,160,000 円
合計				9,338 人	124,775,000 円

○児童扶養手当及び特別児童扶養手当受付相談業務

児童扶養手当の支給により、ひとり親世帯の生活の安定と自立の促進を図った。

また、特別児童扶養手当の支給により、身体・知的に障害を有する児童の福祉の増進を図った。

なお、これらの事業は県にて手当を支給しており、町では受付業務のみ行っている。

そのため、町で予算を組むことは無い。受付実績は下記のとおり。

児童扶養手当認定申請件数	14 名
特別児童扶養手当認定申請件数	12 名

○ 児童手当システム改修委託料 10, 161, 800円

令和7年10月より所得制限の撤廃や支給対象の拡大、第3子以降の児童手当額変更等に伴うシステム改修委託料。

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	117

事業名		00097 子ども医療費助成事業 子ども医療費助成事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H16 ～																																																									
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○支給対象者数(令和7年3月31日時点)																																																														
	子どもの適正な医療機会の確保および子育て家庭における経済的負担の軽減を図る。出生から18歳到達後、最初の年度末までの子どもに係る医療費の一部負担金(2割または3割)について助成を行う。 0歳～6歳(所得制限内)までの対象者は県にて費用負担、0～6歳(所得超過)及び7歳～18歳は町で費用負担する。						<table><tr><td colspan="2">国民健康保険分</td><td colspan="2">266 人</td></tr><tr><td colspan="2">社会保険分</td><td colspan="2">2,401 人</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">2,667 人</td></tr></table>							国民健康保険分		266 人		社会保険分		2,401 人		合計		2,667 人																																													
	国民健康保険分		266 人																																																																		
	社会保険分		2,401 人																																																																		
	合計		2,667 人																																																																		
事業の対象		単位		R5	R6		R7	○支給額、支給件数(現物給付及び償還払含む)																																																													
出生から高校3年生(18歳)までの児童		人	数量	2,739	2,667		-	受給者証の提示により医療機関窓口での自己負担を軽減する。																																																													
成果指標名		単位		R5	R6		R7	(1) 県補助事業分																																																													
①	子ども医療費金額	円	目標	87,653,769	85,127,526		-	<table><tr><td colspan="2">区分</td><td colspan="2">助成件数</td><td colspan="2">総医療費</td><td colspan="2">助成額</td></tr><tr><td rowspan="4">国保</td><td rowspan="4">0歳～6歳 (未就学児)</td><td rowspan="2">所得制限内</td><td>入院</td><td>7 件</td><td>1,072,720 円</td><td>194,680 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>1,165 件</td><td>8,136,440 円</td><td>1,627,288 円</td></tr><tr><td rowspan="2">入院</td><td>56 件</td><td>19,598,120 円</td><td>1,816,760 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>11,660 件</td><td>103,085,552 円</td><td>17,445,214 円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">12,888 件</td><td colspan="2">131,892,832 円</td><td colspan="2">21,083,942 円</td></tr></table>					区分		助成件数		総医療費		助成額		国保	0歳～6歳 (未就学児)	所得制限内	入院	7 件	1,072,720 円	194,680 円	入院外	1,165 件	8,136,440 円	1,627,288 円	入院	56 件	19,598,120 円	1,816,760 円	入院外	11,660 件	103,085,552 円	17,445,214 円	合計		12,888 件		131,892,832 円		21,083,942 円																							
			区分		助成件数		総医療費						助成額																																																								
			国保	0歳～6歳 (未就学児)	所得制限内	入院	7 件						1,072,720 円	194,680 円																																																							
入院外	1,165 件	8,136,440 円				1,627,288 円																																																															
入院	56 件	19,598,120 円			1,816,760 円																																																																
	入院外	11,660 件			103,085,552 円	17,445,214 円																																																															
合計		12,888 件		131,892,832 円		21,083,942 円																																																															
②			実績	87,653,769	85,127,526	-																																																															
			達成率	100.0%	100.0%	-																																																															
			目標	-	-	-																																																															
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	(2) 町単独事業分																																																														
	事業費		89,242	75,219	80,492	86,681	<table><tr><td colspan="2">区分</td><td colspan="2">助成件数</td><td colspan="2">総医療費</td><td colspan="2">助成額</td></tr><tr><td rowspan="4">国保</td><td rowspan="4">0歳～6歳 (未就学児)</td><td rowspan="2">所得超過</td><td>入院</td><td>0 件</td><td>0 円</td><td>0 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>1 件</td><td>4,880 円</td><td>976 円</td></tr><tr><td rowspan="2">就学～18歳年度末</td><td rowspan="2"></td><td>入院</td><td>9 件</td><td>3,313,500 円</td><td>351,499 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>2,927 件</td><td>39,131,580 円</td><td>6,638,420 円</td></tr><tr><td rowspan="4">社保</td><td rowspan="4">0歳～6歳 (未就学児)</td><td rowspan="2">所得超過</td><td>入院</td><td>4 件</td><td>1,084,910 円</td><td>184,235 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>979 件</td><td>6,938,370 円</td><td>1,467,830 円</td></tr><tr><td rowspan="2">就学～18歳年度末</td><td rowspan="2"></td><td>入院</td><td>50 件</td><td>28,012,530 円</td><td>2,893,719 円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>23,919 件</td><td>235,304,270 円</td><td>52,372,605 円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">27,889 件</td><td colspan="2">313,790,040 円</td><td colspan="2">63,909,284 円</td></tr></table>					区分		助成件数		総医療費		助成額		国保	0歳～6歳 (未就学児)	所得超過	入院	0 件	0 円	0 円	入院外	1 件	4,880 円	976 円	就学～18歳年度末		入院	9 件	3,313,500 円	351,499 円	入院外	2,927 件	39,131,580 円	6,638,420 円	社保	0歳～6歳 (未就学児)	所得超過	入院	4 件	1,084,910 円	184,235 円	入院外	979 件	6,938,370 円	1,467,830 円	就学～18歳年度末		入院	50 件	28,012,530 円	2,893,719 円	入院外	23,919 件	235,304,270 円	52,372,605 円	合計		27,889 件		313,790,040 円		63,909,284 円	
	区分		助成件数		総医療費							助成額																																																									
	国保	0歳～6歳 (未就学児)	所得超過	入院	0 件	0 円						0 円																																																									
				入院外	1 件	4,880 円						976 円																																																									
			就学～18歳年度末		入院	9 件						3,313,500 円	351,499 円																																																								
					入院外	2,927 件						39,131,580 円	6,638,420 円																																																								
社保	0歳～6歳 (未就学児)	所得超過	入院	4 件	1,084,910 円	184,235 円																																																															
			入院外	979 件	6,938,370 円	1,467,830 円																																																															
		就学～18歳年度末		入院	50 件	28,012,530 円	2,893,719 円																																																														
				入院外	23,919 件	235,304,270 円	52,372,605 円																																																														
合計		27,889 件		313,790,040 円		63,909,284 円																																																															
国庫支出金		12,265	10,787	11,435	11,594																																																																
県支出金																																																																					
地方債																																																																					
その他																																																																					
一般財源		76,977	64,432	69,057	75,087																																																																
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																																																																
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																																																																
会計年度任用職員		人	-	-	人																																																																
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																																																		
			子どもの適正な医療機関受診の確保、及び子育て家庭における経済的負担軽減が図られた。 ※なお、この事業における目標は子ども医療費該当者に漏れなく給付を行う事のため、上記目標値には子ども医療費発生額、実績値には実際の支払額を記入している。そのため、現時点でR7年度の目標値は立てられないことから記入欄に「-」を表示している。																																																																		

事業の内容(別紙)

事業名	00097 子ども医療費助成事業 子ども医療費助成事業
------------	-----------------------------

事業
の
内
容

○償還払 給付額、給付件数
 受給者証提示忘れの際などに、利用者が自己負担した医療費を指定口座に振込み、実質自己負担額を無しとしている。

件数	133 件
支給額	316,868 円

※上記は全額町単独事業分に含む

○未熟児養育医療給付自己負担金の給付
 未熟児養育医療費に係る徴収金を子ども医療費にて負担し、実質利用者負担無しとしている。

対象者	5 名
支給額	134,300 円

※上記は全額町単独事業分

○助成額一覧

区分	事業区分	助成額
0歳～6歳(未就学児)	所得制限内	21,083,942 円
	所得超過	1,617,497 円
就学～18歳年度末	町単独	61,974,919 円
償還払い		316,868 円
未熟児養育医療費給付自己負担金		134,300 円
合計		85,127,526 円

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	118

事業名		00901 施設型給付費・地域型保育給付事業 施設型給付費・地域型保育給付事業				担当課	子ども家庭課		事業期間	H27 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○子ども・子育て支援新制度により、私立の保育施設等に対して保育給付費の支払いを行った。				
	子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育施設に財政支援を行う。						①施設型・地域型保育給付費 346,585,542円 施設型・地域型保育給付施設(認定こども園及び幼稚園) 中新田幼稚園・なかよしこども園 (定員:120人) 小鳩幼稚園 (定員:120人) 大崎市 鳴子こども園 2名 高崎市 国分寺幼稚園 3名 奥州市 あゆみ園(公立) 2名 地域型保育給付施設(小規模保育園) えがおのはなさくみんなのほいくえん (定員:19人) ちいさなもりのほいくえん (定員:19人) みんなのほいくえんハッピーベース (定員:19人)				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7			
	町民が在籍する私立の教育・保育施設		園		8		15	11			
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7			
	①	給付費	園		8		15	11			
					8		15	-			
事業のコスト(千円)	②			100.0%	100.0%	-					
				目標 実績 達成率			-	-			
	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		346,984	446,361	500,361	496,625					
	財 源 内 訳	国庫支出金	159,411	217,480	244,386	253,607					
		県支出金	78,101	90,629	108,878	110,744					
		地方債	13,700	22,000	22,000	21,300					
その他			8,640	8,640	9,247						
一般財源		95,772	107,612	116,445	101,727						
業務量		0.3 人	-	-	0.3 人						
正職員		0.3 人	-	-	0.3 人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		施設に対する運営費の補助を適切に行った。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(3)	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	118

事業名		00943 子ども・子育て支援事業 子ども・子育て支援事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H28 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○保育施設等に対する補助を行った。							
	教育・保育施設に通う児童に係る通常保育以外の保育を行う施設に対して運営費の補助を行う。 放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育事業を行う民間の施設に対して事業費の補助を行う。 虐待の恐れがある児童を里親へ委託する事業。													
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	施設名		概要		補助金額	
									中新田幼稚園・なかよしこども園		延長保育事業		600,000円	
										一時預かり事業 (幼稚園型Ⅰ)		1,597,190円		
								えがおのはなさくみんなのほいくえん		延長保育事業		600,000円		
								ちいさなもりのほいくえん		延長保育事業		600,000円		
								みんなのほいくえんハッピーベース		延長保育事業		600,000円		
								小鳩幼稚園		一時預かり事業 (幼稚園型Ⅰ・Ⅱ)		7,533,050円		
										放課後児童健全育成事業		11,837,000円		
						NOVAバイリンガル加美中新田保育園		延長保育事業		600,000円				
								一時預かり事業 (一般型)		2,833,000円				
								病児保育事業 (体調不良児対応型)		1,543,130円				
								地域子育て支援拠点事業		4,127,000円				
						白梅幼稚園		実費徴収に係る補足給付を行う事業(副食費)		29,760円				
						ありまファミリークリニック		病児保育事業 病児対応型 病後児対応型		12,029,000円 9,121,000円				
							○子育て短期支援事業(ショートステイ) 175,560円 委託先6か所(加美町2か所、大崎市3か所、美里町1か所) 【実績】 実利用者3名(幼児1名、中学生1名、高校生1名)、延べ日数27日 虐待予防の観点から、長期休暇の際などに定期的な利用があった ○令和5年度子ども・子育て支援交付金額確定に伴う返還金 1,124,000円							
事業の成果	成果の区分					成果の説明								
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)					子ども・子育て支援事業交付金により、施設に対し該当事業分の補助を適切に行った。 虐待の恐れがある児童を里親へ委託することにより、児童にとって良い環境を調整した。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(3)	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	
				118

事業名		00992 特別支援保育事業 特別支援保育事業				担当課	こども家庭課		事業期間	H29 ～			
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○特別支援保育審議委員会において、承認された児童に対し発達障害者地域支援マネジャーが保育所等を巡回し、障害児に対しての支援の質を高めると共に障害児の支援体制の強化を図った。巡回については一般社団法人みやぎスクエアサポートに委託し、実施した。 認定こども園おのだひがし園(1人) 認定こども園みやぎ園(1人) NOVAバイリンガル加美中新田保育園(1人) 中新田幼稚園・なかよしこども園(8人) (巡回:年間24日、オンライン研修:年間5日) ○特別な支援を必要とする児童に対して保育を行う、私立の特定教育・保育施設および地域型保育施設を補助することで、児童の健全な社会性の成長発達の促進、福祉増進を図る。 NOVAバイリンガル加美中新田保育園(基準額20,000円×対象児童1人×12か月) 中新田幼稚園・なかよしこども園(基準額20,000円×対象児童7人×12か月)						
	特別支援保育審議委員会を開催し、個別対応の必要な児童に支援を行う。 特別な支援が必要な児童を受け入れている施設に対し、保育士の増員や設備の充実を図るため補助を行う。												
	事業の対象		単位		R5							R6	R7
	町内教育・保育施設		園	数量	1							9	8
	成果指標名		単位		R5							R6	R7
	①	支援する必要とする児童数	人	目標 実績 達成率	1 1 100.0%							11 11 100.0%	16 - -
	②			目標 実績 達成率									- -
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		3,920	5,056	5,056	3,334							
	財源内訳	国庫支出金		700	700	693							
		県支出金	1,200	1,910	1,910	1,037							
		地方債											
		その他											
	一般財源		2,720	2,446	2,446	1,604							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人								
事業の成果	正職員		0.1 人	-	-	0.1 人							
	会計年度任用職員		人	-	-	人							
	成果の区分		成果の説明										
★★★★★ 達成された (100%以上)		みやぎスクエアサポートが園を訪問し、個別対応の必要な児童への対応とその児童の在籍するクラス保育の在り方を検討し、実践していただくことで保育の質を高めることができた。また、施設に対する補助を適切に行った。											

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	118

事業名		01035 子育てのための施設等利用給付事業 子育てのための施設等利用給付事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H31 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○新制度未移行の幼稚園に対して運営費の補助を行った。 大崎市 白梅幼稚園 2名						
	子ども・子育て支援法に基づき、新制度未移行の私立幼稚園に財政支援を行う。												
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7					
	町民が在籍する私立の幼稚園		園		1		1	1					
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5		R6	R7					
	①	給付費			園		1	1	1				
			1		1	－							
				100.0%	100.0%	－							
				目標実績達成率									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算				
	事業費		309		309		387		387				
	財源内訳	国庫支出金	154		154		154		154				
		県支出金	77		77		77		77				
		地方債											
		その他											
一般財源		78		78		78		156					
業務量		0.1 人		－		－		0.1 人					
		正職員		0.1 人		－		－		0.1 人			
		会計年度任用職員		人		－		－		人			
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★★ 達成された (100%以上)		施設に対する運営費の補助を適切に行った。										

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	02 目 児童措置費	119

事業名		01477 保育対策総合支援事業 保育対策総合支援事業				担当課	こども家庭課		事業期間	～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○保育所等業務効率化推進事業(保育所等におけるICT化推進等事業) 病児保育事業等の業務(予約・キャンセル等)のICT化を行うためのシステムの導入				
	地域の実情に応じた多様な保育需要に対応するため、小規模保育の設置等による保育の受け皿の確保や保育の担い手となる保育人材の確保に必要な措置を総合的に講ずることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行うことを目的とする。						【対象施設名】 ありまファミリークリニック しまうま保育室 300,000円				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	○医療的ケア児保育支援事業 保育所等における医療的ケア児の受入れ体制を整備し、地域生活支援の向上を図る事業		
	町内教育・保育施設		園		5		6	6			
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7	【対象施設名】 NOVAバイリンガル加美中新田保育園 1,543,000円		
	① 補助	園	5 5 100.0%		2 2 100.0%		1 - -				
	②		目標実績 達成率				- -				
	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算		
	事業費		792		6,040		6,040		1,843		
	事業のコスト(千円)	財源内訳	国庫支出金	792	4,026		4,026	1,228			
県支出金				882	882	257					
地方債											
その他											
一般財源				1,132	1,132	358					
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人						
正職員		人	-	-	人						
会計年度任用職員		人	-	-	人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		施設に対する補助を適切に行った。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	03 目 母子福祉費	119

事業名				01169 母子福祉費 母子父子医療費助成事業				担当課		こども家庭課		事業期間		H16 ～																																																																																																																																																																																																																																								
事業の概要	事業の説明及び目的							事業の内容	○支給対象者数(令和7年3月31日時点) ※受給該当ひとり親人数																																																																																																																																																																																																																																													
	ひとり親である保護者の医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図る。 高校卒業前の児童を養育しているひとり親の食事療養標準負担額及び、生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の一部を、一定の所得制限を設けて助成するもの。								<table><tr><td>国民健康保険</td><td>51 人</td></tr><tr><td>社会保険</td><td>158 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>209 人</td></tr></table> ※うち所得超過者33人							国民健康保険	51 人	社会保険	158 人	合計	209 人																																																																																																																																																																																																																																	
	国民健康保険	51 人																																																																																																																																																																																																																																																				
	社会保険	158 人																																																																																																																																																																																																																																																				
	合計	209 人																																																																																																																																																																																																																																																				
	事業の対象		単位		R5	R6	R7		○支給額、支給件数(償還払)																																																																																																																																																																																																																																													
	0歳～高校3年生(18歳)までの児童を養育しているひとり親		人	数量	219	209	受給者証の提示及び助成申請書の提出によって医療費自己負担分を軽減する。 ※1つの医療機関につき、1月あたり自己負担総額上限は外来1,000円、入院2,000円																																																																																																																																																																																																																																															
	成果指標名		単位		R5	R6	R7		<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>助成件数</th><th>総医療費</th><th>助成額</th></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">国民健康保険</td><td>入院</td><td>件</td><td>円</td><td>円</td></tr><tr><td>入院外</td><td>280 件</td><td>3,470,410 円</td><td>726,469 円</td></tr><tr><td rowspan="2">①</td><td rowspan="2">母子父子医療費金額</td><td rowspan="2">円</td><td>目標</td><td>3,921,115</td><td>2,614,989</td><td></td><td rowspan="2">社会保険</td><td rowspan="2">被保険者</td><td>入院</td><td>6 件</td><td>1,189,460 円</td><td>248,857 円</td></tr><tr><td>実績</td><td>3,921,115</td><td>2,614,989</td><td>-</td><td>入院外</td><td>668 件</td><td>7,560,290 円</td><td>1,571,516 円</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>達成率</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>-</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">被扶養者</td><td>入院</td><td>件</td><td>円</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>入院外</td><td>31 件</td><td>4,849,000 円</td><td>68,147 円</td></tr><tr><td colspan="2">②</td><td></td><td>目標</td><td></td><td></td><td>-</td><td colspan="5"><table><tr><td colspan="2"></td><td>985 件</td><td>17,069,160 円</td><td>2,614,989 円</td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td>実績</td><td></td><td></td><td>-</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td>達成率</td><td></td><td></td><td>-</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td rowspan="7">事業のコスト(千円)</td><td colspan="2">項 目</td><td>R5決算</td><td>R6当初予算</td><td>R6最終予算</td><td>R6決算</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>3,963</td><td>3,476</td><td>2,858</td><td>2,665</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td rowspan="4">財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>県支出金</td><td>1,960</td><td>1,704</td><td>1,395</td><td>1,307</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>地方債</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">一般財源</td><td>2,003</td><td>1,772</td><td>1,463</td><td>1,358</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">業務量</td><td>0.2 人</td><td>-</td><td>-</td><td>0.2 人</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">正職員</td><td>0.2 人</td><td>-</td><td>-</td><td>0.2 人</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">会計年度任用職員</td><td>人</td><td>-</td><td>-</td><td>人</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td rowspan="2">事業の成果</td><td colspan="2">成果の区分</td><td colspan="10">成果の説明</td></tr><tr><td colspan="2">★★★★★ 達成された (100%以上)</td><td colspan="10">ひとり親家庭の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境にし、生活の安定と自立を支援できた。 ※なお、この事業における目標は母子父子医療費該当者に漏れなく給付を行う事のため、上記目標値には母子父子医療費発生額、実績値には実際の支払額を記入している。そのため、現時点でR7年度の目標値は立てられないことから記入欄に「-」を表示している。</td></tr></table>							区分		助成件数	総医療費	助成額	国民健康保険		入院	件	円	円	入院外	280 件	3,470,410 円	726,469 円	①	母子父子医療費金額	円	目標	3,921,115	2,614,989		社会保険	被保険者	入院	6 件	1,189,460 円	248,857 円	実績	3,921,115	2,614,989	-	入院外	668 件	7,560,290 円	1,571,516 円				達成率	100.0%	100.0%	-		被扶養者	入院	件	円	円					入院外	31 件	4,849,000 円	68,147 円	②			目標			-	<table><tr><td colspan="2"></td><td>985 件</td><td>17,069,160 円</td><td>2,614,989 円</td></tr></table>							985 件	17,069,160 円	2,614,989 円				実績			-									達成率			-						事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						事業費		3,963	3,476	2,858	2,665						財源内訳	国庫支出金										県支出金	1,960	1,704	1,395	1,307						地方債										その他										一般財源		2,003	1,772	1,463	1,358						業務量		0.2 人	-	-	0.2 人						正職員		0.2 人	-	-	0.2 人						会計年度任用職員		人	-	-	人						事業の成果	成果の区分		成果の説明										★★★★★ 達成された (100%以上)		ひとり親家庭の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境にし、生活の安定と自立を支援できた。 ※なお、この事業における目標は母子父子医療費該当者に漏れなく給付を行う事のため、上記目標値には母子父子医療費発生額、実績値には実際の支払額を記入している。そのため、現時点でR7年度の目標値は立てられないことから記入欄に「-」を表示している。									
	区分		助成件数	総医療費	助成額																																																																																																																																																																																																																																																	
	国民健康保険		入院	件	円	円																																																																																																																																																																																																																																																
入院外			280 件	3,470,410 円	726,469 円																																																																																																																																																																																																																																																	
①	母子父子医療費金額	円	目標	3,921,115	2,614,989		社会保険	被保険者	入院	6 件	1,189,460 円	248,857 円																																																																																																																																																																																																																																										
			実績	3,921,115	2,614,989	-			入院外	668 件	7,560,290 円	1,571,516 円																																																																																																																																																																																																																																										
			達成率	100.0%	100.0%	-		被扶養者	入院	件	円	円																																																																																																																																																																																																																																										
									入院外	31 件	4,849,000 円	68,147 円																																																																																																																																																																																																																																										
②			目標			-	<table><tr><td colspan="2"></td><td>985 件</td><td>17,069,160 円</td><td>2,614,989 円</td></tr></table>							985 件	17,069,160 円	2,614,989 円																																																																																																																																																																																																																																						
		985 件	17,069,160 円	2,614,989 円																																																																																																																																																																																																																																																		
			実績			-																																																																																																																																																																																																																																																
			達成率			-																																																																																																																																																																																																																																																
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																																																																																																																																																																																																																																
	事業費		3,963	3,476	2,858	2,665																																																																																																																																																																																																																																																
	財源内訳	国庫支出金																																																																																																																																																																																																																																																				
		県支出金	1,960	1,704	1,395	1,307																																																																																																																																																																																																																																																
		地方債																																																																																																																																																																																																																																																				
		その他																																																																																																																																																																																																																																																				
	一般財源		2,003	1,772	1,463	1,358																																																																																																																																																																																																																																																
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人																																																																																																																																																																																																																																																	
正職員		0.2 人	-	-	0.2 人																																																																																																																																																																																																																																																	
会計年度任用職員		人	-	-	人																																																																																																																																																																																																																																																	
事業の成果	成果の区分		成果の説明																																																																																																																																																																																																																																																			
	★★★★★ 達成された (100%以上)		ひとり親家庭の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境にし、生活の安定と自立を支援できた。 ※なお、この事業における目標は母子父子医療費該当者に漏れなく給付を行う事のため、上記目標値には母子父子医療費発生額、実績値には実際の支払額を記入している。そのため、現時点でR7年度の目標値は立てられないことから記入欄に「-」を表示している。																																																																																																																																																																																																																																																			

区分		助成件数	総医療費	助成額	
国民健康保険		入院	件	円	
		入院外	280 件	3,470,410 円	726,469 円
社会保険	被保険者	入院	6 件	1,189,460 円	248,857 円
		入院外	668 件	7,560,290 円	1,571,516 円
	被扶養者	入院	件	円	円
		入院外	31 件	4,849,000 円	68,147 円
		985 件	17,069,160 円	2,614,989 円	

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				132

事業名		00855 未熟児養育医療給付費事業 未熟児養育医療給付費事業費				担当課	こども家庭課		事業期間	H25	～									
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○支給額、支給件数(現物給付) 養育医療券提示により、医療機関窓口での自己負担を軽減する。 <table><tr><td>件数</td><td colspan="2">5 件</td></tr><tr><td>総医療費</td><td colspan="2">12,823,960 円</td></tr><tr><td>助成額</td><td colspan="2">889,485 円</td></tr></table>					件数	5 件		総医療費	12,823,960 円		助成額	889,485 円	
	件数	5 件																		
	総医療費	12,823,960 円																		
	助成額	889,485 円																		
	医療を必要とする未熟児に対し、生後速やかに適切な医療の給付を行い、未熟児出産に伴う保護者の経済的負担の軽減を図る。 養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする1歳未満の未熟児に対し、その養育に必要な医療費の一部を給付するもの。																			
	事業の対象		単位		R5		R6	R7												
町内在住の出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した乳児		人	数量	7	5															
成果指標名		単位		R5	R6	R7														
①	未熟児養育医療費金額	円	目標実績達成率	3,026,984 3,026,984 100.0%	889,485 889,485 100.0%	- - -														
②			目標実績達成率			- -														
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算														
	事業費		3,433	7,061	1,837	1,159														
	財源内訳	国庫支出金	1,315	3,282	535	343														
		県支出金	657	1,641	268	171														
		地方債																		
		その他	753	495	495	134														
		一般財源	708	1,643	539	511														
	業務量		0.1 人	-	-	0.1 人														
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人															
会計年度任用職員		人	-	-	人															
事業の成果	成果の区分		成果の説明																	
	★★★★★ 達成された (100%以上)		入院養育を必要とする未熟児のいる家庭の経済的負担が軽減したことにより、未熟児を抱える母親及びその家族の精神的不安、経済的不安の軽減と生活の安定が図られた。 ※なお、この事業における目標は未熟児出産該当者に漏れなく未熟児養育医療費給付を行う事のため、上記目標値には医療費申請額、実績値には実際の支払額を記入している。そのため、現時点でR7年度の目標値は立てられないことから記入欄に「-」を表示している。																	

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	114

事業名			01165 児童福祉事業 児童虐待防止対策事業				担当課	こども家庭課(こども家庭センター)		事業期間	～
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	＊関係機関との連携・協働により、児童虐待の早期発見及び悪化防止を図るため、下記事業を実施した。 ＜児童家庭相談支援員の配置及び相談業務＞ ・随時、電話や訪問等で、母親・児童等の困り感に寄り添い、精神的負担の軽減を図るとともに、関係機関との情報共有に努め虐待の悪化防止に努めた。 ・発達に課題のある児童の増加や、養育能力の乏しい保護者も多く、状況によっては、公認心理師による検査・指導や、保健師による受診同行も実施した。 要保護世帯の相談延べ件数 747件 要支援世帯の相談延べ件数(DV含む) 1,341件 一般世帯相談延べ件数 1,106件 計3,194件 (関係機関との情報共有も含む) ＜加美町子育て支援・児童虐待防止対策連絡協議会の開催＞ ・児童相談所、福祉事務所、警察、法務局、医師、教育等の関係機関14名の委員で開催。 ・前年度の要保護世帯の状況、相談件数等の報告、子育て支援短期事業(ショートステイ)の実績ついて協議した。 ＜児童虐待防止対策実務者会議の開催＞ ・年3回、要保護児童に係る関係機関と情報共有や役割分担を明確にし、虐待の悪化防止に努めた。また状況が改善した世帯は要支援世帯として継続支援し経過を見守っている。 ・突発的な身体的虐待や、環境要因によるネグレクト、特定妊婦等の新規ケースも増加しつつある。世帯で管理するため、人数の変動は大きい。 4年度:14世帯 39名 5年度:8世帯 19名 6年度:12世帯 25名(各年度末) ・対応困難事例については個別支援会議・情報共有会を開催して役割分担を確認し、切れ目ない支援に努めた。(実9世帯9回 延べ12回) ＜虐待予防研修会の開催＞(県の事業を活用したため支出なし) ・「ヤングケアラーの理解と支援」と題し、地域での見守りについて講演会を実施した。 民生委員や、介護福祉関係や保育・教育関係者など45名が参加した。 ＜児童福祉審議会の実施＞ ・令和6年度の事業についての報告及び令和7年度の事業について審議した。			
	児童虐待の未然防止のため、関係機関での情報共有や、児童家庭相談支援員の体制強化及び専門性の向上を図る。										
	事業の対象		単位	数量	R5	R6					R7
	18歳未満の乳幼児及び児童				2,853	2,748					2,634
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6					R7
	①	要保護児童に対する支援割合	%		100	100					100
100					100	-					
②			100.0%	100.0%	-						
			目標 実績 達成率			- -					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		1,768	2,267	2,527	2,407					
	財 源 内 訳	国庫支出金	106	106		106					
		県支出金	106	979		873					
		地方債									
		その他									
		一般財源	1,556	1,182		1,428					
業務量		2.0 人	-	-	2.0 人						
正職員		1.0 人	-	-	1.0 人						
会計年度任用職員		1.0 人	-	-	1.0 人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		繰り返しの相談や声掛けにより、関係性を築くことができた。虐待のみでならず、母のメンタル不調や、不登校、子育てに対し、積極的なアドバイスを行うことにより、児童にとって良い環境となるよう働きかけた。また関係機関との情報共有も十分に行うことで、悪化防止ができ状況の改善も見られた。								

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	126

事業名				01323 母子保健事業 乳幼児健診事業				担当課		保健福祉課(こども家庭センター)		事業期間		H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	①新生児聴覚検査(宮城県医師会委託) 新生児がどの医療機関でも円滑に検査を受けられるように、宮城県医師会と委託契約を結び、5,000円を上限に検査費用を助成。里帰り出産等で県外の医療機関で検査を行った場合は、償還払いとする。 63件(うち償還払い2件) ②乳児一般健康診査等(宮城県医師会委託) 母子手帳交付時に乳児一般健康診査受診券(2か月・8か月)を交付している。3歳児健診の聴覚検査は健診場面で実施し、結果判定は大崎市の佐藤耳鼻科に依頼するが、契約は宮城県医師会に委託して実施している。 2か月児健診70件(うち償還払い1件)、8～9か月児健診65件、3歳児聴覚検査95件 ③集団健診・育児相談 7か月児育児相談、1歳児すこやか教室は、グループワークでの親子のふれあいや親同士の仲間づくりを目的に、手遊びや絵本の読み聞かせ、親子の自己紹介などを行った。					
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7								
	新生児から3歳児健診対象者まで		人		347	343									
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5	R6	R7								
	①	3歳児健診受診率			%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 - -							
		②			目標実績 達成率	- -									
項 目			R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算						
事業のコスト(千円)	事業費		7,989		7,548		6,830		6,320						
	財源内訳	国庫支出金	715												
		県支出金													
		地方債													
		その他													
	一般財源	7,274		7,548		6,830		6,320							
業務量		1.5 人		-		-		1.5 人							
正職員		1.1 人		-		-		1.1 人							
会計年度任用職員		0.4 人		-		-		0.4 人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	★★★★★ 達成された(100%以上)		未健者は虐待等のリスクも高い傾向にあるため、はがきや電話等で積極的に受健勧奨した。健診時には家庭状況の把握に務め、支援が必要と考えられる家庭へは、電話や訪問等で個別に支援を行った。 法定健診は100%の受診を目標に事業実施している。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	128

事業名		01326 母子保健事業 新生児訪問事業				担当課	保健福祉課(こども家庭センター)	事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○産婦・新生児訪問 ・産後2か月以内に自宅を訪問。児の発育発達の確認、母の育児不安の確認、予防接種や乳幼児健診についての説明などを実施。 ・産後ケア事業のパンフレットを配布し、事業の周知を図る。 ・支援が必要な母子は関係機関と連携しながら継続的に介入し、必要時産後ケア事業につなげる。 ・セルフプランを産婦と確認し、子育て期の目標の設定やサービスの紹介等を行う。 ・要支援妊婦や病院からサマリー送付があった母子は特に早期に訪問し支援する。 ・EPDS質問票のどの項目(うつ項目・育児不安項目)において高得点となっているかを確認し、個別性に合った支援につなげる。 ・支援計画を立てている産婦、EPDS高得点者は子育て支援検討会で共有し、今後の支援の方向性について検討する。 ・養育医療申請者7名に家庭訪問を実施 ・特に産後早期から乳房管理等についての不安の訴えがある産婦については、助産師による新生児訪問を実施し、より専門的な助言を行うことにより育児不安の軽減につなげる。 訪問家庭／対象家庭(割合)＝71／71(100%) フォロー産婦数／訪問産婦数(割合)＝19/71(26.7%) フォロー児数／訪問児数(割合)＝24/74(32.4%)※双子への訪問3件あり					
	母子保健法に基づき訪問指導事業を実施し、児の発育発達の確認、母の育児不安の軽減を図る。											
	事業の対象		単位	数量	R5						R6	R7
	出生の連絡があった新生児、乳児とその母親		件		74						74	74
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5						R6	R7
	①	訪問実施率	%		100						100	100
					100						100	-
②			100.0%	100.0%	-							
			目標 実績 達成率			- -						
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		193	276	168	117						
	財源内訳	国庫支出金	53	54	0	0						
		県支出金										
		地方債										
		その他										
	業務量		1.1 人	-	-	1.1 人						
正職員		1.1 人	-	-	1.1 人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★★ 達成された (100%以上)		出生連絡票提出の際に来所した産婦や父との面談で産婦健診の予定を把握することを通し、スムーズに新生児訪問につなげることができ児の発育発達の確認をすることができた。また、訪問での関わりを通し、母にとっての支援者の1人と認識いただき、不安に寄り添いながら相談を行った。継続相談を行うことで、母の育児不安の軽減を図った。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

預算科目	一般會計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	128

事業名		01327 母子保健事業 こども発達相談事業				担当課	保健福祉課(こども家庭センター)		事業期間	H15 ～		
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	＊3歳児健康診査時における個別相談(年8回) ・3歳児健康診査場面で、保護者から希望のあった場合や、母子関係や発達面など気になった母子に対して公認心理師との相談場面を設定し、個別性に沿ったアドバイスをするとともに、関係スタッフに対して今後の対応方法についての助言指導を行った。 8回実施 延べ11人 ・健診場面での相談の希望がない場合でも、継続して子どもの発達の確認が必要なケースについては、保護者の同意を得たうえで保育所、幼稚園での状況を確認し、保護者と共有しながら必要時相談につなげるよう支援した。 ＊来所相談 ・臨床心理士による相談機会を設定。 5回 実施 延べ6人 ・保護者から希望があった児に対し、来所による個別相談を行い、保護者・家族へ児の発達状況や家庭状況など、個別性に沿った助言指導を行う。 ・必要に応じて園等の関係機関との情報共有を行い、対象児に適した対応を共有した。 ＊随時の相談支援 心理師(士)の相談のみならず、健診場面や来所、電話等で未就学児の発達についての相談があった際は、保健師等が保護者の話を傾聴し、育児不安やストレスを軽減できるよう相談対応を行うことで保護者が前向きに育児に取り組めるよう支援した。				
	保護者や母子を支援する子育て支援関係者が子どもの発達や育児について心理発達の視点よりアドバイス・カウンセリングを得ることにより問題の解消、育児不安の軽減を図る。											
	事業の対象		単位	数量	R5	R6						R7
	未就学児		人		721	714						652
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6						R7
	①	相談延件数	件		13	17						-
②					-	-						
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		329	435	435	351						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金										
		地方債										
		その他										
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人							
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		3歳児健診場面で児の発達や育児の困り感について相談希望のあったケース、来所での発達相談を希望したケースについて臨床心理士、または公認心理師の面談を行い、育児不安の軽減を図ることができた。また、その後のケースフォローにもつながった。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(1)	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目	保健衛生総務費
				128

事業名				01328 母子保健事業 産前産後サポート事業				担当課		保健福祉課(こども家庭センター)		事業期間		H29 ～										
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	(1)産前産後サポート事業(委託先:ははこっこ助産院) 妊婦及び産婦の不安の軽減、また母体の健康管理の向上を図り、安心して出産、育児に望めることを目的に、助産師からの助言指導、個別相談等を行った。 ＊予約忘れの欠席と助産師の都合で開催しなかった月があり産前産後で実施回数が違う。 <table><tr><td>種別</td><td>実施回数</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>産前</td><td>10</td><td>21</td></tr><tr><td>産後</td><td>12</td><td>28</td></tr></table>						種別	実施回数	参加人数	産前	10	21	産後	12	28
	種別	実施回数	参加人数																					
	産前	10	21																					
	産後	12	28																					
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7																	
	妊産婦		人		149	153																		
成果指標名		単位	目標実績	R5	R6	R7																		
①	加美こっこ教室参加者の満足度(大変満足・やや満足の割合)			%	100 100	100 100	100 -																	
②	4か月健診参加産婦の産後ケア事業認知度		%	100 82	100 87	100 -																		
				達成率	100.0%	100.0%	-																	
				達成率	82.0%	87.0%	-																	
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																		
	事業費		735	1,827	1,165	835																		
	財源内訳	国庫支出金	314	785	531	531																		
		県支出金	100	447	192	64																		
		地方債																						
		その他																						
	一般財源	321	595	442	240																			
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人																			
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人																			
会計年度任用職員		人	-	-	人																			
事業の成果	成果の区分		成果の説明																					
	★★★★★ 達成された(100%以上)		事業へのニーズは初産、経産婦など妊産婦の個々の状況によって変わってくるが、育児不安など1人で不安を抱え込むことがないように、必要時に適切な事業にスムーズにつながることを目的として、母子健康手帳交付時面談をはじめ、様々な場面で周知を継続していく。事業を利用した妊産婦及び子育て世代からは不安解消につながったとの感想があり、妊産婦の不安軽減、及び前向きな育児につながった。 <table><tr><td>相談実人数</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td>4</td><td>11</td></tr></table> (実績報告後、国庫支出金返還あり)										相談実人数	延べ人数	4	11								
相談実人数	延べ人数																							
4	11																							

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	(3)	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	01 目 児童福祉総務費	116

事業名		01692 児童福祉事業 出産子育て応援事業				担当課	こども家庭課(こども家庭センター)		事業期間	R5.2 ～												
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	令和4年12月、国の第2次補正予算にて創設され、令和5年2月10日より継続実施している。令和6年4月1日以降の母子手帳交付者及び出産後の養育者に対し、面接相談を実施した他、出産・子育て応援給付金支給を行った。 (1) 伴走型相談支援 妊娠期からの相談として、母子手帳交付時の全数面談や妊娠8か月頃のアンケートを実施し、面談希望者や不安の記述の多い方に対し面談を行った。 出産後は全数産婦新生児訪問にて面談を行い、妊産婦の不安等に応じ、産科医療機関等の関係機関と連携しながら出産、育児に対する継続した支援を実施している。 (母子手帳交付時面談、産婦新生児訪問は母子保健事業において従来より実施) (2) 出産・子育て応援給付金支給 出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援として、妊娠届時の面談後に出産応援給付金(妊婦に対し5万)、出産後の産婦新生児訪問後に子育て応援給付金(子ども1人につき5万)を支給した。															
	妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ必要な支援につなぐための伴走型相談支援と、妊娠届や産婦新生児訪問の面談後に、出産育児関連の負担軽減を図る経済的支援(計10万円相当)を一体として実施することで、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うことを目的とする。																					
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7									
	R6年度、母子手帳交付者及び産婦面談後の養育者		人		148							150										
	成果指標名		単位	R5	R6							R7										
	①	母子健康手帳交付者に対する面談人数	人	目標 実績 達成率	75 75 100.0%							77 77 100.0%	77 - -									
	②	産婦新生児訪問対象人数に対する訪問人数	人	目標 実績 達成率	74 74 100.0%							71 71 100.0%	- - -									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	<table><tr><td>種別</td><td>対象人数</td><td>金額</td><td>給付方法</td></tr><tr><td>出産応援給付金</td><td>76人</td><td>妊婦1人につき 50,000円</td><td rowspan="2">現金給付 (口座振込)</td></tr><tr><td>子育て応援給付金 (実績報告後、国庫支出金返還あり)</td><td>76人</td><td>こども1人につき 50,000円</td></tr></table>					種別	対象人数	金額	給付方法	出産応援給付金	76人	妊婦1人につき 50,000円	現金給付 (口座振込)	子育て応援給付金 (実績報告後、国庫支出金返還あり)	76人	こども1人につき 50,000円
	種別	対象人数	金額	給付方法																		
	出産応援給付金	76人	妊婦1人につき 50,000円	現金給付 (口座振込)																		
	子育て応援給付金 (実績報告後、国庫支出金返還あり)	76人	こども1人につき 50,000円																			
	事業費		7,486	9,714	9,116	8,104																
	財源内訳	国庫支出金	5,665	6,456	5,521	5,521																
		県支出金	1,322	1,628	1,303	1,303																
地方債																						
その他																						
一般財源		499	1,630		1,280																	
業務量		0.4 人	-	-	0.4 人																	
正職員		0.3 人	-	-	0.3 人																	
会計年度任用職員		0.1 人	-	-	0.1 人																	
事業の成果	成果の区分		成果の説明																			
	★★★★★ 達成された (100%以上)		母子保健事業として従来から実施している母子手帳交付時面談、産婦新生児訪問の他、妊娠8か月頃のアンケートを実施しつつ、妊産婦のサポート事業である産前産後サポート事業につなぐなど、出産間近の妊婦の不安解消につながった。 また、現金給付での経済的支援を実施し、出産育児に要する金銭面の負担が軽減された。																			

種別	対象人数	金額	給付方法
出産応援給付金	76人	妊婦1人につき 50,000円	現金給付 (口座振込)
子育て応援給付金 (実績報告後、国庫支出金返還あり)	76人	子ども1人につき 50,000円	

総合計画	政 策	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	子育て支援の充実
	基本事業	子どもを健やかに育む環境づくりの推進

予算科目	一般会計			決算書
	04 款	01 項	01 目 保健衛生総務費	129

事業名			01753 母子保健事業 不妊検査・治療費助成事業				担当課	保健福祉課(こども家庭センター)		事業期間	R6 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	(1) 不妊検査費助成事業				
	不妊を心配する夫婦等が早期に不妊検査を受け、早期に適切な治療を開始することで、子どもを産み育てやすい環境をつくること、また、経済的負担軽減を図ることを目的とする。							不妊を心配する夫婦の両方が不妊検査を受けた場合に、費用の一部を助成する。令和6年4月1日以降に、夫婦が受けた検査で検査開始から原則1年以内に受けたものに対し夫婦1組につき上限30,000円を助成する。(妻の年齢が43歳まで)				
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	人数			
	申請者		人		11			不妊検査費申請数 7				
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5	R6		R7	人数			
	①	不妊検査費申請の助成決定度	%		100 100 100.0%			7 7				
	②	不妊治療費申請の助成決定度	%	100 100 100.0%								
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算						
	事業費		800		800	350						
	財源内訳	国庫支出金										
		県支出金	800		800	350						
		地方債										
		その他一般財源										
	業務量		人	-	-	0.1 人						
正職員		人	-	-	0.1 人							
会計年度任用職員		人	-	-	人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明									
	★★★★★ 達成された(100%以上)		令和6年8月に要綱を制定し、ホームページ・広報誌等で周知を図り、経済的負担軽減を図ることを目的に事業を実施した。不妊検査・治療費助成によって、早期に開始することができ、子どもを産み育てやすい環境をつくることができた。県の補助事業(10割)であり、今後も周知継続していく事業となっている。									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	3	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目 児童福祉総務費	120

事業名		00118 中新田児童館管理事業 中新田児童館管理事業				担当課		中新田児童館		事業期間		H15		～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○開館利用状況								
	児童の健全な遊びを通して児童の自主性、社会性及び創造性を高め次世代を担う児童が、心身ともに育つための環境づくりを行うとともに、地域組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成を推進する。						開館時間			平日：午前10時～午後6時まで 土曜日：午前9時～午後5時まで					
							休館日			日曜・祝日・年末年始					
							開館日数			299日					
							自由来館利用人数			1543人					
団体貸館利用者						721人(15団体)									
放課後児童クラブ延べ利用者			17,400人												
事業の概要	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7	○施設の維持管理業務							
	中新田児童館		施設		1	1	施設へ供給される燃料・電気・水道の管理 電気・水道								
	成果指標名		単位	目標実績達成率	R5	R6	R7	施設等の保守点検		施設警備・消防設備・電気設備・自動ドア 施設清掃・植木管理					
	①	開館日数	日		293	-	-	施設等の修繕		中新田児童館風除室外部木桶修繕工事 546,700円					
	②			目標実績達成率		-	-								
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算						
	事業費		3,797		3,989		3,989		3,715						
	財源内訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
その他															
	一般財源	200	500												
業務量		人	-	-	2.0 人										
正職員		人	-	-	人										
会計年度任用職員		人	-	-	人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
			・感染症対策や安全面を含め適切な施設管理を行い、安全で快適な施設環境を提供することができた。また、適切な施設管理を行い不備なく事業を行うことができた。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	3	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目 児童福祉総務費	120

事業名		00119 中新田児童館事業 中新田児童館放課後児童健全育成事業				担当課		中新田児童館		事業期間		H15 ～																																																																																																																																	
事業の概要	事業の説明及び目的					○中新田児童館放課後児童健全育成事業 (1) 開館状況 <table><tr><td>開館時間</td><td>・学校授業日 : 授業終了後から午後6時まで ・学校休業日 : 午前7時30分から午後6時まで ・延長実施時間 : 午後7時まで(有料) ・土曜日利用 : 使用申請がある者(中新田地区は中新田児童館へ集約し開館)</td></tr><tr><td colspan="2">開館日数</td><td colspan="7">299日 (休館日: 年末年始・祝日)</td></tr></table> (2) 登録児童数(R6.3.31現在) (単位: 人) <table><tr><td></td><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>4年生</td><td>5年生</td><td>6年生</td><td>中小以外</td><td>合計</td></tr><tr><td>登録人数</td><td>36</td><td>30</td><td>29</td><td>4</td><td>6</td><td>3</td><td>8</td><td>116</td></tr><tr><td>延べ利用人数</td><td>6,370</td><td>4,912</td><td>4,655</td><td>320</td><td>602</td><td>506</td><td>35</td><td>17,400</td></tr></table> (3) 運営に係る職員配置: 会計年度任用職員(R6.3.31現在) (単位: 人) <table><tr><td colspan="2">児童館指導員</td><td colspan="2">7時間勤務</td><td colspan="2">1人</td></tr><tr><td colspan="2">放課後児童支援員</td><td colspan="2">5時間勤務</td><td colspan="2">3人</td></tr><tr><td colspan="2">放課後児童支援補助員</td><td colspan="2">5時間勤務</td><td colspan="2">3人</td></tr></table> (4) 主な事業内容 <table><tr><td>月</td><td>事業名</td><td>人数</td><td>月</td><td>事業名</td><td>人数</td><td>月</td><td>事業名</td><td>人数</td></tr><tr><td>4</td><td>こいのぼり制作</td><td>40</td><td>8</td><td>水遊び</td><td>125</td><td>12</td><td>食育講座</td><td>47</td></tr><tr><td>4</td><td>ゲーム大会</td><td>49</td><td>8</td><td>ブラネタリウム鑑賞会</td><td>73</td><td>2</td><td>節分ゲーム</td><td>78</td></tr><tr><td>6</td><td>花いっぱい活動</td><td>52</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>ニュースポーツ</td><td>65</td></tr><tr><td>6</td><td>映画鑑賞会</td><td>30</td><td>10</td><td>健康教室</td><td>46</td><td>6</td><td>避難訓練(地震)</td><td>91</td></tr><tr><td>7</td><td>七夕制作</td><td>59</td><td>10</td><td>ハロウィン</td><td>73</td><td>9</td><td>避難訓練(火災)</td><td>78</td></tr><tr><td>7</td><td>影絵制作</td><td>63</td><td>10</td><td>ジュニアリーダ交流</td><td>8</td><td>11</td><td>防犯訓練</td><td>91</td></tr><tr><td>7</td><td>影絵鑑賞体験</td><td>39</td><td>11</td><td>劇団公演委託</td><td>50</td><td>1</td><td>児童館引き渡し訓練</td><td>109</td></tr></table>								開館時間	・学校授業日 : 授業終了後から午後6時まで ・学校休業日 : 午前7時30分から午後6時まで ・延長実施時間 : 午後7時まで(有料) ・土曜日利用 : 使用申請がある者(中新田地区は中新田児童館へ集約し開館)	開館日数		299日 (休館日: 年末年始・祝日)								1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中小以外	合計	登録人数	36	30	29	4	6	3	8	116	延べ利用人数	6,370	4,912	4,655	320	602	506	35	17,400	児童館指導員		7時間勤務		1人		放課後児童支援員		5時間勤務		3人		放課後児童支援補助員		5時間勤務		3人		月	事業名	人数	月	事業名	人数	月	事業名	人数	4	こいのぼり制作	40	8	水遊び	125	12	食育講座	47	4	ゲーム大会	49	8	ブラネタリウム鑑賞会	73	2	節分ゲーム	78	6	花いっぱい活動	52				3	ニュースポーツ	65	6	映画鑑賞会	30	10	健康教室	46	6	避難訓練(地震)	91	7	七夕制作	59	10	ハロウィン	73	9	避難訓練(火災)	78	7	影絵制作	63	10	ジュニアリーダ交流	8	11	防犯訓練	91	7	影絵鑑賞体験	39	11	劇団公演委託	50	1	児童館引き渡し訓練	109
	開館時間	・学校授業日 : 授業終了後から午後6時まで ・学校休業日 : 午前7時30分から午後6時まで ・延長実施時間 : 午後7時まで(有料) ・土曜日利用 : 使用申請がある者(中新田地区は中新田児童館へ集約し開館)																																																																																																																																											
	開館日数		299日 (休館日: 年末年始・祝日)																																																																																																																																										
		1年生	2年生	3年生	4年生									5年生	6年生	中小以外	合計																																																																																																																												
	登録人数	36	30	29	4									6	3	8	116																																																																																																																												
延べ利用人数	6,370	4,912	4,655	320	602	506	35	17,400																																																																																																																																					
児童館指導員		7時間勤務		1人																																																																																																																																									
放課後児童支援員		5時間勤務		3人																																																																																																																																									
放課後児童支援補助員		5時間勤務		3人																																																																																																																																									
月	事業名	人数	月	事業名	人数	月	事業名	人数																																																																																																																																					
4	こいのぼり制作	40	8	水遊び	125	12	食育講座	47																																																																																																																																					
4	ゲーム大会	49	8	ブラネタリウム鑑賞会	73	2	節分ゲーム	78																																																																																																																																					
6	花いっぱい活動	52				3	ニュースポーツ	65																																																																																																																																					
6	映画鑑賞会	30	10	健康教室	46	6	避難訓練(地震)	91																																																																																																																																					
7	七夕制作	59	10	ハロウィン	73	9	避難訓練(火災)	78																																																																																																																																					
7	影絵制作	63	10	ジュニアリーダ交流	8	11	防犯訓練	91																																																																																																																																					
7	影絵鑑賞体験	39	11	劇団公演委託	50	1	児童館引き渡し訓練	109																																																																																																																																					
事業の対象		単位	R5		R6	R7																																																																																																																																							
中新田放課後児童クラブ利用者(利用定員数)		人	数量	110	110																																																																																																																																								
成果指標名		単位	R5		R6	R7																																																																																																																																							
①	児童クラブ登録者数	人	目標実績	110 138	110 116	-																																																																																																																																							
			達成率	125.5%	105.5%	-																																																																																																																																							
②			目標実績			-																																																																																																																																							
			達成率			-																																																																																																																																							
事業の コスト (千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算																																																																																																																																							
	事業費		12,580	17,037	16,537	15,940																																																																																																																																							
	財 源 内 訳	国庫支出金		1,981																																																																																																																																									
		県支出金		1,981																																																																																																																																									
		地方債																																																																																																																																											
		その他		2,687																																																																																																																																									
		一般財源	12,580	10,388		15,940																																																																																																																																							
業務量		人	-	-	2.0 人																																																																																																																																								
正職員		人	-	-	人																																																																																																																																								
会計年度任用職員		人	-	-	人																																																																																																																																								
事業の 成果	成果の区分		成果の説明																																																																																																																																										
			・放課後児童支援員が児童の安全確保や管理に努め、遊びや仲間づくりを支援することが出来た。また、保護者の様々な就労形態にも対応し、児童の安全な居場所を提供した。そのことにより、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができる環境を支援することが出来た。 ・入退室管理ができるアプリ「コードモン」の活用により、安全管理の向上や保護者へのスムーズな連絡等に役立てることができている。																																																																																																																																										

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目 児童福祉総務費	121

事業名		00120 鳴瀬児童館事業 鳴瀬児童館放課後児童健全育成事業										担当課		中新田児童館				事業期間		～								
事業の概要	事業の説明及び目的														○鳴瀬児童館放課後児童健全育成事業													
	小学校児童で保護者の労働等の理由により、放課後、家庭において適切な保護を受けることが出来ない児童に対して、公共施設を利用し適切な遊びと生活の場を与えるなどの指導を行い、児童の健全育成を図る。														(1)開館状況													
			開館時間		・学校授業日 :授業終了後から午後6時まで ・学校休業日 :午前7時30分から午後6時まで ・延長実施時間 :午後7時まで(有料) ・土曜日利用 :使用申請がある者(中新田地区は中新田児童館へ集約し開館)																							
					開館日数				249日(休館日:年末年始・祝日)																			
	(2)登録児童数(R6.3.31現在)														(単位:人)													
			1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		鳴小以外		合計											
	登録人数		7		5		9		5		5		9		2		40											
	延べ利用人数		1,278		1,064		1,680		604		517		927		64		6,134											
(3)運営に係る職員配置:会計年度任用職員(R6.3.31現在)														(単位:人)														
				児童館指導員				7時間勤務				2人																
				放課後児童支援員				5時間勤務																				
				放課後児童支援補助員				5時間勤務				2人																
事業の コスト (千円)	項 目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算		(4)主な事業内容																	
	事業費		6,035		7,525		9,905		9,721		(単位:人)																	
	財 源 内 訳	国庫支出金			1,258						月		事業名		人		月		事業名		人		月		事業名		人	
		県支出金			1,258						4		けん玉制作		18		9		カード制作		16		2		節分ゲーム		29	
		地方債									6		花いっぱい活動		12		10		ハロウィン制作		24		3		ひな祭り制作		12	
		その他			1,372						7		七夕制作		20		10		ハロウィン		27		7		食育セミナー公民館		20	
		一般財源	6,035		3,637				9,721		7		交通安全教室		15		11		ニュースポーツ		16		6		避難訓練(地震)		6	
	業務量	人		-		-		2.0 人		8		プラネタリウム鑑賞		22		12		クリスマス制作		26		12		避難訓練(火災)		11		
正職員	人		-		-		人		8		なるせ縁日		27		12		食育講座		14		12		防犯訓練		28			
会計年度任用職員	人		-		-		人		8		夏休み制作		16		1		健康教室		26		1		引き渡し訓練		30			
事業の 成果	成果の区分		成果の説明																									
			・放課後児童支援員が児童の安全確保や管理に努め、遊びや仲間づくりを支援することが出来た。また、保護者の様々な就労形態にも対応し、児童の安全な居場所を提供した。そのことにより、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができる環境を支援することが出来た。 ・入退室管理ができるアプリ「コードモン」の活用により、安全管理の向上や保護者へのスムーズな連絡等に役立てることができている。																									

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	3	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目	児童福祉総務費 122

事業名		01120 広原児童館管理事業 広原児童館管理事業				担当課		中新田児童館		事業期間		H15		～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○開館利用状況								
	児童の健全な遊びを通して児童の自主性、社会性及び創造性を高め次世代を担う児童が、心身ともに育つための環境づくりを行うとともに、地域組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成を推進する。						○施設の維持管理業務								
							開館時間			平日：午前10時～午後6時まで					
							休館日			土曜・日曜・祝日・年末年始					
							開館日数			249日					
							自由来館利用人数			610人					
							団体貸館利用者			8人(1団体)					
	放課後児童クラブ延べ利用者			7,735人											
	施設へ供給される燃料電気・水道の管理			電気・水道・ガス・灯油											
	施設等の保守点検			施設警備・消防設備・電気設備・自動ドア 施設清掃・植木管理											
施設等の修繕			なし												
事業のコスト（千円）	項目		R5決算		R6当初予算		R6最終予算		R6決算						
	事業費		1,545		1,628		1,628		1,571						
	財源内訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他一般財源	1,545		1,628				1,571						
業務量		人		-		-		2.0 人							
	正職員		人		-		-		人						
	会計年度任用職員		人		-		-		人						
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
			・感染症対策や安全面を含め適切な施設管理を行い、安全で快適な施設環境を提供することができた。また、適切な施設管理を行い不備なく事業を行うことができた。												

総合計画	政 策	2	健やかで笑顔あふれるまち
	施 策	5	子育て支援の充実
	基本事業	3	地域の子育て支援の充実

予算科目	一般会計			決算書
	03 款	02 項	04 目 児童福祉総務費	123

事業名		00632 広原児童館事業 広原児童館放課後児童健全育成事業				担当課	中新田児童館		事業期間	H15 ～					
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○広原放課後児童健全育成事業								
	小学校児童で保護者の労働等の理由により、放課後、家庭において適切な保護を受けることが出来ない児童に対して、公共施設を利用し適切な遊びと生活の場を与えるなどの指導を行い、児童の健全育成を図る。						(1)開館状況								
	開館時間		・学校授業日 :授業終了後から午後6時まで ・学校休業日 :午前7時30分から午後6時まで ・延長実施時間 :午後7時まで(有料) ・土曜日利用 :使用申請がある者(中新田地区は中新田児童館へ集約し開館)												
	開館日数		249日(休館日:年末年始・祝日)												
	(2)登録児童数(R6.3.31現在)						(単位:人)								
			1年生	2年生	3年生		4年生	5年生	6年生	広小以外	合計				
	登録人数		12	14	11		5	9	6		57				
	延べ利用人数		1,884	2,302	1,354		453	1,207	535		7,735				
	(3)運営に係る職員配置:会計年度任用職員(R6.3.31現在)						(単位:人)								
	児童館指導員		7時間勤務				2人								
放課後児童支援員		5時間勤務				1人									
放課後児童支援補助員		5時間勤務				1人									
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	(4)主な事業内容								
	事業費		7,383	9,209	10,359	10,092	(単位:人)								
	財源内訳	国庫支出金		1,258			月	事業名	人	月	事業名	人	月	事業名	人数
		県支出金		1,258			4	こいのぼり制作	36	8	シャボン玉遊び	25	1	節分制作・ゲーム	40
		地方債					5	お話会	16	8	プラネタリアム鑑賞会	26	1	ニューススポーツ	26
		その他		1,421			5	梅雨制作	27	10	ハロウィン制作	44	12	避難訓練(地震)	11
		一般財源	7,383	5,272		10,092	6	花いっぱい活動	39	11	健康教室	25	9	避難訓練(火災)	23
	業務量		人	-	-	2.0 人	6	ステンドグラス制作	59	11	ベガルタサッカー教室	35	11	防犯訓練	22
	正職員		人	-	-	2.0 人	7	交通安全教室	6	12	食育講座	24	1	児童館引き渡し訓練	35
	会計年度任用職員		人	-	-	人	8	こども縁日	25						
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
			・放課後児童支援員が児童の安全確保や管理に努め、遊びや仲間づくりを支援することが出来た。また、保護者の様々な就労形態にも対応し、児童の安全な居場所を提供した。そのことにより、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができる環境を支援することが出来た。 ・入退室管理ができるアプリ「コードモン」の活用により、安全管理の向上や保護者へのスムーズな連絡等に役立てることができている。												

・放課後児童支援員が児童の安全確保や管理に努め、遊びや仲間づくりを支援することが出来た。また、保護者の様々な就労形態にも対応し、児童の安全な居場所を提供した。そのことにより、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができる環境を支援することが出来た。

・入退室管理ができるアプリ「コードモン」の活用により、安全管理の向上や保護者へのスムーズな連絡等に役立てることができている。

総合計画	政 策	6	住民と行政の協働による自立したまち
	施 策	6	健全な財政運営の推進
	基本事業	(4)	財政基盤の強化

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	04 目	会計管理費
				60

事業名		00011 会計管理事業 会計管理事業				担当課	会計課		事業期間	H15	～		
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	○歳入・歳出事務 各課からの支出命令書について、請求書等の添付書類に基づき、内容に誤りなく適正な支出を行っているか、審査及び出納を行っている。また、調定も同様に誤りがなければ確認し、公金の適正な管理運営を図っている。 【窓口取扱い件数】 15,167 件 【審査・支払い件数】 31,937 件 内訳： 口座振替 24,959件 窓口払い 3,932件 FB払い 3,046件						
	公金の適正な管理運営を図る。												
	事業の対象		単位	数量	R5							R6	R7
	職員及び債権者、納入義務者		件		-							-	
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5							R6	R7
	①	更正件数 (収入・支出)	件		-							255	413
	②			目標 実績 達成率									- -
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		1,014	3,789	3,796	3,204							
	財 源 内 訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他 一般財源	1,014	3,789		3,204							
業務量		0.2 人	-	-	0.2 人								
	正職員		0.2 人	-	-	0.2 人							
	会計年度任用職員		人	-	-	人							
	成果の区分		成果の説明										
事業の成果	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		迅速かつ正確な歳入歳出の処理を行うことができた。										

総合計画	政 策	6	住民と行政の協働による自立したまち
	施 策	5	効率的な行政運営の推進
	基本事業	(1)	行政改革の推進

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	08 目 支所費	69

事業名		00026 小野田支所管理事業 小野田支所管理事業				担当課	小野田支所		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	小野田支所庁舎の適切な維持管理を行い、窓口対応を通じて住民サービスの向上に務めた。				
	来庁される住民の方や職員が勤務している支所庁舎において、常に安心安全に利用できることを目的として、庁舎の維持管理を行っている。						●職員人件費 会計年度職員2名(報酬、職員手当等及び旅費) 5,255,756円				
							●需用費				
							・修繕料 庁舎等施設修繕及び公用車車検時修繕等 (トイレ修繕等) 566,067円				
							●委託料 10,089,686円				
							・施設管理委託料(高置水槽清掃、暖房機保守点検) 139,700円				
							・施設警備委託料(機械警備業務) 417,120円				
							・消防設備管理委託料(消防設備点検業務 年2回) 110,000円				
							・電気設備管理委託料(電気工作物保安管理業務) 160,248円				
							・施設清掃委託料(日常清掃 4時間/1日/1人) 1,117,778円				
					・ " (定期清掃業務 床清掃/年3回、窓清掃/年2回、カーペット清掃/年1回) 677,600円						
					・宿日直業務委託料(常駐警備業務 警備員1名) 7,467,240円						
					●備品購入費						
					・施設管理用備品(消火器) 19,620円						
事業の コスト (千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		26,920	22,033	23,176	22,828					
	財 源 内 訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他	5,710	2	2	3					
	一般財源	21,210	22,031	23,174	22,825						
業務量		3.9 人	-	-	1.6 人						
正職員		2.9 人	-	-	1.3 人						
会計年度任用職員		1.0 人	-	-	0.3 人						
事業の 成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		良好な支所庁舎となるように、適切な施設管理が図られた。								

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	7	公園・緑地の整備
	基本事業	(1)	公園整備事業の推進

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	01 項	02 目 公園管理費	
				182

事業名			01396 公園管理事業(小野田地区) 公園管理事業(小野田地区)				担当課	小野田支所		事業期間	～
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	公園緑地の芝刈りや除草等に係る管理業務について、業者及び地区団体への委託し維持管理を実施した。 管理している公園 河川公園(下野目ふれあいの岸部) 公園緑地(小野田中央児童公園) 公園緑地(小野田中央緑地公園) 公園緑地(下原中央緑地公園) 下夕川原親水公園 南鹿原農村公園 石神スポーツ広場 いわなの里湖畔公園 事業経費 報酬(会計年度任用職員1名) 222,410円 需用費(公園の維持管理に伴う消耗品、修繕費等) 176,177円 委託料(公園管理、浄化槽管理) 10,206,100円 使用料及び賃借料(作業用機械借上料) 40,095円 工事請負費(修繕工事等) 小野田中央児童公園遊具設計・設置工事 6,930,000円 小野田中央緑地公園藤棚修繕工事 495,000円 備品購入費(施設管理用備品) 乗用草刈機 595,098円			
	すでに整備された公園を、子どもや高齢者をはじめ誰でもが安全で安心して利用できる公園として管理することを目的としています。										
	事業の対象		単位	数量	R5	R6					R7
	旧小野田町内の公園		公園		8	8					8
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6					R7
	①	公園の維持	公園		8	8					8
					8	8					-
②			達成率	100.0%	100.0%	-					
			目標 実績 達成率			-					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		11,347	19,098	19,219	18,665					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債		7,400	6,900	6,900					
		その他	190								
	一般財源		11,157	11,698	12,319	11,765					
業務量		0.8 人	-	-	0.8 人						
事業の成果	正職員		0.1 人	-	-	0.1 人					
	会計年度任用職員		0.7 人	-	-	0.7 人					
	成果の区分		成果の説明								
★★★★★ 達成された (100%以上)		公園の芝刈・除草、公園内の施設の点検管理を適正に行い、誰でも安全で安心して利用できる公園として管理を行った。									

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	3	総合的な交通体系の整備
	基本事業	(2)	生活関連道路網の整備

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	186

事業名		00846 道路維持事業(小野田地区) 道路維持事業(小野田地区)				担当課		小野田支所		事業期間		～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	定期的にパトロールを行い、道路の舗装補修等、適切な維持補修を実施。 小野田地区管理道路 路線数381路線 実延長312km						
	地域住民の日常経済活動等に必要な、町道及び生活道の交通を確保することを目的とする。						事業経費 報酬・手当等(会計年度任用職員3名) 4,043,570円 需用費(道路維持に伴う消耗品、燃料費、修繕費等) 5,360,550円 役務費(車検時手数料等) 429,050円 委託料 除草業務委託料 地区委託16件 4,158,000円 支障木伐採業務委託料 月崎地内 237,600円 使用料及び賃借料(重機等借上) 788,582円 工事請負費(町道修繕工事等) 町道上中嶋高城線付帯工事 583,000円 町道月崎川底線舗装修繕工事 550,000円 町道月崎見当線舗装修繕工事 1,034,000円 町道サンホーム東線下水道マンホール修繕工事 398,530円 原材料費(道路補修用資材) 1,814,183円 備品購入費(歩行型草刈機購入) 276,428円 公課費(公用車重量税2台分) 58,800円						
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7					
	所管区域は旧小野田町の区域		km		312		312	312					
	成果指標名		単位	目標実績 達成率	R5		R6	R7					
	①	道路交通安全の確保 km			312 312 100.0%		312 312 100.0%	312 － －					
	②			目標実績 達成率				－ －					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算							
	事業費		20,063	20,971	20,549	19,733							
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他 一般財源		2,000									
業務量		1.4 人	－	－	1.4 人								
	正職員		0.3 人	－	－	0.3 人							
	会計年度任用職員		1.1 人	－	－	1.1 人							
	成果の区分		成果の説明										
事業の成果	★★★★★ 達成された(100%以上)		日頃からパトロールを行い、損傷個所の把握や落下物・動物の死骸など交通の支障をきたす物の撤去、路肩の除草作業を行い、良好な道路管理を行った。										

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	3	総合的な交通体系の整備
	基本事業	(3)	冬期の交通の確保

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	
				187

事業名				00847 除雪事業（小野田地区） 除雪事業（小野田地区）				担当課		小野田支所		事業期間		～	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	冬期間の道路交通の確保のため、町道・生活道及び歩道について、直営・委託等で除雪体制を整え、除雪業務を実施した。 また、地吹雪等で見通しの悪い箇所については、防雪柵立込収納及び簡易防雪柵設置撤去業務の委託を実施した。 除雪対象路線 200路線 除雪延長L＝124.3km 除雪人員体制 除雪直営3名 除雪委託（7業者・個人6名） 出勤日数 11月：8回 12月：18回 1月：16回 2月：20回 3月：8回 計70回 事業経費 報酬・手当等(会計年度職員3名) 3,686,464円 需用費(除雪業務に伴う消耗品、燃料費、修繕費等) 14,376,783円 役務費(車検時手数料等) 396,970円 委託料 除雪作業委託料 7業者及び6名へ委託 25,919,087円 防雪柵建込収納業務委託料 町道25路線 収納・撤去 L＝9,369m 16,225,000円 町道26路線 建込・設置 L＝9,606m 21,780,000円 防雪柵建込に伴う除草作業(照井浦地内) 279,400円 使用料及び賃借料(重機借上) 49,500円 備品購入費 車両搭載用アルミブリッジ 56,650円 タイヤドーザーバッテリー 122,650円 除雪トラック(7t級) 39,600,000円 公課費(公用車重量税1台分) 100,800円					
	地域住民の日常経済活動等に必要な、町道及び生活道の交通を確保することを目的とする。														
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7								
	所管区域は旧小野田町の区域		km		124	124	124								
	成果指標名		単位	数量	R5	R6	R7								
	①	冬期間の道路交通安全の確保	km		目標 実績 達成率	124 124 100.0%	124 124 100.0%	124 － －							
②			目標 実績 達成率			－ － －									
事業のコスト（千円）	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算									
	事業費		62,062	119,194	129,425	122,594									
	財 源 内 訳	国庫支出金				5,174									
		県支出金													
		地方債		43,500	39,500	39,500									
		その他													
	一般財源		62,062	75,694	89,925	77,920									
業務量		10.7 人	－	－	10.7 人										
事業の成果	正職員		0.5 人	－	－	0.5 人									
	会計年度任用職員		10.2 人	－	－	10.2 人									
	成果の区分		成果の説明												
★★★★★ 達成された (100%以上)		積雪量が10cm以上観測された時、または除雪担当責任者がパトロールし、気象通報などの情報を総合判断し、除雪の必要があると認めたときに作業を実施。 例年より降雪量は多かったが、早朝時間帯の除雪作業はおおむね滞りなく終了した。また、日中に排雪作業などを行い、車道幅員の確保にも努めた。 防雪柵の建込、収納作業についても滞りなく行った。													

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	4	交通安全対策の充実
	基本事業	(2)	交通安全施設の整備促進

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	187

事業名		01589 道路交通安全施設整備事業(小野田地区) 道路交通安全施設整備事業(小野田地区)				担当課		小野田支所		事業期間		～		
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	小野田地区内における交通安全確保を図るため、町道区画線の摩耗個所の更新を行った。 実施路線 6路線 延長距離 L=5,800m 町道役場前線 中心線(破線)15cm L=1,129m 町道小瀬北の口線 中心線(破線)15cm L=2,240m 町道上野目中の内線 中心線(破線)15cm L= 420m 町道出都滝庭線 中心線(破線)15cm L= 640m 町道三杉川底線 中心線(破線)15cm L= 500m 町道源城滝庭線 中心線(破線)15cm L= 471m、中心線(実線)15cm L=400m、 事業経費 委託料(区画線設置工事) 2,910,600円						
	交通安全施設の維持補修を行い、交通環境を改善することにより、交通の安全を図る。													
	事業の対象		単位	数量	R5	R6								R7
	小野田地区内の町道		km		312	312								312
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6								R7
	①	センターライン	m		5,000 3,170 63.4%	5,000 5,800 116.0%								5,000 - -
②			目標 実績 達成率			- -								
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
	事業費		3,072	2,957	2,957	2,911								
	財 源 内 訳	国庫支出金												
		県支出金												
		地方債												
		その他												
	一般財源	3,072	957	2,957	2,911									
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人									
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人									
会計年度任用職員		人	-	-	人									
事業の成果	成果の区分		成果の説明											
	★★★★★ 達成された (100%以上)		道路の消えかかったセンターライン等の引き直しを行い交通環境の維持を行った。											

総合計画	政 策	6	住民と行政の協働による自立したまち
	施 策	5	効率的な行政運営の推進
	基本事業	(3)	庁舎等公共施設の整備・再編

予算科目	一般会計			決算書
	02 款	01 項	08 目 支所費	70

事業名				00027 宮崎支所管理事業 宮崎支所管理事業				担当課		宮崎支所		事業期間		H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的								事業の内容	宮崎支所庁舎の利用者並びに職員の勤務環境維持のため、設備等の維持管理及び破損箇所の修繕等を実施した。					
	良好な住民サービス機能並びに職員の執務環境維持のため、支所庁舎の維持管理・改善を行っている。									事業経費 職員人件費 会計年度職員1名分(報酬、職員手当等及び旅費) 2,801,018円 需用費 300,472円 ・修繕料(1階サーバ室エアコン室外機等修繕) 300,472円					
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7								
	町民		人		21,629	21,232	20,782								
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5	R6	R7								
	①	良好な庁舎環境等の維持管理業務			件	11 11 100.0%	12 12 100.0%	12 - -							
②					件	目標 実績 達成率		- - -							
	事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算								
事業費		26,520	27,076	40,883	40,147										
財 源 内 訳		国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他	4,350	846		10,400									
一般財源		22,170	26,230		29,747										
業務量		5.0 人	-	-	5.0 人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	★★★★★ 達成された (100%以上)		良好な支所庁舎利用環境の維持のため、適切な施設管理が図られた。												

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	7	公園・緑地の整備
	基本事業	(1)	公園整備事業の推進

預算科目	一般會計			決算書
	08 款	01 項	02 目 公園管理費	183

事業名		01397 公園管理事業(宮崎地区) 公園管理事業(宮崎地区)				担当課	宮崎支所		事業期間	H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	公園施設や除草等の管理業務を業者及び地区団体へ委託し、維持管理を実施した。				
	地域住民の身体的・精神的健康増進を推進し、大人から子どもまで安心して利用できるよう公園の維持管理を実施した。						管理実施公園 ・美代川公園 ・清流公園 ・オの神ふるさと公園				
	事業の対象		単位	数量	R5		R6	R7	事業経費		
	宮崎地区の公園		箇所		3		3	3	需用費 3,337円 ・消耗品費(トイレットペーパー等) 3,337円		
	成果指標名		単位	目標 実績 達成率	R5		R6	R7	委託料 4,930,680円 ・美代川(公園管理・植栽剪定作業 業者委託5件・地区団体委託3件) 1,714,080円 ・清流公園(除草作業 業者委託1件) 257,600円 ・オの神ふるさと公園(公園管理 地区団体委託1件) 341,000円 ・美代川浚渫業務(宮前橋～大手橋) 2,618,000円		
	①	宮崎地区公園の維持管理	箇所		3 3 100.0%		3 3 100.0%	3 － －			
②						－ －					
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算					
	事業費		5,180	5,165	5,058	4,935					
	財源内訳	国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他	3,070	2,687		2,600					
一般財源	2,110	2,478		2,335							
	業務量		0.1 人	－	－	0.1 人					
	正職員		0.1 人	－	－	0.1 人					
	会計年度任用職員		人	－	－	人					
事業の成果	成果の区分		成果の説明								
	★★★★★ 達成された (100%以上)		安全な公園利用環境の確保のため、適正な維持管理業務が図られた。								

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	3	総合的な交通体系の整備
	基本事業	(2)	生活関連道路網の整備

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	188

事業名		00849 道路維持事業(宮崎地区) 道路維持事業(宮崎地区)				担当課		宮崎支所		事業期間		H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	宮崎地区内町道等の巡回パトロールを定期的に行い、異常箇所等の維持補修を行うなど、必要な措置を実施した。						
	地域住民の道路交通の確保のため、町道・生活道等について、道路維持業務を実施。						宮崎地区管理道路 路線数227路線 実延長212km						
	事業の対象		単位		R5		R6	R7	事業経費				
	宮崎支所管内対象路線距離	km	数量	212	212		212	報酬・手当等(会計年度任用職員1名 4月～11月) 1,866,000円					
	成果指標名		単位		R5		R6	R7	需用費 5,262,838円				
	①	道路交通安全の確保	km	目標 実績 達成率	212 212 100.0%		212 212 100.0%	212 - -	・消耗品費(デリネーター、除草剤等) 1,154,803円 ・燃料費(道路維持車両等燃料) 1,021,171円 ・修繕料(町道土手川線歩道修繕等) 3,086,864円				
	②			目標 実績 達成率				- - -	役務費(道路維持業務に伴う手数料、自動車保険料等) 337,030円				
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	委託料 4,986,600円						
	事業費		16,585	15,854	15,300	16,500	・町道除草業務委託(業者委託1件・地区団体委託19件) 3,666,600円 ・支障木伐採業務委託(町道台ノ原・小台線 L=400m) 1,320,000円						
	財源内訳	国庫支出金					使用料及び賃借料(道路維持業務に係る車両借上料) 464,585円						
		県支出金					工事請負費 2,494,800円						
		地方債					・町道天王・鳥嶋線路肩改良工事 2,164,800円						
		その他		2,000		2,000	・町道西原・南永志田線舗装修繕工事 330,000円						
	一般財源	16,585	13,854		14,500	原材料費(舗装補修用合材、碎石等) 1,063,007円							
業務量		1.4 人	-	-	1.4 人	公課費(道路維持管理車両自動車重量税) 24,600円							
	正職員		0.9 人	-	-	0.9 人							
	会計年度任用職員		0.5 人	-	-	0.5 人							
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★★ 達成された (100%以上)		町道等パトロールを実施して、路面破損箇所や道路側溝の修繕及び通行支障物の撤去を行い、交通の安全確保のため、道路維持管理に努めた。										

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	3	総合的な交通体系の整備
	基本事業	(3)	冬期の交通の確保

預算科目	一般會計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	189

事業名				00850 除雪事業（宮崎地区） 除雪事業（宮崎地区）				担当課		宮崎支所		事業期間		H15 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的							事業の内容	冬期間の道路交通の確保のため、町道・生活道及び歩道について、直営・委託・機械借上等で除雪業務を実施した。 また、地吹雪等で見通しの悪い箇所については、防雪柵建込収納及び簡易防雪柵設置撤去業務の委託を実施した。						
	地域住民の冬季間の道路交通の確保のため、町道・生活道及び歩道について、除雪業務を実施。								除雪対象路線 157路線 除雪延長101.9km 除雪車両 11台						
	事業の対象		単位	数量	R5	R6	R7		事業経費						
	宮崎支所管内除雪対象路線距離		km		102	102	102		報酬・手当等（会計年度任用職員1名 12月～3月） 1,350,136円						
	成果指標名		単位	目標実績	R5	R6	R7		需用費 10,893,936円						
	①	冬期間の道路交通安全の確保			km	102 102	102 102		102 -	・消耗品費（タイヤ及びタイヤチェーン、スノーポール等） 3,864,280円 ・燃料費（除雪車両等燃料） 3,639,515円 ・修繕料（除雪車両修繕） 3,390,141円					
事業の成果	②			目標実績				役務費（除雪車両検査手数料、自動車保険料、道路作業員労務費） 756,010円							
			達成率				委託料 43,239,600円								
							・防雪柵収納委託業務（13路線 L=4,162m） 6,875,000円								
							・防雪柵建込委託業務（12路線 L=4,137m） 7,799,000円								
							・簡易防雪柵建込撤去委託業務（5行政区 L=918m） 1,192,100円								
							・宮崎支所管内除雪委託業務（除雪車両運転業務8台） 25,719,400円 ・宮崎支所管内歩道除雪委託業務（歩道除雪車両運転業務） 1,654,100円								
事業の成果	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算	使用料及び賃借料（除雪業務に伴う重機及び車両借上料） 653,400円								
	事業費		43,261	55,737	62,988	57,252	原材料費（簡易防雪柵用資材等） 22,030円								
	財源内訳	国庫支出金	896			3,507	備品購入費 336,600円								
		県支出金					除雪車両用バッテリー（4台分） 336,600円								
		地方債													
		その他													
一般財源		42,365	55,737		53,745										
業務量		1.3 人	-	-	1.3 人										
正職員		0.8 人	-	-	0.8 人										
会計年度任用職員		0.5 人	-	-	0.5 人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	★★★★★ 達成された （100%以上）		冬季期間における通勤・通学等、宮崎支所管内における道路交通の安全確保に努めた。												

総合計画	政 策	3	安全・安心で快適に暮らせるまち
	施 策	4	交通安全対策の充実
	基本事業	(2)	交通安全施設の整備促進

予算科目	一般会計			決算書
	08 款	02 項	02 目 道路維持費	189

事業名		01590 道路交通安全施設整備事業(宮崎地区) 道路交通安全施設整備事業(宮崎地区)				担当課		宮崎支所		事業期間		H15		～	
事業の概要	事業の説明及び目的						事業の内容	宮崎地区内における交通安全確保を図るため、町道区画線の摩耗箇所の更新を行った。							
	町道区画線の改良及び維持を図ることにより、地域内の交通安全確保を図る。							実施路線 2路線 延長距離 L=5,200m 町道長沼線 ペイント式溶剤型 中心線(破線)15cm L=5,010m 町道宮崎・最上線 ペイント式溶剤型 中心線(破線)15cm L=190m							
	事業の対象		単位	数量	R5	R6		R7	事業経費 委託料(区画線設置工事) 2,519,000円						
	宮崎支所管内町道		km		212	212		212							
	成果指標名		単位	R5	R6	R7									
	①	宮崎支所管内町道区画線設置延長		m	目標	4,510		5,260							2,410
					実績	4,510		5,200	-						
					達成率	100.0%		98.9%	-						
	②				目標				-						
					実績				-						
達成率							-								
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算	R6決算									
	事業費		2,750	3,073	2,519	2,519									
	財源内訳	国庫支出金													
		県支出金													
		地方債													
		その他											2,000	2,500	
	一般財源		2,750	1,073		19									
	業務量		0.1 人	-	-	0.1 人									
正職員		0.1 人	-	-	0.1 人										
会計年度任用職員		人	-	-	人										
事業の成果	成果の区分		成果の説明												
	★★★★ 概ね達成された (80%以上100%未満)		摩耗した町道区間線の更新によって適正な道路設備を維持し、地域内の安全な道路通行の確保に努めた。												

事業名		00861 ニツ石ダム管理用道路維持管理事業(宮崎地区) ニツ石ダム管理用道路維持管理事業				担当課		宮崎支所		事業期間		H22 ～	
事業の概要	事業の説明及び目的					事業の内容	国営かんがい排水事業で建設されたニツ石ダムに通じる町道長沼線と管理用道路について、受益関係市町との費用負担により維持管理及び除雪を実施した。						
	ニツ石ダムの運用のため、町道長沼線を含むダム管理用道路の維持管理を行った。						維持管理路線 町道長沼線及びニツ石ダム管理用道路 除草延長 L=4,300m 除雪延長 L=3,300m						
	事業の対象		単位		R5		R6	R7	事業経費				
	ニツ石ダム管理用道路距離		km	数量	4		4	4	委託料 13,653,200円				
	成果指標名		単位		R5		R6	R7	・町道長沼線外除雪委託業務(L=3,300m) 12,432,200円				
	①	ダム管理用道路の良好な通行の確保		km	目標 実績 達成率		4 4 100.0%	4 4 100.0%	4 - -	・スノーボール上下業務(町道長沼線184本、ニツ石管理用道路40本) 451,000円			
②				目標 実績 達成率				- - -	・町道長沼線除草業務(L=4,300m) 770,000円				
事業のコスト(千円)	項 目		R5決算	R6当初予算	R6最終予算		R6決算						
	事業費		8,256	11,237	14,957		13,654						
	財源内訳	国庫支出金											
		県支出金											
		地方債											
		その他	8,255	10,425		6,861							
業務量		0.1 人	-	-	0.1 人								
事業の成果	成果の区分		成果の説明										
	★★★★★ 達成された (100%以上)		ニツ石ダム運用のため、町道長沼線及びダム管理道路の通年通行の確保に努めた。										